

人権問題に関する市民意識調査

報 告 書



平成27年(2015年)2月

茨 木 市

はじめに

茨木市におきましては、憲法が定める基本的人権尊重の精神に基づき、また人権に関する国際社会の潮流や国・府等の動向を踏まえながら、常に人権を市制の重要課題の一つとして位置づけ、さまざまな取組を進めてきました。

すべての人々の人権が尊重・擁護され、差別のない社会がつくられることを願って、平成7年（1995年）3月に「人権擁護都市宣言」を行い、平成10年（1998年）には「人権教育のための国連10年茨木市行動計画」の策定と「茨木市人権尊重のまちづくり条例」の制定を行いました。平成16年（2004年）には、「人権教育のための国連10年茨木市行動計画」の後継として、また本市における人権施策をさらに充実・推進していくための指針として、「茨木市人権施策推進基本方針」を策定しています。

本市では「豊かな人権文化の創造」をめざし、これらの宣言や計画・方針に基づいて、市民が人権問題について深く理解し、人権尊重の精神を身につけ、日常生活や職場等で実践できるよう、人権施策の推進を図ってきました。そうした取組の成果の一方で、人権にかかわるさまざまな課題が数多く提起されています。以前より差別問題として取り上げられてきた課題もあれば、国の法整備等が進むことで新たな取組が求められているもの、かつては問題とはされてこなかったことが、社会や意識の変化とともに、新たに人権問題として位置づけられるようになってきたものもあります。

基本方針の策定から10年を経て、人権施策をめぐる状況にも変化が生まれており、今日の社会状況に適切に対応できる今後の人権施策の方策を改めて検討する必要があります。平成17年（2005年）に実施された前回の市民意識調査から9年が経過していることから、この間の市民意識の変容や実態を明らかにし、基本方針の見直しに必要な基礎資料を得ることを目的として、このたび「人権問題に関する市民意識調査」を実施しました。

本報告書はこの調査結果をまとめたものです。結果の取りまとめにあたっては、性別、年齢別等の分析を加えることで、より詳細な市民意識の実態を示すとともに、前回調査や大阪府の調査との比較を行うことで、市民意識の変容や本市の特徴を明らかにすることに努めています。今後は、この調査結果を踏まえ、効果的な人権施策の推進を図ることで、「一人ひとりがかけがえのない存在として尊重される差別のないまちづくり」の実現を目指します。

最後になりましたが、この調査の実施にあたり、温かいご協力とお力添えを賜りました、市民の皆さん及び関係者の方々に、心からお礼を申し上げます。

目次

第一章 調査の概要.....	1
1 調査の目的・方法と報告書の見方.....	1
2 信頼区間と有効回答の属性別分布.....	2
3 回答者の属性.....	5
第二章 人権問題や差別についての意識.....	7
1 基本的な人権問題に関する意識.....	7
2 差別に関する基本的な認識.....	16
3 行政の取り組み状況についての認識.....	19
第三章 具体的な状況における人権意識.....	21
1 住宅を選ぶ際の忌避意識.....	21
2 結婚相手を考える際に気になること（気になったこと）.....	32
第四章 同和問題の現状と今後の展望に関する意識.....	37
1 同和問題を知ったきっかけ.....	37
2 同和地区住民に対する結婚差別の現状認識と将来展望.....	40
3 「同和地区の人はこわい」という話を聞くことについて.....	44
4 「同和対策はやりすぎ・不公平」という話を聞くことについて.....	49
5 同和問題解決のために効果的と思う施策や対応.....	54
第五章 代表的な人権問題に関する意識.....	56
1 女性の人権.....	56
2 障がい者の人権.....	59
3 高齢者の人権.....	62
4 子どもの人権.....	65
5 外国人の人権.....	68
第六章 人権問題についての学習経験とその感想.....	71
1 人権問題についての学習経験.....	71
2 学習したことのある人権問題の分野.....	73
3 学校の人権学習の感想.....	75
第七章 人権・差別問題に対する態度・行動.....	77
1 差別的な発言に対する態度.....	77
2 人権問題の解決に向けた活動意欲.....	80
3 現在関心を持っている人権問題.....	82

第一章 調査の概要

1 調査の目的・方法と報告書の見方

(1) 調査の目的

本調査は、「茨木市人権施策推進基本方針」の見直しにあたり、現在の茨木市民の人権問題に関する意識の実態を明らかにし、市の人権施策推進の方針・課題を検討するための基礎資料とすることを目的として実施されました。

(2) 調査の方法

①調査対象

茨木市に居住している満20歳以上の個人から無作為に2,000人を抽出

②調査期間

平成26年（2014年）9月5日（金）～9月30日（火）

③調査方法

郵送配布・郵送回収の調査票による本人記入方式

④有効回収数

配布数：2,000

有効回収数：753

有効回収率：37.7%

(3) 報告書の見方

- ・ 回答結果の比率（％）は、全回答者数（無回答・不明を含む）に対する、それぞれの選択肢の回答比率を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式（質問文に「ひとつに○」と表記されているもの）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。

- ・複数回答（複数の選択肢からあてはまるすべての選択肢を選ぶことのできる方式、「〇はいくつでも」と表記）の設問の場合、一人の回答者が複数の選択肢を回答できるため、選択肢ごとの回答率の合計は100.0%を大きく超えることがあります。
- ・図表中において「無回答・不明」とあるものは、回答が示されていない、又は回答の判別が困難なものです。
- ・図表中の「N (number of case)」は、集計対象者の総数（回答者を限定する質問の場合は限定条件に該当する人の総数）を表しています。
- ・本文・図表において、設問の選択肢の表記が長い場合に、簡略化した表記にしている場合があります。

2 信頼区間と有効回答の属性別分布

(1) 信頼区間

アンケート調査においては、回収された標本の回答分布と、母集団（本調査においては20歳以上の茨木市民全体）の回答分布との間には、一定の誤差（標本誤差）が生じます。誤差の範囲は、母集団の大きさ、標本数、回答率と、信頼度（算出された範囲に誤差が収まる確率）から、統計的に求めることができます。このようにして求めた標本誤差を、得られた調査結果に加減した範囲が、信頼区間になります。

信頼度を、社会調査で一般的な95%としたときの、本調査における標本誤差は下表のとおりです。信頼区間は、下表の値を本調査の回答率の値（%）の前後に加えた範囲となります。

■信頼度95%における主要な回答率の属性別標本誤差

回答率 (%)		5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
		95	90	85	80	75	70	65	60	55	50
属性（標本数）											
全体 (N=753)		1.6	2.1	2.5	2.9	3.1	3.3	3.4	3.5	3.5	3.6
性別	女性 (N=418)	2.1	2.9	3.4	3.8	4.1	4.4	4.6	4.7	4.8	4.8
	男性 (N=310)	2.4	3.3	4.0	4.4	4.8	5.1	5.3	5.4	5.5	5.6
年齢	20歳代 (N=48)	6.2	8.5	10.1	11.3	12.2	13.0	13.5	13.8	14.1	14.1
	30歳代 (N=107)	4.1	5.7	6.8	7.6	8.2	8.7	9.0	9.3	9.4	9.5
	40歳代 (N=135)	3.7	5.1	6.0	6.7	7.3	7.7	8.0	8.3	8.4	8.4
	50歳代 (N=127)	3.8	5.2	6.2	6.9	7.5	8.0	8.3	8.5	8.6	8.7
	60歳代 (N=153)	3.4	4.7	5.6	6.3	6.8	7.2	7.5	7.7	7.9	7.9
	70歳以上 (N=172)	3.3	4.5	5.3	6.0	6.5	6.8	7.1	7.3	7.4	7.5

たとえば問1の「プライベートな写真や情報をインターネット上で誰もが見ることができ
る状態になってしまうこと」では、「問題あり」の回答率は全体で74.6%となっています。
上の表から、回答率74.6%に最も近い75%のときの全体の信頼区間は3.1となっていますの
で、母集団全員に同じように尋ねた場合、「問題あり」の回答率は、95%の確率で、71.5～
77.7%の間（74.6±3.1）になると考えることができます。

全体集計については、信頼区間がほぼ7%程度の範囲に収まっており、社会調査としては
おおむね妥当な回答が得られていると考えられますが、年齢別集計等で回答者数が少なく
なると、それだけ誤差の範囲が大きくなるため、結果の解釈には慎重になる必要があります。

（2）有効回答の属性分布と回答全体への反映程度

信頼区間の考え方は、基本的に無作為抽出を前提とした理想的なものですが、一方で、実
際の調査結果には、社会調査に不可避の偏りが含まれることが少なくありません。たとえ
本調査のような郵送による配布・回収を行う場合、若年者の回収率が低く、高齢者の回収率
が高くなるという傾向が一般的にあります。また、仕事をしている人よりも、非就労者や定
年退職者の解答率が高くなる傾向もあります。したがって、調査結果を読む際には、その偏
りに留意して読むことが必要となります。

本調査においても、無作為抽出により対象者を選定しているため、調査対象者の年齢・性
別といった属性の割合は、ほぼ市民全体の分布と等しくなっています。一方、回収された回
答の性別・年齢別の構成率を市民全体と比較すると、下の表のようになります。

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
標本数構成比（総回答数に占める割合）	3.8	8.4	11.2	11.4	10.9	11.8
人口構成比（20歳以上総人口に占める割合）	6.5	9.2	10.1	6.9	8.6	10.7
女性						
全体集計における性別・年代反映率	0.59	0.92	1.10	1.67	1.26	1.11
年代別集計における性別反映率	1.17	1.15	1.23	1.32	1.00	0.90
性別集計における年代反映率	0.53	0.83	1.00	1.51	1.14	1.00
標本数構成比（総回答数に占める割合）	2.7	6.0	7.0	5.7	9.8	11.3
人口構成比（20歳以上総人口に占める割合）	6.4	8.9	10.2	6.7	7.7	8.1
男性						
全体集計における性別・年代反映率	0.42	0.68	0.69	0.85	1.27	1.39
年代別集計における性別反映率	0.83	0.85	0.77	0.67	1.00	1.13
性別集計における年代反映率	0.47	0.77	0.78	0.97	1.43	1.57

※標本数構成比の性別回答者数について、「女性・男性と答えることに抵抗を感じる」については、回答者数を
各年代の男女比にしたがって、男女に比例配分して構成比を算出

すべての性別・年代別属性からの回収率が等しければ、標本数構成比（総回答に占める割
合）は人口構成比（20歳以上総人口に占める割合）にほぼ等しくなりますが、実際にはいく

らかのずれがみられます。例えば、女性の20歳代は、人口構成比では6.5%を占めていますが、本調査の標本構成比では3.8%にとどまっています。一方、男性の70歳以上は、人口構成比では8.1%ですが、標本構成比では11.3%と大きくなっています。全体として、50歳代以上の女性と60歳代以上の男性の回答が多く、若い世代ほど回答が少なくなっていますので、それだけ全体の集計には、高齢世代の声が多く反映され、若い世代の回答は少なくしか反映できていないこととなります。

この反映の度合いを数値で示したのが表の「反映率」で、この数値が1に近いほど、人口構成比に等しい回答数となっており、1より大きければ強く、小さければ弱く反映されているということになります。例えば、50歳代男性についてみると、全体の集計においては反映率0.85で、人口構成比に比べるとやや回答数が少ないことがわかります。また、50歳代のみの集計においては、反映率0.67で、女性に比べて回答数が少なく、50歳代の回答には男性の意見が女性の半分程度しか反映されていないこととなります（50歳代女性の年代別集計における反映率は1.32）。一方、男性のみの集計では、反映率0.97で、ほぼ年代相応の回答数になっていると言えます。

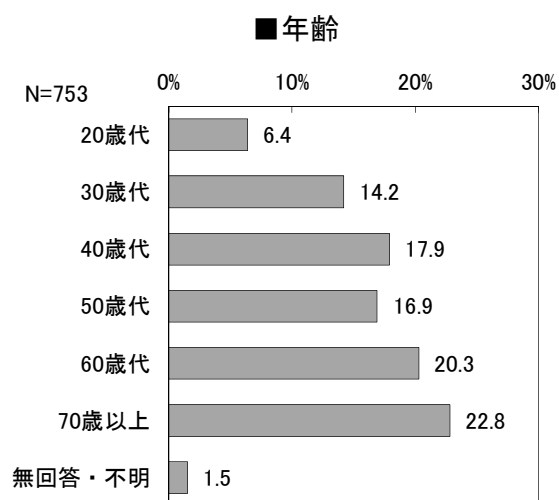
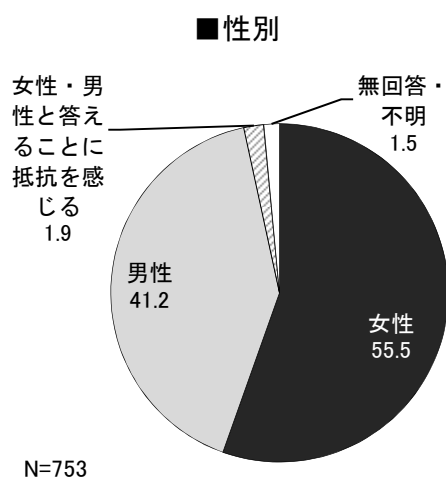
本報告書においては、アンケート調査に常に含まれるこうした偏りに留意し、必要に応じて性別・年齢別の分析を補うことで、可能な限り市民の意識の実態を示すことに努めています。

3 回答者の属性

(1) 性別・年齢

性別については、女性が男性よりやや多くなっています。また、「女性・男性と答えることに抵抗を感じる」と回答した人は、1.9%となっています。

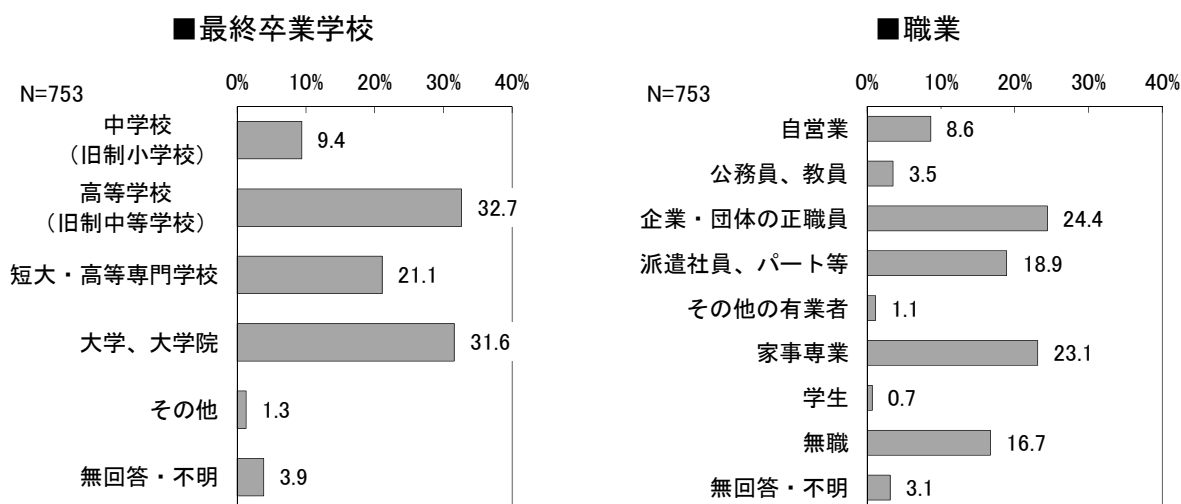
年齢では、60歳代以上がやや多く、20歳代が少なくなっています。男女別にみると、20歳代の女性と40歳代以下の男性が少なく、50歳代以上の女性と60歳代以上の男性が多くなっています。



(2) 学歴・職業

学歴（最終卒業学校）では、「高等学校」と「大学、大学院」が多くなっています。「中学校」は約8割が60歳以上で、「短大・高等専門学校」は4分の3が女性です。若い世代ほど全体的に学歴が高くなる傾向があります。

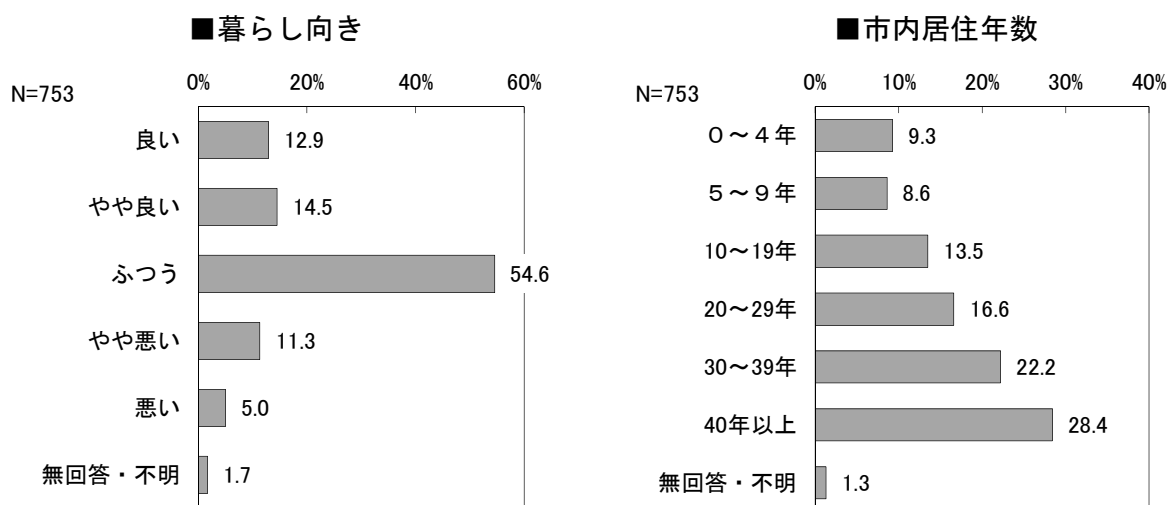
職業は、「企業・団体の正職員」が最も多く、次いで「家事専業」が多くなっています。



(3) 暮らし向き・市内居住年数

暮らし向きについては、「ふつう」が半数以上で最も多くなっています。良いという回答（「良い」と「やや良い」の合計）が、悪いという回答（「悪い」と「やや悪い」の合計）よりも多くなっています。

市内居住年数については、40年以上が最も多く、年数が少なくなるごとに回答が少なくなっています。これは、回答者の年齢構成が影響していると考えられます。

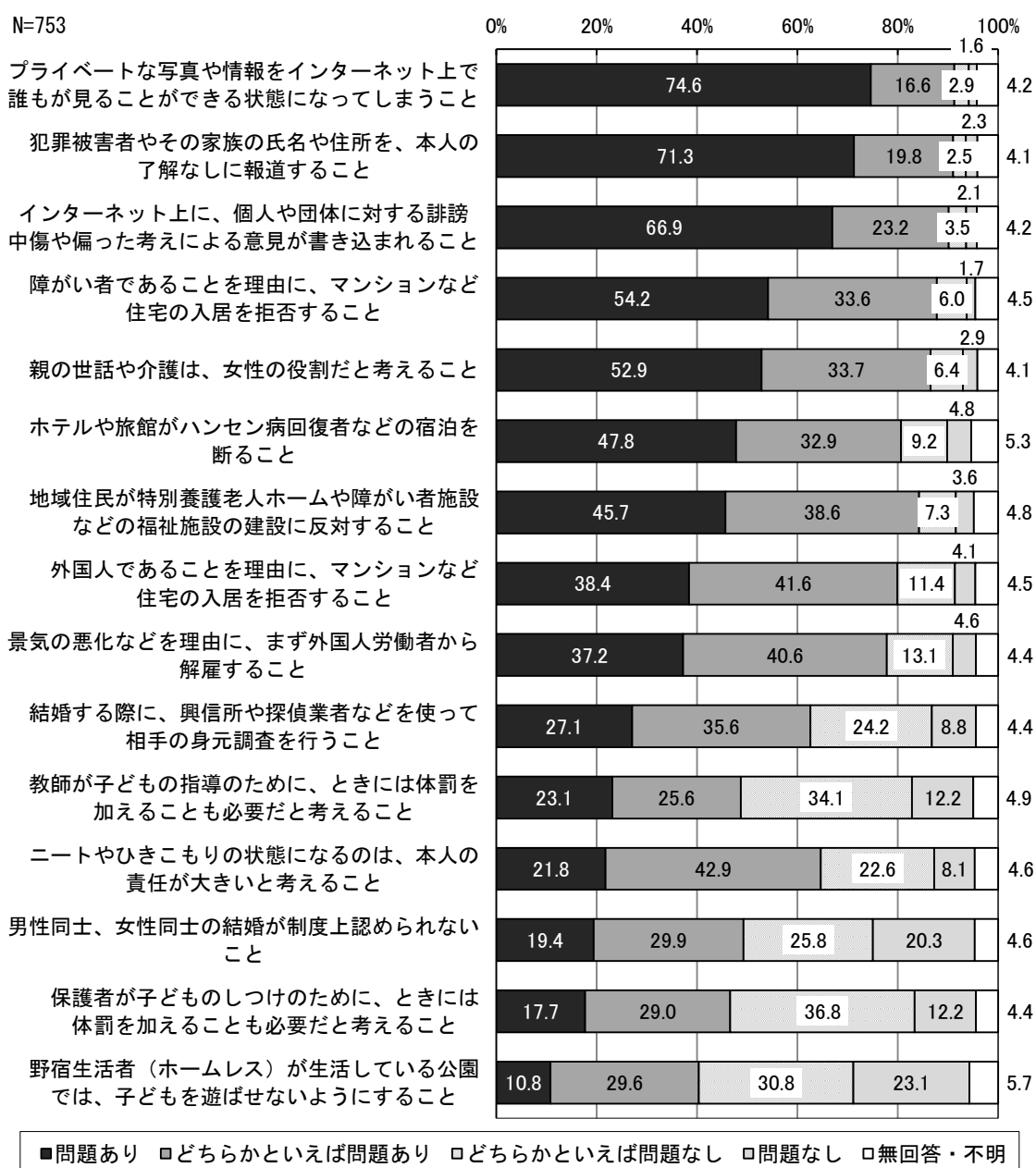


第二章 人権問題や差別についての意識

1 基本的な人権問題に関する意識

(1) 質問と回答の状況

問1 あなたは、次の(1)～(15)について、人権上どの程度問題があると思いますか。すべてのことがらについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)



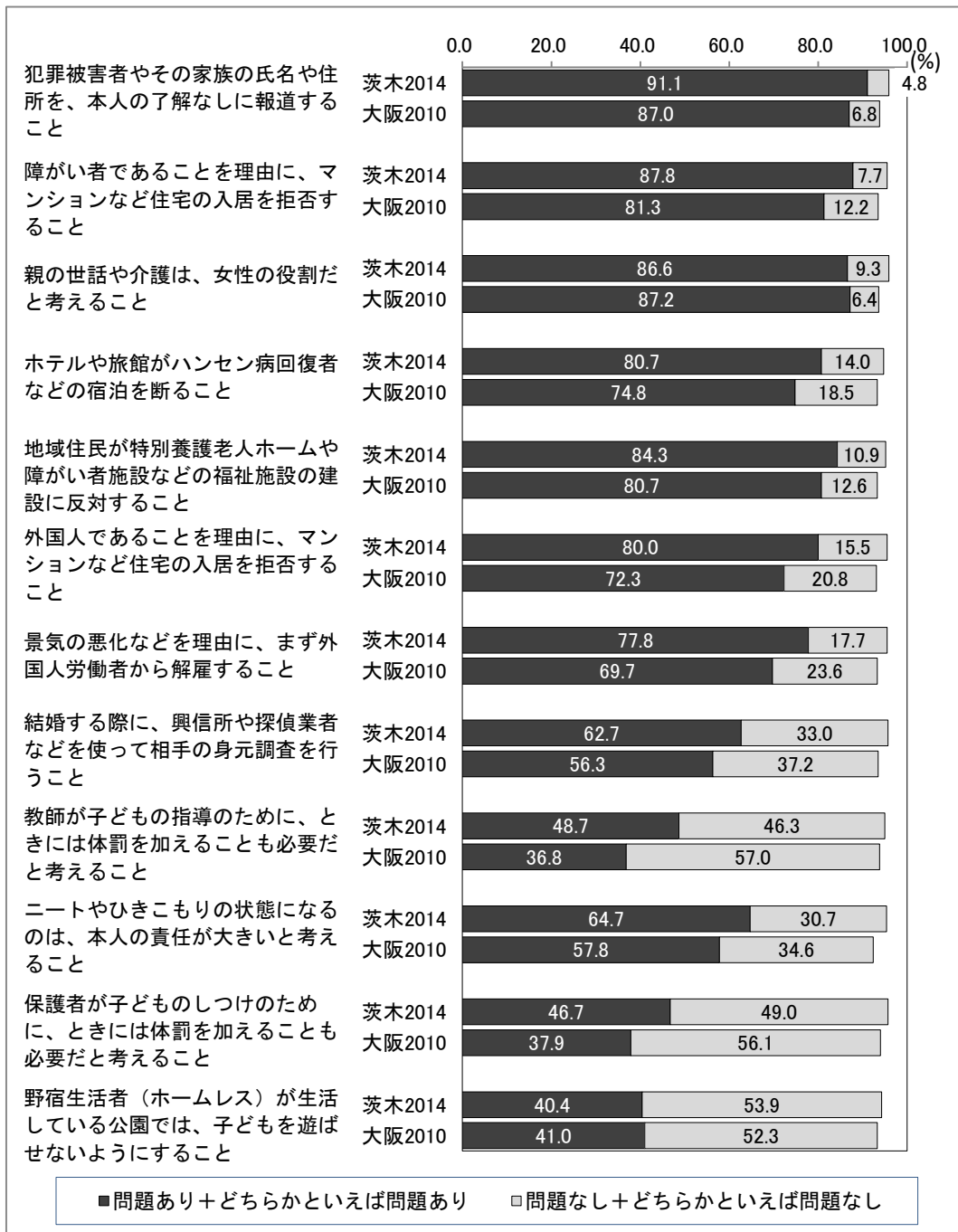
いくつかの人権にかかわる状況について、問題だと思うかどうかを尋ねたところ、問題があるという回答が最も多かったのは、「プライベートな写真や情報をインターネット上で誰も見ることができる状態になってしまうこと」、最も少なかったのは、「野宿生活者（ホームレス）が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること」となっています。インターネットや犯罪被害者等、近年注目されているテーマで問題を感じる人が多くなっている一方で、「野宿生活者（ホームレス）が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること」、「男性同士、女性同士の結婚が制度上認められないこと」については、「問題なし」が2割を超えています。これらに加え、教師や保護者の「体罰」についての質問でも、「問題あり」と「どちらかといえば問題あり」の合計は半数に満たず、人権上の問題としてはとらえていない人が多くいることがうかがえます。

（２）大阪府調査との比較

本調査は、2010年に実施された大阪府「人権問題に関する府民意識調査」（有効回答数903）、2005年に実施された前回調査である、茨木市「人権問題に関する市民意識調査」（有効回答数1,435）といくつかの質問が共通しており、大阪府全体の意識調査と比較することで本市の特徴を示すことや、過去の調査と比較することで意識の変化を示すことが可能となっています。本報告書では、比較が可能な設問についてはすべて、比較した結果を示しています。

この質問について、同様の設問を含んでいる大阪府の調査と比較すると、全体として本調査の結果の方が「問題がある」という回答が多くなっており、比較的人権上の問題を感じる人が多いことがうかがえます。教師の体罰について、特に差が大きくなっていますが、これは大阪府の調査の後に、学校の部活動における体罰事件が大きなニュースになったことなどが影響していると考えられます。

■2010年大阪府調査との比較



※大阪府調査の回答者数は903（以下特に表示がない場合は同様）

（3）性別・年齢別・学歴別・暮らし向き別集計

性別で見ると、保護者や教師の体罰については女性の方が「問題あり」又は「どちらかといえば問題あり」の比率が高く、同性婚についても、同様の傾向が見られます。

年齢別でみると、「野宿生活者（ホームレス）が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること」については、50歳代以上で「問題あり」又は「どちらかといえば問題あり」が多くなるのに対し、「男性同士、女性同士の結婚が制度上認められないこと」については40歳代以下で「問題あり」又は「どちらかといえば問題あり」が多くなっています。また、回答者数が少ないため明確な傾向とは判定できませんが、20歳代については全体的に「問題あり」という回答が少なく、「保護者が子どものしつけのために、ときには体罰を加えることも必要だと考えること」や「ニートやひきこもりの状態になるのは、本人の責任が大きいと考えること」については、「問題あり」と「どちらかといえば問題あり」の合計についても他の世代より少なくなっています。

暮らし向き別でみると、「ホテルや旅館がハンセン病回復者などの宿泊を断ること」や「外国人であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否すること」について、暮らし向きを悪いと感じている人ほど「問題あり」又は「どちらかといえば問題あり」という回答が少なくなっています。

問1 あなたは、次の(1)～(15)について、人権上どの程度問題があると思いますか。すべてのことがらについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)

(1) 親の世話や介護は、女性の役割だと考えること

(2) 保護者が子どものしつけのために、ときには体罰を加えることも必要だと考えること

		問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明	問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明
全体 (N=753)		52.9	33.7	6.4	2.9	4.1	17.7	29.0	36.8	12.2	4.4
性別	女性 (N=418)	53.1	33.3	7.2	3.3	3.1	20.8	32.8	34.2	9.1	3.1
	男性 (N=310)	53.5	34.8	5.5	1.9	4.2	14.8	23.9	41.0	15.8	4.5
年齢	20歳代 (N=48)	37.5	50.0	6.3	2.1	4.2	18.8	16.7	50.0	10.4	4.2
	30歳代 (N=107)	66.4	26.2	3.7	1.9	1.9	14.0	40.2	37.4	6.5	1.9
	40歳代 (N=135)	60.0	28.9	6.7	2.2	2.2	20.0	29.6	34.1	14.1	2.2
	50歳代 (N=127)	59.8	32.3	3.9	1.6	2.4	19.7	32.3	31.5	13.4	3.1
	60歳代 (N=153)	52.3	35.3	5.2	3.3	3.9	17.0	31.4	38.6	9.2	3.9
	70歳以上 (N=172)	40.1	38.4	11.0	4.7	5.8	18.0	20.3	39.5	16.3	5.8
暮らし向き	良い (N=206)	52.9	35.0	6.8	2.9	2.4	20.4	20.9	44.2	12.1	2.4
	ふつう (N=411)	56.2	31.6	6.3	2.2	3.6	17.5	32.6	34.5	11.7	3.6
	悪い (N=123)	44.7	39.0	5.7	4.9	5.7	15.4	30.9	34.1	13.0	6.5

※暮らし向きについては、「良い」と「やや良い」の合計を「良い」、「悪い」と「やや悪い」の合計を「悪い」としています(以下同様)。

(3) プライベートな写真や情報をインターネット上で誰も見ることができる状態になってしまうこと

(4) ホテルや旅館がハンセン病回復者などの宿泊を断ること

		問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明	問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明
全体 (N=753)		74.6	16.6	2.9	1.6	4.2	47.8	32.9	9.2	4.8	5.3
性別	女性 (N=418)	75.8	17.0	3.3	0.7	3.1	45.2	35.6	8.9	5.7	4.5
	男性 (N=310)	74.5	16.5	2.6	2.3	4.2	52.3	30.6	9.4	2.9	4.8
年齢	20歳代 (N=48)	56.3	31.3	6.3	2.1	4.2	31.3	41.7	14.6	8.3	4.2
	30歳代 (N=107)	64.5	27.1	4.7	1.9	1.9	54.2	25.2	15.0	3.7	1.9
	40歳代 (N=135)	76.3	15.6	3.7	2.2	2.2	51.1	31.9	11.9	3.0	2.2
	50歳代 (N=127)	74.0	18.9	2.4	0.8	3.9	52.0	33.1	6.3	5.5	3.1
	60歳代 (N=153)	81.0	11.8	2.6	0.7	3.9	51.0	36.6	3.3	3.9	5.2
	70歳以上 (N=172)	82.0	10.5	1.2	1.7	4.7	41.3	34.3	9.9	5.8	8.7
暮らし向き	良い (N=206)	75.2	17.0	2.4	2.4	2.9	52.4	30.6	8.7	3.4	4.9
	ふつう (N=411)	74.7	18.0	3.4	0.2	3.6	47.9	34.5	8.8	4.4	4.4
	悪い (N=123)	76.4	12.2	2.4	4.1	4.9	41.5	33.3	11.4	8.1	5.7

(5) 結婚する際に、興信所や探偵業者などを使って相手の身元調査を行うこと

(6) 外国人であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否すること

		問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明	問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明
全体 (N=753)		27.1	35.6	24.2	8.8	4.4	38.4	41.6	11.4	4.1	4.5
性別	女性 (N=418)	23.2	40.4	23.4	9.3	3.6	35.9	44.0	12.4	4.1	3.6
	男性 (N=310)	32.6	29.4	26.5	7.7	3.9	41.6	40.0	10.6	3.5	4.2
年齢	20歳代 (N=48)	14.6	43.8	25.0	12.5	4.2	39.6	41.7	12.5	2.1	4.2
	30歳代 (N=107)	29.9	35.5	24.3	8.4	1.9	47.7	29.9	15.0	5.6	1.9
	40歳代 (N=135)	27.4	34.1	27.4	8.9	2.2	32.6	49.6	12.6	3.0	2.2
	50歳代 (N=127)	22.8	43.3	22.8	8.7	2.4	31.5	53.5	10.2	2.4	2.4
	60歳代 (N=153)	26.1	37.9	20.9	9.8	5.2	34.0	45.1	11.1	4.6	5.2
	70歳以上 (N=172)	32.6	28.5	26.7	7.0	5.2	46.5	32.6	9.9	5.2	5.8
暮らし向き	良い (N=206)	26.2	31.6	30.1	9.7	2.4	43.2	40.3	9.2	4.9	2.4
	ふつう (N=411)	28.5	37.7	22.4	7.3	4.1	38.4	41.8	12.9	2.7	4.1
	悪い (N=123)	23.6	37.4	22.0	12.2	4.9	30.9	45.5	10.6	7.3	5.7

(7) 障がい者であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否すること

(8) ニートやひきこもりの状態になるのは、本人の責任が大きいと考えること

		問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明	問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明
全体 (N=753)		54.2	33.6	6.0	1.7	4.5	21.8	42.9	22.6	8.1	4.6
性別	女性 (N=418)	49.8	37.6	7.2	1.7	3.8	23.7	43.3	21.5	7.7	3.8
	男性 (N=310)	61.3	29.0	4.5	1.3	3.9	18.7	43.9	23.9	9.4	4.2
年齢	20歳代 (N=48)	56.3	25.0	14.6	-	4.2	8.3	43.8	35.4	8.3	4.2
	30歳代 (N=107)	63.6	29.0	3.7	1.9	1.9	23.4	44.9	17.8	12.1	1.9
	40歳代 (N=135)	47.4	40.7	7.4	0.7	3.7	12.6	48.1	28.9	7.4	3.0
	50歳代 (N=127)	49.6	40.9	5.5	1.6	2.4	23.6	39.4	27.6	7.1	2.4
	60歳代 (N=153)	54.2	34.0	5.2	2.0	4.6	24.8	47.1	19.0	4.6	4.6
	70歳以上 (N=172)	58.1	29.1	5.2	2.3	5.2	27.3	39.0	16.9	10.5	6.4
暮らし向き	良い (N=206)	52.4	37.4	5.3	1.9	2.9	16.5	49.0	22.3	9.7	2.4
	ふつう (N=411)	56.9	31.9	5.8	1.5	3.9	24.6	40.6	22.9	7.5	4.4
	悪い (N=123)	50.4	34.1	8.1	1.6	5.7	21.1	43.9	22.8	7.3	4.9

(9) 犯罪被害者やその家族の氏名や住所を、本人の了解なしに報道すること

(10) 景気の悪化などを理由に、まず外国人労働者から解雇すること

		問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明	問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明
全体 (N=753)		71.3	19.8	2.5	2.3	4.1	37.2	40.6	13.1	4.6	4.4
性別	女性 (N=418)	73.9	18.2	2.9	1.9	3.1	37.8	43.1	11.7	3.8	3.6
	男性 (N=310)	70.3	21.6	1.9	2.3	3.9	36.8	38.4	15.8	5.2	3.9
年齢	20歳代 (N=48)	70.8	20.8	2.1	2.1	4.2	35.4	43.8	12.5	4.2	4.2
	30歳代 (N=107)	74.8	15.9	4.7	2.8	1.9	45.8	33.6	12.1	6.5	1.9
	40歳代 (N=135)	74.1	19.3	3.7	0.7	2.2	34.1	47.4	12.6	3.7	2.2
	50歳代 (N=127)	72.4	22.0	-	3.1	2.4	33.1	42.5	15.7	6.3	2.4
	60歳代 (N=153)	71.2	20.9	2.0	2.0	3.9	34.6	48.4	10.5	1.3	5.2
	70歳以上 (N=172)	69.2	19.8	2.9	2.9	5.2	40.7	32.6	15.7	5.8	5.2
暮らし向き	良い (N=206)	67.5	22.3	4.4	3.4	2.4	35.4	42.2	14.6	5.3	2.4
	ふつう (N=411)	74.0	19.0	1.9	1.5	3.6	38.4	41.4	12.9	3.4	3.9
	悪い (N=123)	71.5	18.7	1.6	3.3	4.9	37.4	37.4	13.0	7.3	4.9

(11) 地域住民が特別養護老人ホームや障がい者施設などの福祉施設の建設に反対すること

(12) 野宿生活者（ホームレス）が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること

		問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明	問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明
全体 (N=753)		45.7	38.6	7.3	3.6	4.8	10.8	29.6	30.8	23.1	5.7
性別	女性 (N=418)	44.5	39.0	9.3	3.1	4.1	9.3	28.0	31.1	27.0	4.5
	男性 (N=310)	48.7	39.0	4.5	3.5	4.2	13.5	31.6	30.6	18.4	5.8
年齢	20歳代 (N=48)	18.8	58.3	10.4	8.3	4.2	2.1	22.9	39.6	31.3	4.2
	30歳代 (N=107)	41.1	42.1	11.2	3.7	1.9	12.1	19.6	39.3	26.2	2.8
	40歳代 (N=135)	43.0	40.7	11.1	3.0	2.2	7.4	18.5	32.6	38.5	3.0
	50歳代 (N=127)	46.5	42.5	6.3	1.6	3.1	11.8	29.9	31.5	22.8	3.9
	60歳代 (N=153)	48.4	37.3	5.9	3.3	5.2	11.1	38.6	29.4	14.4	6.5
	70歳以上 (N=172)	55.8	30.2	3.5	4.1	6.4	14.5	39.5	22.7	15.7	7.6
暮らし向き	良い (N=206)	45.6	41.7	7.8	2.4	2.4	8.7	25.2	37.4	24.8	3.9
	ふつう (N=411)	47.2	37.7	6.6	3.9	4.6	11.9	33.6	27.7	21.7	5.1
	悪い (N=123)	41.5	39.8	9.8	4.1	4.9	11.4	26.0	29.3	26.8	6.5

(13) 教師が子どもの指導のために、ときには体罰を加えることも必要だと考えること

(14) 男性同士、女性同士の結婚が制度上認められないこと

		問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明	問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明
全体 (N=753)		23.1	25.6	34.1	12.2	4.9	19.4	29.9	25.8	20.3	4.6
性別	女性 (N=418)	26.6	28.5	32.1	8.6	4.3	22.0	33.0	25.4	15.8	3.8
	男性 (N=310)	19.7	21.9	36.8	17.4	4.2	16.5	25.8	27.4	26.1	4.2
年齢	20歳代 (N=48)	22.9	22.9	39.6	10.4	4.2	27.1	37.5	18.8	12.5	4.2
	30歳代 (N=107)	29.9	25.2	30.8	12.1	1.9	28.0	36.4	19.6	14.0	1.9
	40歳代 (N=135)	25.9	28.1	30.4	13.3	2.2	20.0	34.8	24.4	17.8	3.0
	50歳代 (N=127)	15.0	35.4	34.6	12.6	2.4	13.4	29.9	37.8	16.5	2.4
	60歳代 (N=153)	24.2	23.5	37.3	9.8	5.2	18.3	28.8	26.1	20.9	5.9
	70歳以上 (N=172)	22.1	20.3	35.5	14.5	7.6	17.4	22.7	24.4	30.2	5.2
暮らし向き	良い (N=206)	21.8	27.7	33.5	14.6	2.4	22.3	32.0	24.3	18.4	2.9
	ふつう (N=411)	24.3	26.3	34.5	10.0	4.9	18.5	29.4	27.0	20.7	4.4
	悪い (N=123)	22.0	21.1	35.0	17.1	4.9	17.9	30.9	24.4	22.0	4.9

(15) インターネット上に、個人や団体に対する誹謗中傷や偏った考えによる意見が書き込まれること

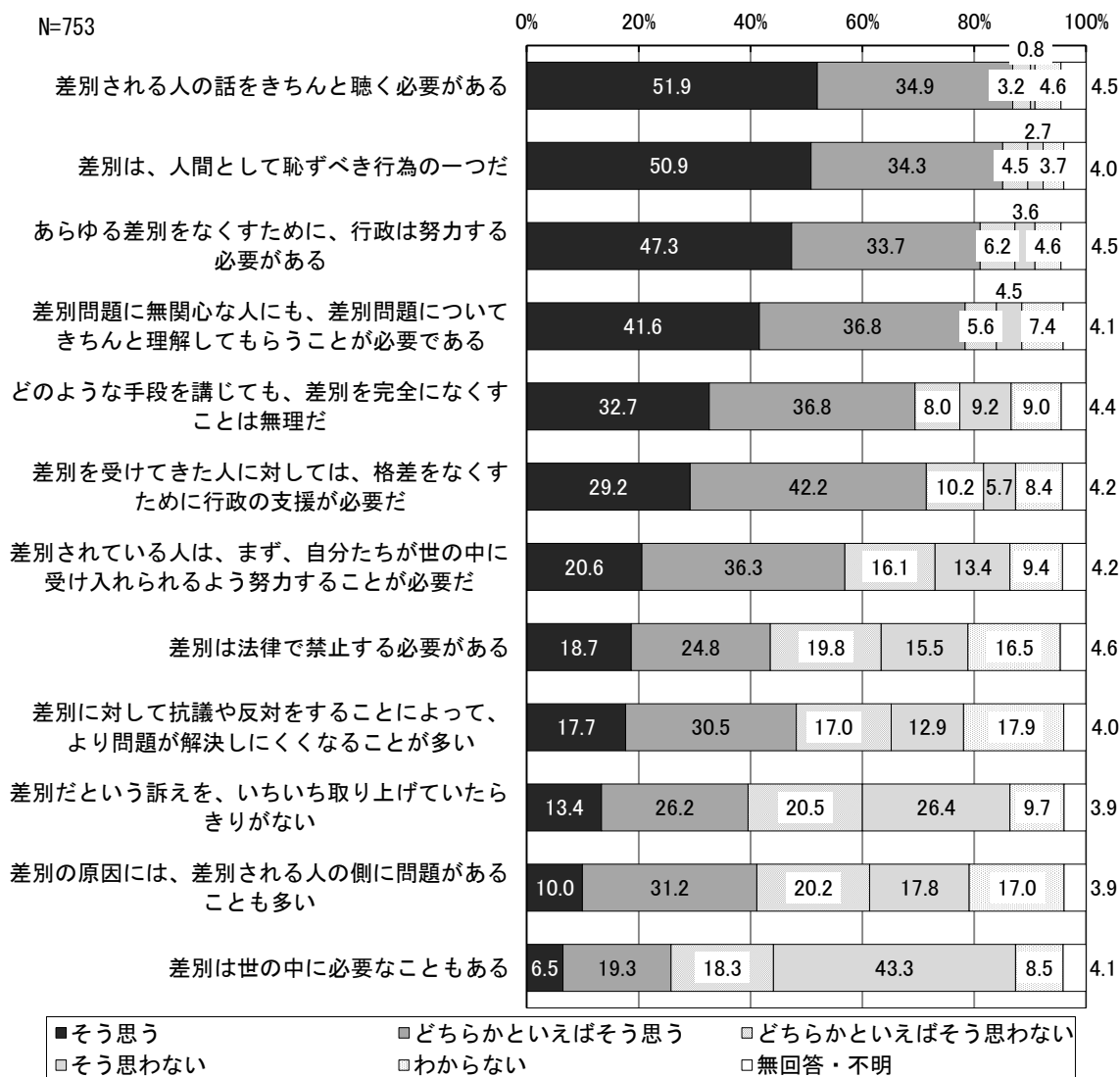
		問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明
全体 (N=753)		66.9	23.2	3.5	2.1	4.2
性別	女性 (N=418)	71.3	20.3	3.8	1.4	3.1
	男性 (N=310)	62.3	27.7	2.9	2.9	4.2
年齢	20歳代 (N=48)	54.2	29.2	6.3	6.3	4.2
	30歳代 (N=107)	59.8	26.2	7.5	4.7	1.9
	40歳代 (N=135)	61.5	30.4	3.7	2.2	2.2
	50歳代 (N=127)	70.9	22.0	3.9	0.8	2.4
	60歳代 (N=153)	69.3	22.9	2.0	1.3	4.6
	70歳以上 (N=172)	76.2	16.3	1.2	1.2	5.2
暮らし向き	良い (N=206)	68.4	21.4	5.8	1.5	2.9
	ふつう (N=411)	68.1	23.6	2.7	2.2	3.4
	悪い (N=123)	63.4	26.0	2.4	3.3	4.9

2 差別に関する基本的な認識

(1) 質問と回答の状況

問2 一般的に「差別」というものについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。

(1)～(12)のすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)



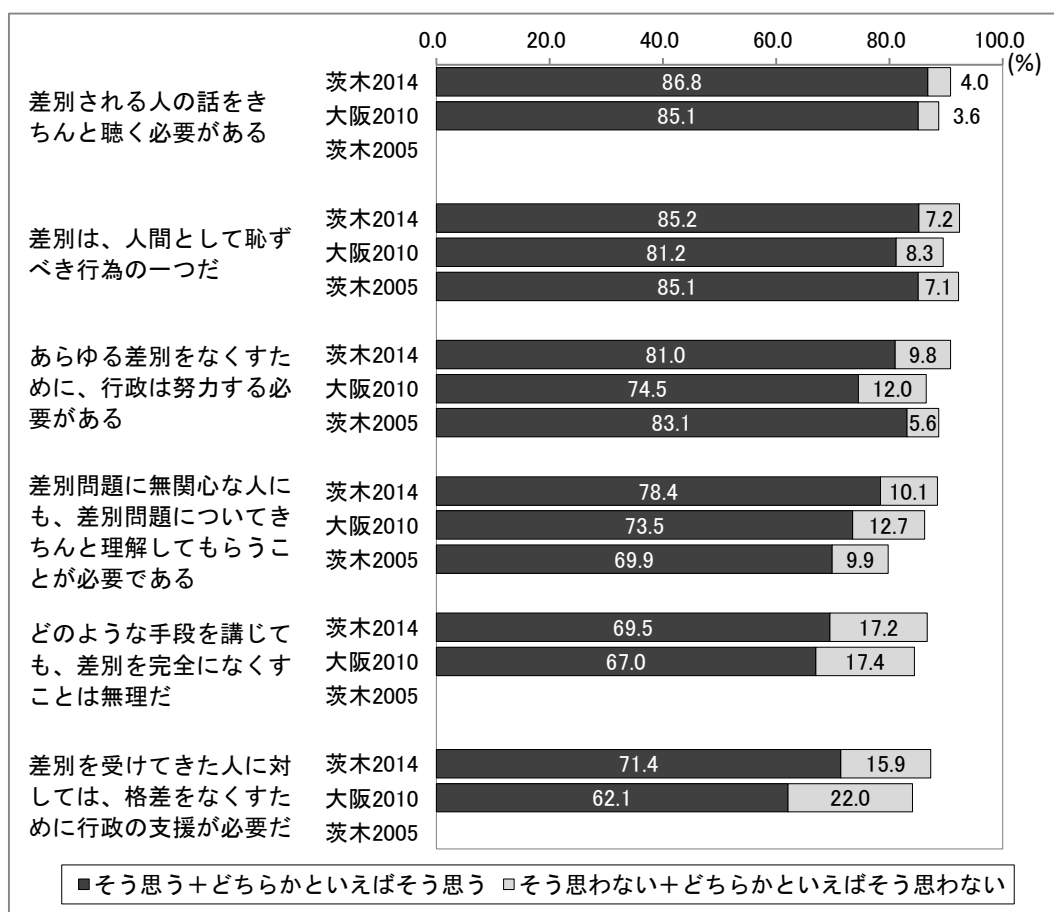
差別に関する基本的な認識と、その解決のための方策についての質問では、「そう思う」が最も多かったのは「差別される人の話をきちんと聴く必要がある」、最も少なかったのは、「差別は世の中に必要なこともある」でした。差別をなくすために、「行政が努力する必要がある」や「格差をなくすための行政の支援が必要」といった意見については、7割程度の人が賛成（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）しています。

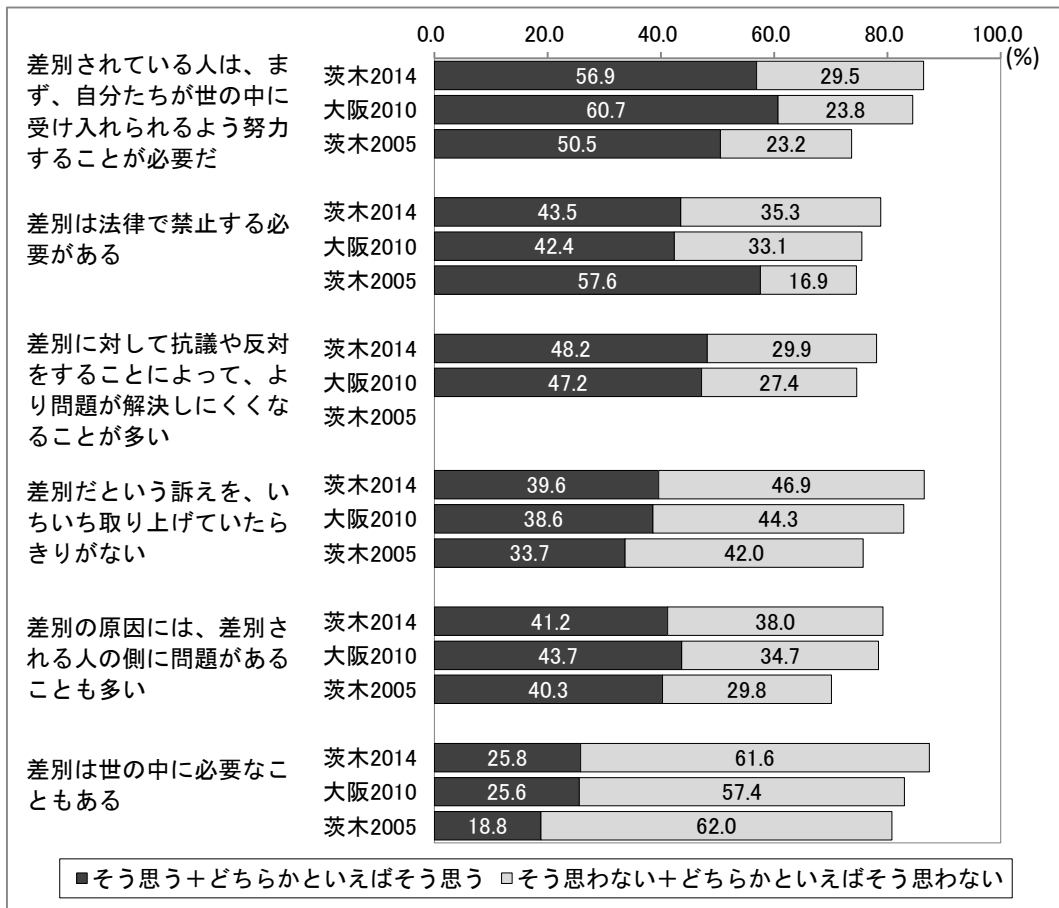
一方で、「差別されている人は、まず世の中に受け入れられるよう努力することが必要」は5割台、「差別の原因は差別される側にあることも多い」は4割程度の賛成があり、差別される側に問題があると考える意見への賛成も一定数あることが示されています。

(2) 大阪府調査・前回調査との比較

大阪府調査と比較すると、行政の努力・支援や「無関心な人にきちんと理解してもらうこと」の必要性についての賛成が多くなっています。また、差別される側に問題があるという意見については、反対がやや多くなっています。全体として、差別問題の解決のための努力に好意的で、差別される人に対して寛容的な姿勢を示す人が多いと言えるでしょう。

茨木市の2005年の調査と比較すると、「きちんと理解してもらうことが必要」に賛成が増加している一方で、「法律で禁止する必要がある」は大きく減少しています。また、「差別は世の中に必要」、「訴えをいちいち取り上げていたらきりがない」、「差別されている人は、まず世の中に受け入れられるよう努力することが必要」についても、賛成がやや増加しており、差別問題の解決に対して厳しい見方をする人が増えていることもうかがえます。



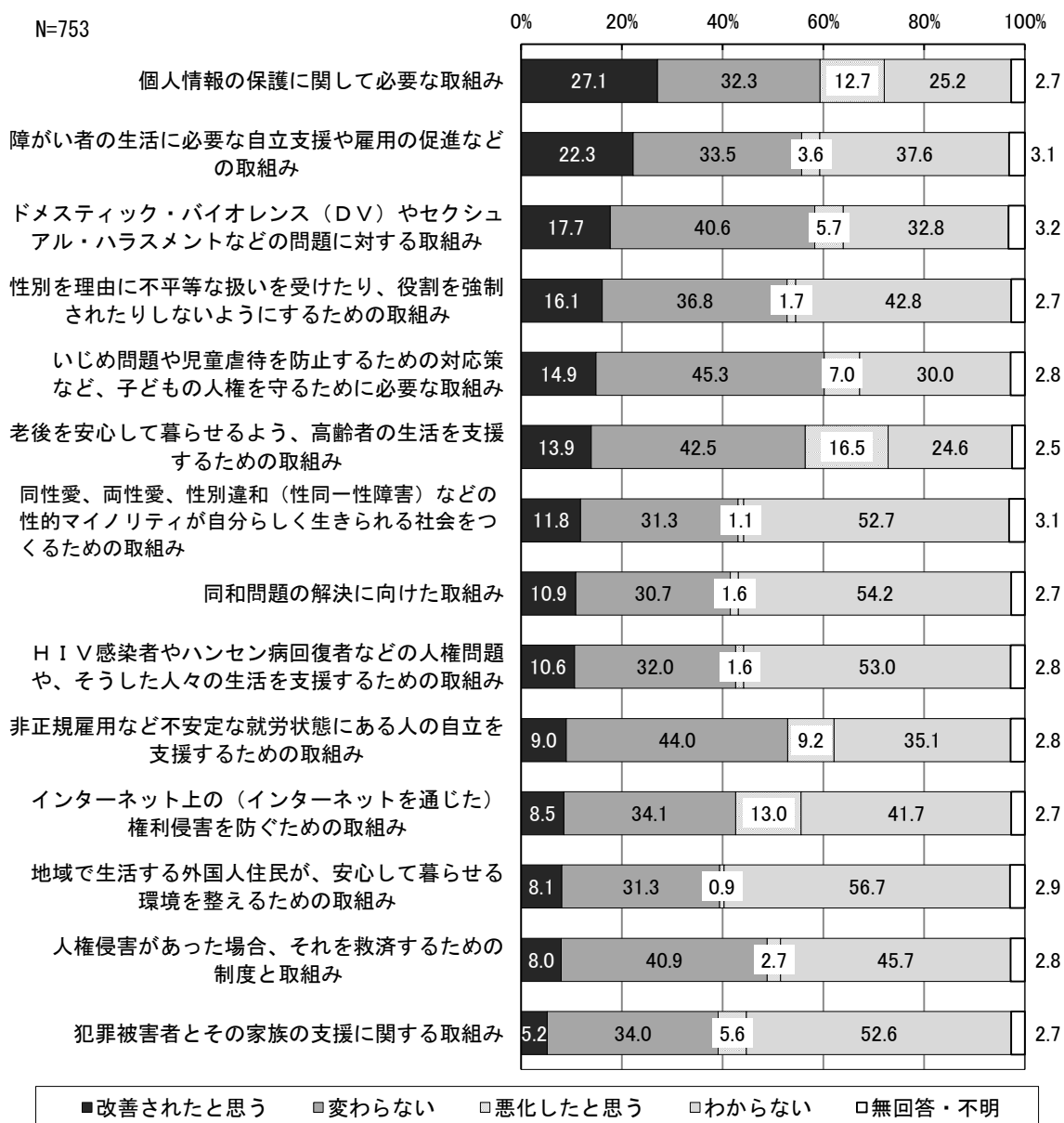


※茨木2005は「賛成」「どちらかといえば賛成」「どちらかといえば反対」「反対」で回答。回答者数は1,435（以下特に表示がない場合は同様）

3 行政の取組み状況についての認識

(1) 質問と回答の状況

問3 あなたは、次の項目に関する行政の取組み状況について、この5年間に、改善されたと思いますか、悪化したと思いますか。(1)～(14)のすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)

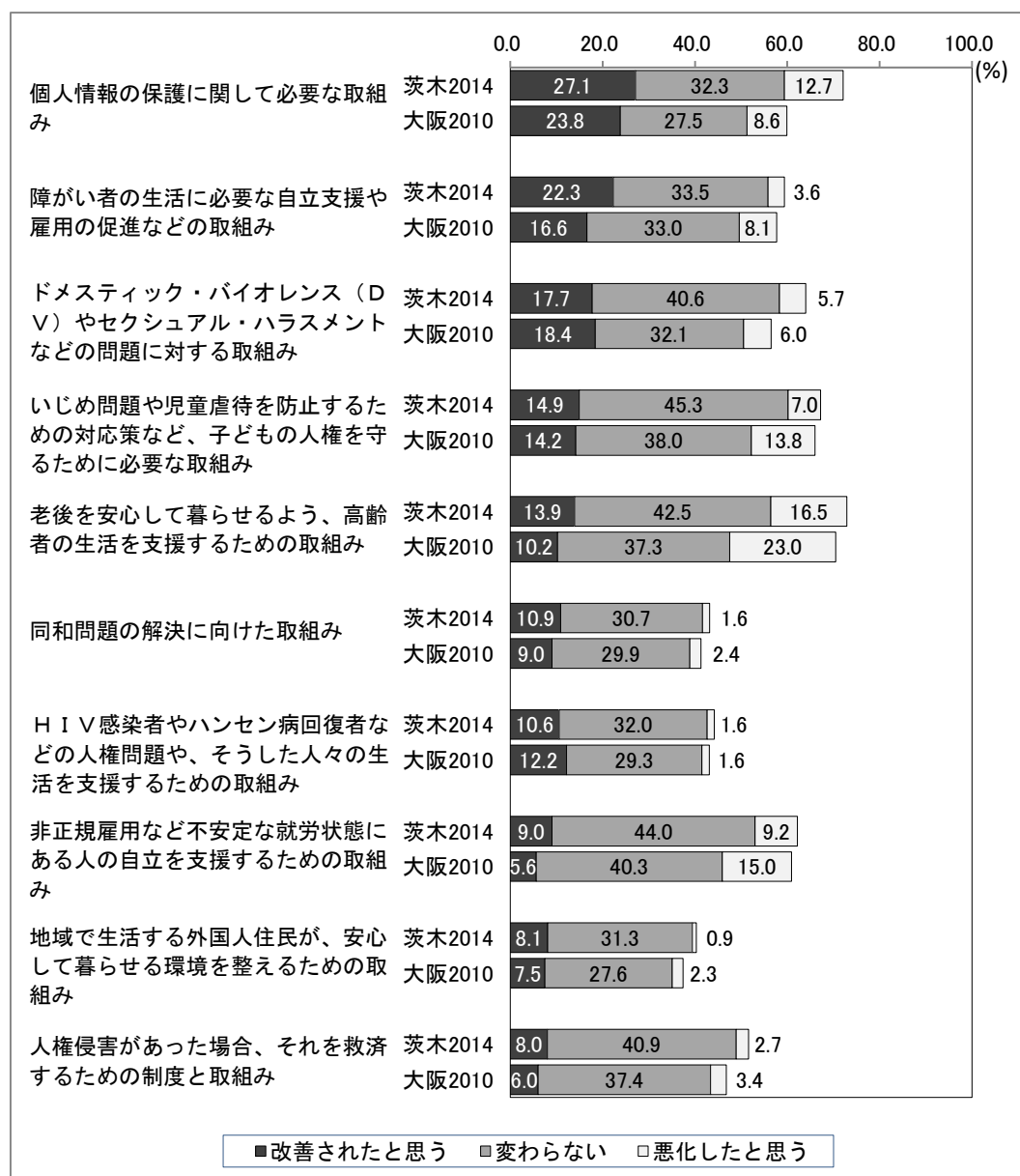


全体的に、「わからない」という回答が多く、行政の取組み状況について判断できない回答者が多かったようです。多くの項目で「改善されたと思う」が「悪化したと思う」を上回っており、行政の取組みが改善したと評価している回答が多くなっています。特に、「障がい者の自立支援や雇用の促進」、「性別による不平等に関する取組み」については、「改

善」が「悪化」を大きく上回っています。一方、「高齢者の生活の支援」、「不安定な就労状態にある人の自立支援」「インターネット上の権利侵害」、「犯罪被害者とその家族の支援」については、「悪化したと思う」がやや多くなっています。

(2) 大阪府調査との比較

大阪府調査と比較すると、回答の傾向はほとんど変わりませんが、全体的に「改善されたと思う」が多く、「悪化したと思う」が少なくなっており、本調査の方が行政の取り組みの成果を肯定的にとらえていると言えます。



※大阪府調査に含まれていない質問は図から省いています（以下同様）

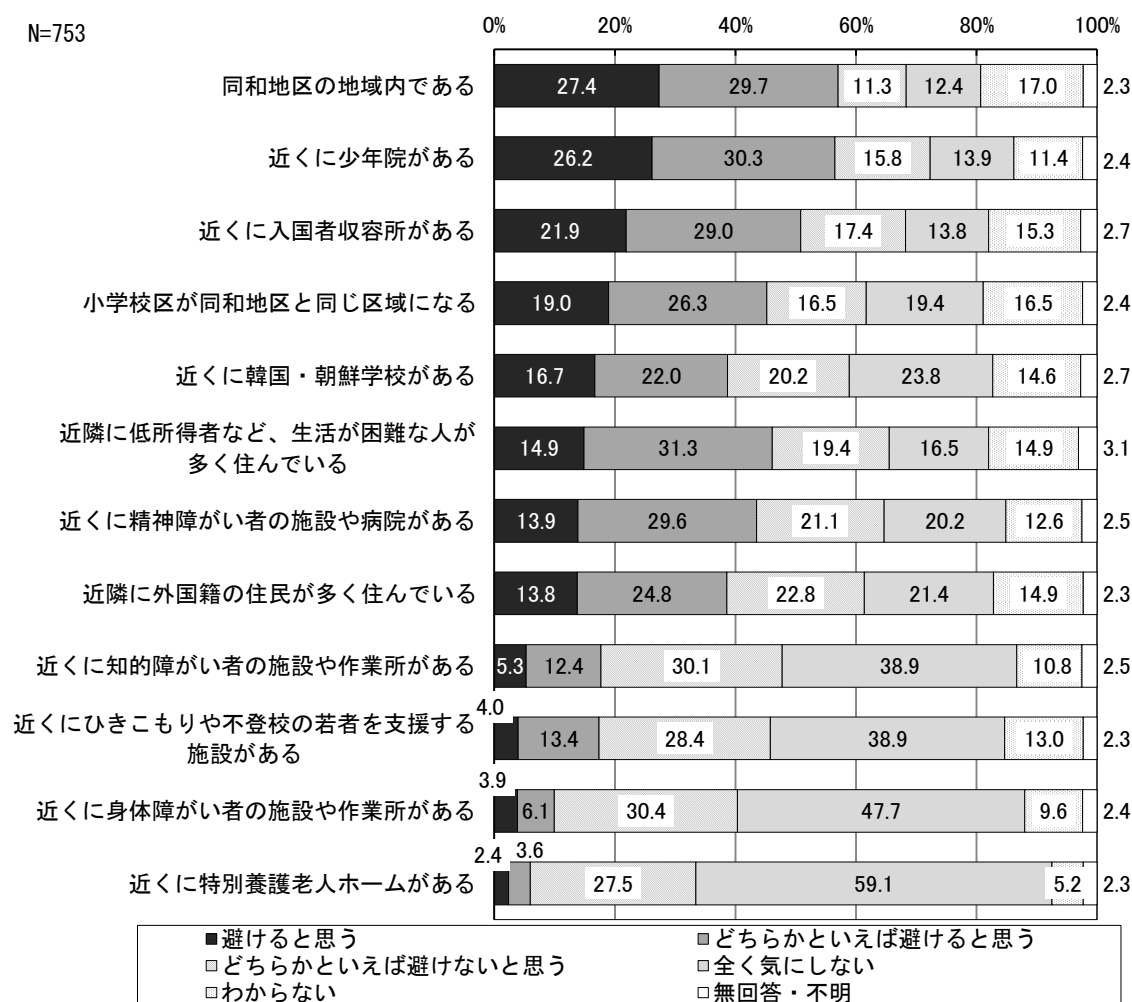
第三章 具体的な状況における人権意識

1 住宅を選ぶ際の忌避意識

(1) 質問と回答の状況

①住宅を選ぶ際に避けると思う地域

問4 あなたは、家を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望にあっても、次のような条件の物件の場合、避けることがありますか。すべての場合についてお答えください。（それぞれ1つに○）

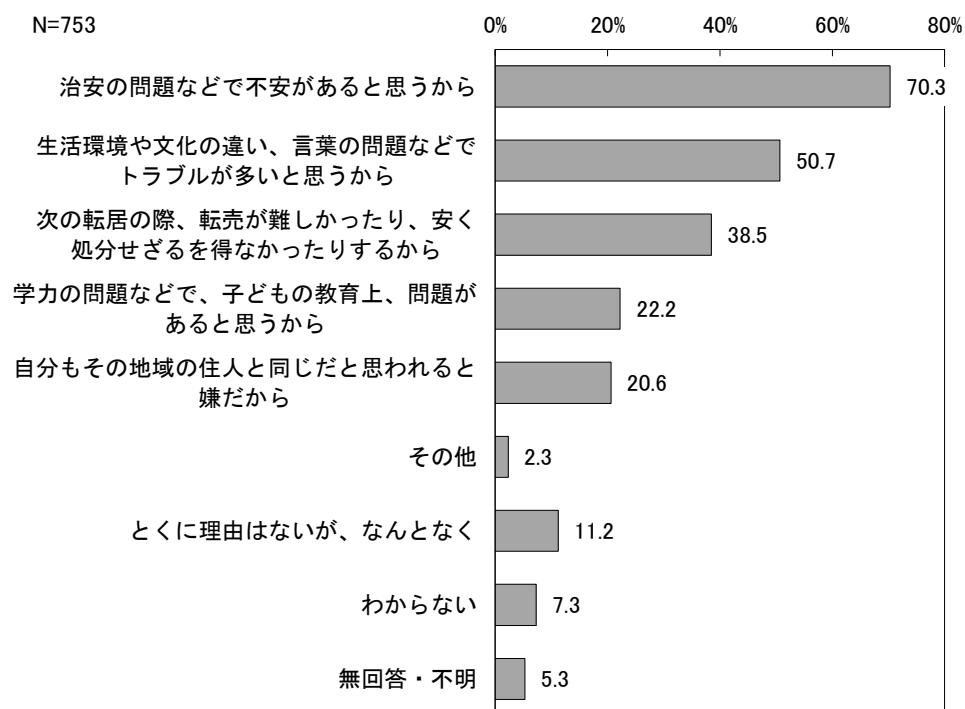


住宅を選ぶ際に避けると思うかどうかについて、「避けると思う」が最も多かったのは「同和地区の地域内」、最も少なかったのは「近くに特別養護老人ホームがある」でした。「どちらかといえば避けると思う」を含めると、「近くに少年院がある」、「近くに入国者収容所がある」といった、茨木市に実際にある施設について、5割以上が避けると回答して

おり、「小学校が同和地区と同じ区域」、「近隣に低所得者や生活困難者が多く住んでいる」についても、4割以上が避けると回答しています。また、障がい者の施設については、身体障がい者、知的障がい者の施設と比較して、「精神障がい者の施設や病院」を避けるという回答が多くなっています。

②住宅を選ぶ際に特定の地域を避ける理由

問5 問4のような場合に、住宅の購入や入居を避ける人がいるのはなぜだと思いますか。
あなたのお考えに近いものをお選びください。（〇はいくつでも）



住宅を選択する際に、特定の地域を避けようとする理由についてどう思うかを尋ねたところ、最も多かったのは「治安の問題などで不安があると思うから」でした。次いで、「生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから」が多くなっています。

「子どもの教育上問題がある」、「自分もその地域の住人と同じと思われると嫌」という回答は、比較的少なくなっています。

(2) 性別・年齢別・学歴別・暮らし向き別集計

性別でみると、すべての項目で「避けると思う」は女性の方が多く、「全く気にしない」は男性のほうが多くなっています。

年齢別でみると、「近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる」、「近くに少年院がある」、「近くに入国者収容所がある」については、若い世代ほど避けるという回答が多くなっています。70歳以上では、同和地区を除けば避けるという回答が比較的少なくなっています。「近くに韓国・朝鮮学校がある」については、30歳代以下で避けるという回答が少なくなっています。避ける理由については、「自分もその地域の住人と同じだと思われると嫌だから」は30歳代以下で少なくなっていますが、「治安の問題などで不安があると思うから」、「学力の問題などで、子どもの教育上、問題があると思うから」は50歳代以下の世代で多くなっています。

住宅を選ぶ際の忌避意識については、高学歴な方がより強く持つ傾向が見られることもあります。もっとも学歴については、若い世代ほど高くなる傾向があり、最終卒業学校が「中学校」は8割が60歳以上、「短大・高専」は4分の3が女性であるなど、年齢・性別の偏りがある（「短大・高専」と「大学・大学院」の年齢構成はほぼ同じ）ため、学歴のみの影響を取り出すことは、やや難しい面があります。

年齢・性別の影響を考慮してなお、学歴による差があると考えられるものとして、「同和地区の地域内である」、「小学校区が同和地区と同じ区域になる」、「近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる」については、学歴が高いほど避けるという回答が多い傾向が見られます。また避ける理由としては、「治安の問題などで不安があると思うから」、「学力の問題などで、子どもの教育上、問題があると思うから」について、学歴が高いほど多く回答されています。

暮らし向き別でみると、暮らし向きを良いと感じている人ほど、「小学校区が同和地区と同じ区域になる」、「近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる」について避けるという回答が多くなっています。また、避ける理由として、「治安の問題などで不安があると思うから」、「学力の問題などで、子どもの教育上、問題があると思うから」という回答が多くなっています。

問4 あなたは、家を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望にあっても、次のような条件の物件の場合、避けることがあると思いますか。すべての場合についてお答えください。（それぞれ1つに○）

(1) 同和地区の地域内である

(2) 小学校区が同和地区と同じ区域になる

		避けると思う	どちらかといえ ば避けると思う	避けな いと思 う	全く 気にし ない	わか らな い	無回 答・ 不明	避ける と思 う	どちら かとい え ば避 ける と思 う	避け ない と思 う	全く 気に しな い	わか らな い	無回 答・ 不明
全体 (N=753)		27.4	29.7	11.3	12.4	17.0	2.3	19.0	26.3	16.5	19.4	16.5	2.4
性別	女性 (N=418)	29.7	30.1	10.5	9.3	18.7	1.7	20.3	26.6	16.0	16.0	19.1	1.9
	男性 (N=310)	24.5	30.6	11.9	16.8	14.5	1.6	16.8	27.4	17.4	23.9	12.9	1.6
年齢	20歳代 (N=48)	14.6	27.1	14.6	10.4	33.3	-	14.6	14.6	16.7	22.9	31.3	-
	30歳代 (N=107)	29.9	26.2	12.1	11.2	19.6	0.9	24.3	25.2	14.0	19.6	15.9	0.9
	40歳代 (N=135)	35.6	25.2	10.4	11.9	15.6	1.5	25.9	23.0	20.0	16.3	14.1	0.7
	50歳代 (N=127)	34.6	26.8	13.4	11.8	13.4	-	26.8	26.0	14.2	20.5	12.6	-
	60歳代 (N=153)	19.0	38.6	11.1	11.8	17.6	2.0	14.4	30.1	17.0	20.3	16.3	2.0
	70歳以上 (N=172)	26.2	32.0	9.3	14.5	14.5	3.5	10.5	31.4	16.9	18.6	18.0	4.7
学歴	中学校 (N=71)	23.9	29.6	8.5	16.9	21.1	-	7.0	22.5	23.9	18.3	26.8	1.4
	高等学校 (N=246)	24.0	30.1	10.2	12.2	20.7	2.8	16.7	26.4	15.4	18.7	19.9	2.8
	短大・高専 (N=159)	28.9	30.2	11.9	9.4	19.5	-	22.6	23.9	19.5	16.4	17.6	-
	大学・大学院 (N=238)	31.1	31.5	12.6	13.0	10.5	1.3	23.5	30.7	14.3	21.4	9.2	0.8
暮らし向き	良い (N=206)	35.0	28.2	9.7	12.1	12.6	2.4	25.7	29.6	13.1	18.9	10.7	1.9
	ふつう (N=411)	24.1	33.1	12.2	10.7	18.7	1.2	16.3	27.5	18.2	18.2	18.2	1.5
	悪い (N=123)	26.8	22.8	11.4	18.7	18.7	1.6	17.1	18.7	17.1	23.6	21.1	2.4

※暮らし向きについては、「良い」と「やや良い」の合計を「良い」、「悪い」と「やや悪い」の合計を「悪い」としています（以下同様）。

(3) 近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる

(4) 近隣に外国籍の住民が多く住んでいる

		避けると思う	どちらかといえ ば避けると思う	避けな いと思 う	全く 気にし ない	わか らな い	無回 答・ 不明	避ける と思 う	ど ち ら か と い え ば 避 け る と 思 う	避 け な い と 思 う	全 く 気 に し な い	わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明
全体 (N=753)		14.9	31.3	19.4	16.5	14.9	3.1	13.8	24.8	22.8	21.4	14.9	2.3
性別	女性 (N=418)	17.0	32.1	19.1	12.2	17.0	2.6	14.6	25.6	22.5	17.5	18.2	1.7
	男性 (N=310)	12.6	30.3	20.0	22.3	12.9	1.9	12.9	24.8	24.8	25.8	10.0	1.6
年齢	20歳代 (N=48)	8.3	37.5	29.2	14.6	10.4	-	6.3	22.9	27.1	33.3	10.4	-
	30歳代 (N=107)	26.2	34.6	16.8	16.8	4.7	0.9	22.4	22.4	18.7	23.4	12.1	0.9
	40歳代 (N=135)	23.0	29.6	15.6	15.6	14.1	2.2	17.8	25.9	27.4	15.6	12.6	0.7
	50歳代 (N=127)	16.5	38.6	17.3	15.7	11.8	-	13.4	28.3	23.6	24.4	9.4	0.8
	60歳代 (N=153)	9.8	28.8	28.1	13.7	17.0	2.6	10.5	30.1	24.2	16.3	16.3	2.6
	70歳以上 (N=172)	7.6	26.7	15.7	20.9	23.8	5.2	11.6	19.8	20.3	24.4	20.9	2.9
学歴	中学校 (N=71)	9.9	16.9	25.4	19.7	23.9	4.2	14.1	23.9	19.7	21.1	21.1	-
	高等学校 (N=246)	10.6	30.9	19.5	15.9	19.9	3.3	14.6	23.2	19.9	20.7	18.3	3.3
	短大・高専 (N=159)	15.7	36.5	18.9	16.4	11.9	0.6	12.6	22.0	29.6	19.5	16.4	-
	大学・大学院 (N=238)	21.8	34.9	18.1	14.7	9.7	0.8	15.1	30.3	22.7	24.4	7.1	0.4
暮らし向き	良い (N=206)	20.4	36.4	16.5	13.6	10.7	2.4	15.0	27.7	22.8	22.8	9.7	1.9
	ふつう (N=411)	14.1	30.7	20.0	15.3	18.0	1.9	13.9	24.1	23.4	21.2	16.3	1.2
	悪い (N=123)	9.8	25.2	23.6	26.0	13.0	2.4	13.0	23.6	22.8	21.1	17.9	1.6

(5) 近くに身体障がい者の施設や作業所がある

(6) 近くに知的障がい者の施設や作業所がある

		避けると思う	どちらかといえ ば避けると思う	避けな いと思 う	全く 気にし ない	わか らな い	無回 答・ 不明	避ける と思 う	ど ち ら か と い え ば 避 け る と 思 う	避 け な い と 思 う	全 く 気 に し な い	わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明
全体 (N=753)		3.9	6.1	30.4	47.7	9.6	2.4	5.3	12.4	30.1	38.9	10.8	2.5
性別	女性 (N=418)	4.1	6.0	33.3	44.0	11.0	1.7	5.5	13.4	31.1	35.6	12.2	2.2
	男性 (N=310)	3.5	6.1	27.4	54.2	7.1	1.6	4.8	10.6	30.3	44.8	8.1	1.3
年齢	20歳代 (N=48)	4.2	6.3	35.4	47.9	6.3	-	8.3	10.4	31.3	43.8	4.2	2.1
	30歳代 (N=107)	2.8	5.6	29.9	55.1	5.6	0.9	5.6	15.9	25.2	44.9	7.5	0.9
	40歳代 (N=135)	3.0	6.7	36.3	44.4	8.9	0.7	3.7	16.3	35.6	32.6	11.1	0.7
	50歳代 (N=127)	5.5	6.3	29.9	52.8	5.5	-	6.3	11.0	29.9	46.5	6.3	-
	60歳代 (N=153)	3.9	6.5	32.0	44.4	11.1	2.0	5.2	14.4	32.7	35.9	9.8	2.0
	70歳以上 (N=172)	4.1	5.2	25.0	47.1	14.5	4.1	5.2	6.4	28.5	37.8	18.0	4.1

学歴	中学校 (N=71)	2.8	7.0	28.2	40.8	21.1	-	2.8	9.9	31.0	33.8	21.1	1.4
	高等学校 (N=246)	3.7	5.7	27.2	49.2	10.6	3.7	5.7	11.4	25.6	41.1	13.0	3.3
	短大・高専 (N=159)	6.3	7.5	33.3	44.7	8.2	-	6.3	13.8	34.0	35.2	10.7	-
	大学・大学院 (N=238)	2.9	4.2	33.6	53.4	5.5	0.4	4.6	13.0	34.0	42.9	5.0	0.4
暮らし向き	良い (N=206)	3.9	7.8	31.1	50.0	4.9	2.4	4.9	17.0	29.1	40.8	6.3	1.9
	ふつう (N=411)	2.7	5.1	30.9	48.9	11.2	1.2	4.4	10.9	31.6	39.7	12.2	1.2
	悪い (N=123)	8.1	5.7	29.3	43.9	11.4	1.6	9.8	8.1	28.5	37.4	13.0	3.3

(7) 近くに精神障がい者の施設や病院がある

(8) 近くに韓国・朝鮮学校がある

		避けると 思う	どちらか かといえ ば避ける と思う	避け ない と思う	全く 気に しない	わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明	避けると 思う	どちらか かといえ ば避ける と思う	避け ない と思う	全く 気に しない	わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明
全体 (N=753)		13.9	29.6	21.1	20.2	12.6	2.5	16.7	22.0	20.2	23.8	14.6	2.7
性別	女性 (N=418)	16.7	31.6	19.1	15.8	14.8	1.9	18.9	21.1	20.3	21.5	16.3	1.9
	男性 (N=310)	10.0	27.1	24.5	26.8	10.0	1.6	13.9	23.5	21.6	27.1	11.9	1.9
年齢	20歳代 (N=48)	20.8	35.4	25.0	12.5	6.3	-	9.0	7.0	15.0	10.0	7.0	-
	30歳代 (N=107)	18.7	35.5	13.1	21.5	10.3	0.9	18.8	14.6	31.3	20.8	14.6	-
	40歳代 (N=135)	20.0	32.6	21.5	13.3	11.9	0.7	27.1	15.9	13.1	28.0	15.0	0.9
	50歳代 (N=127)	15.0	29.1	25.2	22.0	8.7	-	16.3	24.4	26.7	19.3	12.6	0.7
	60歳代 (N=153)	9.8	28.8	24.2	20.3	14.4	2.6	19.7	26.0	19.7	26.0	8.7	-
	70歳以上 (N=172)	7.6	24.4	20.3	26.7	17.4	3.5	13.7	22.9	22.9	25.5	12.4	2.6
学歴	中学校 (N=71)	9.9	26.8	21.1	16.9	25.4	-	14.1	25.4	16.9	18.3	23.9	1.4
	高等学校 (N=246)	12.6	29.7	19.1	19.1	16.3	3.3	15.9	23.2	16.7	22.0	18.7	3.7
	短大・高専 (N=159)	16.4	33.3	21.4	16.4	11.9	0.6	20.1	14.5	26.4	23.3	15.7	-
	大学・大学院 (N=238)	15.1	28.6	24.4	25.6	5.9	0.4	17.2	24.8	22.7	28.6	6.3	0.4
暮らし向き	良い (N=206)	15.5	31.6	24.8	19.9	6.3	1.9	18.9	22.3	23.3	24.3	8.7	2.4
	ふつう (N=411)	11.9	29.2	21.2	21.7	14.6	1.5	14.8	22.9	21.4	23.6	16.1	1.2
	悪い (N=123)	17.9	28.5	17.1	17.9	16.3	2.4	21.1	18.7	13.0	24.4	19.5	3.3

(9) 近くに特別養護老人ホームがある

(10) 近くにひきこもりや不登校の若者を支援する施設がある

		避けると思う	どちらかといえ ば避けると思う	避けな いと思 う	全く 気にし ない	わか らな い	無回 答・ 不明	避ける と思 う	ど ち ら か と い え ば 避 け る と 思 う	避 け な い と 思 う	全 く 気 に し な い	わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明
全体 (N=753)		2.4	3.6	27.5	59.1	5.2	2.3	4.0	13.4	28.4	38.9	13.0	2.3
性別	女性 (N=418)	2.6	5.3	28.7	57.2	4.5	1.7	4.8	14.6	29.4	35.2	14.6	1.4
	男性 (N=310)	1.9	1.3	27.7	61.9	5.8	1.3	2.6	12.6	29.0	43.5	10.6	1.6
年齢	20歳代 (N=48)	2.1	6.3	22.9	60.4	8.3	-	2.1	12.5	25.0	45.8	14.6	-
	30歳代 (N=107)	3.7	2.8	22.4	68.2	1.9	0.9	7.5	14.0	22.4	45.8	9.3	0.9
	40歳代 (N=135)	1.5	3.0	31.1	57.8	5.9	0.7	2.2	15.6	39.3	31.1	11.1	0.7
	50歳代 (N=127)	2.4	3.9	31.5	60.6	1.6	-	4.7	15.0	30.7	41.7	7.9	-
	60歳代 (N=153)	1.3	3.3	30.7	58.2	3.9	2.6	3.9	13.1	26.8	40.5	13.7	2.0
	70歳以上 (N=172)	3.5	4.1	25.0	55.2	9.3	2.9	3.5	11.0	26.2	37.2	19.2	2.9
学歴	中学校 (N=71)	2.8	5.6	22.5	59.2	9.9	-	4.2	14.1	21.1	29.6	31.0	-
	高等学校 (N=246)	3.3	4.1	26.0	56.9	6.9	2.8	4.9	13.4	23.6	38.6	16.7	2.8
	短大・高専 (N=159)	2.5	5.0	30.2	57.9	3.8	0.6	6.3	13.8	35.2	36.5	8.2	-
	大学・大学院 (N=238)	0.8	1.7	31.1	63.4	2.5	0.4	2.1	13.0	34.0	45.0	5.5	0.4
暮らし向き	良い (N=206)	3.4	4.9	25.2	61.2	2.9	2.4	4.4	14.6	29.6	44.2	5.3	1.9
	ふつう (N=411)	1.2	2.9	31.1	57.7	6.1	1.0	2.9	13.6	29.2	37.7	15.6	1.0
	悪い (N=123)	4.9	2.4	21.1	64.2	5.7	1.6	7.3	8.9	26.8	37.4	17.1	2.4

(11) 近くに少年院がある

(12) 近くに入国者収容所がある

		避けると思う	どちらかといえ ば避けると思う	避けな いと思 う	全く 気にし ない	わか らな い	無回 答・ 不明	避ける と思 う	ど ち ら か と い え ば 避 け る と 思 う	避 け な い と 思 う	全 く 気 に し な い	わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明
全体 (N=753)		26.2	30.3	15.8	13.9	11.4	2.4	21.9	29.0	17.4	13.8	15.3	2.7
性別	女性 (N=418)	28.7	32.3	12.9	11.0	13.4	1.7	22.7	32.3	15.8	8.9	18.4	1.9
	男性 (N=310)	22.9	28.7	20.6	17.7	8.4	1.6	21.6	24.8	20.3	21.0	10.3	1.9
年齢	20歳代 (N=48)	50.0	39.6	6.3	2.1	2.1	-	41.7	35.4	8.3	6.3	8.3	-
	30歳代 (N=107)	41.1	22.4	7.5	16.8	10.3	1.9	37.4	25.2	9.3	15.9	11.2	0.9
	40歳代 (N=135)	29.6	34.8	13.3	11.1	10.4	0.7	24.4	34.8	14.8	11.1	14.1	0.7
	50歳代 (N=127)	26.0	29.9	22.0	17.3	4.7	-	21.3	29.1	25.2	18.1	6.3	-
	60歳代 (N=153)	19.6	34.0	19.6	9.8	15.0	2.0	15.7	29.4	20.3	11.1	21.6	2.0
	70歳以上 (N=172)	15.1	27.3	18.6	18.6	17.4	2.9	12.2	25.6	19.8	16.3	21.5	4.7

学歴	中学校 (N=71)	19.7	31.0	12.7	14.1	22.5	-	19.7	26.8	12.7	12.7	26.8	1.4
	高等学校 (N=246)	21.5	31.3	16.3	13.0	15.0	2.8	18.3	29.7	18.7	12.2	17.9	3.3
	短大・高専 (N=159)	30.2	27.7	15.1	14.5	11.9	0.6	25.8	25.8	20.1	11.9	16.4	-
	大学・大学院 (N=238)	30.7	32.8	17.6	13.9	4.6	0.4	25.2	31.5	17.2	16.8	8.8	0.4
暮らし向き	良い (N=206)	33.0	30.6	17.0	12.1	5.3	1.9	26.2	29.1	20.4	13.6	8.7	1.9
	ふつう (N=411)	23.1	31.9	16.8	14.4	12.7	1.2	19.5	31.1	16.8	14.1	17.0	1.5
	悪い (N=123)	26.0	26.0	12.2	15.4	17.9	2.4	24.4	22.0	16.3	13.8	20.3	3.3

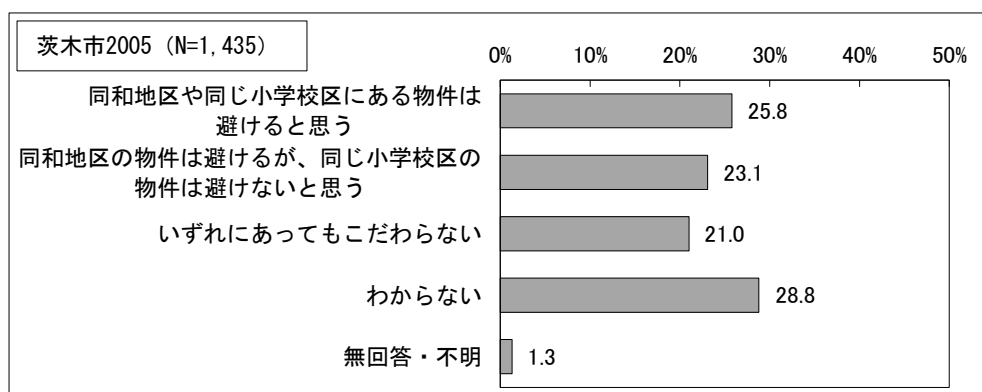
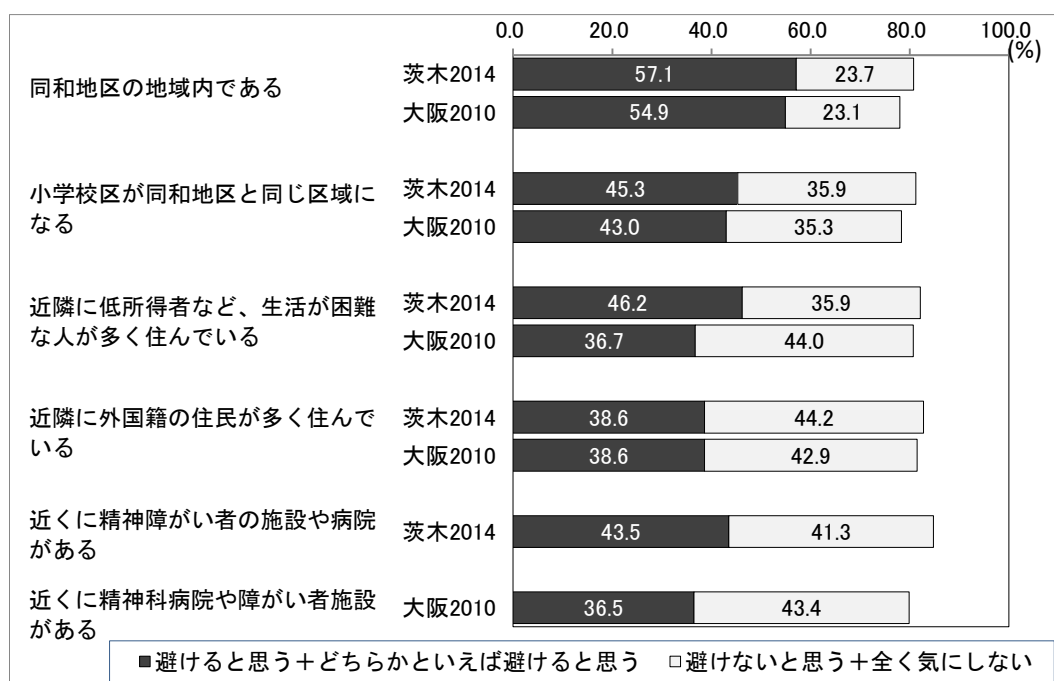
問5 問4のような場合に、住宅の購入や入居を避ける人がいるのはなぜだと思いますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。

		次 の 転 居 の 際 、 安 く 処 分 せ ざ る か つ た り 、 安 く 処 分 せ ざ る か つ た り す る か ら	多 い と 思 う か ら	生 活 環 境 や 文 化 の 違 い 、 言 葉 の 問 題 な ど で ト ラ ブ ル が 多 い と 思 う か ら	治 安 の 問 題 な ど で 不 安 が あ る と 思 う か ら	学 力 の 問 題 な ど で 、 子 ど も の 教 育 上 、 問 題 が あ る と 思 う か ら	自 分 も そ の 地 域 の 住 人 と 同 じ だ と 思 わ れ る と 嫌 だ か ら	そ の 他	と く に 理 由 は な い が 、 な ん と な く	わ か ら な い	不 明
全体 (N=753)		38.5	50.7	70.3	22.2	20.6	2.3	11.2	7.3	5.3	
性別	女性 (N=418)	41.4	50.2	69.6	23.0	20.8	2.6	12.2	7.4	4.5	
	男性 (N=310)	35.2	52.6	72.9	21.6	20.3	1.6	10.6	6.5	4.5	
年齢	20歳代 (N=48)	31.3	45.8	87.5	25.0	10.4	6.3	6.3	8.3	-	
	30歳代 (N=107)	29.9	53.3	78.5	29.9	15.9	2.8	5.6	2.8	1.9	
	40歳代 (N=135)	41.5	59.3	84.4	24.4	20.7	5.9	1.5	2.2	0.7	
	50歳代 (N=127)	46.5	52.0	75.6	27.6	23.6	0.8	7.9	7.9	0.8	
	60歳代 (N=153)	46.4	51.6	66.0	17.6	17.6	-	15.0	9.8	2.0	
	70歳以上 (N=172)	32.6	44.8	52.3	15.7	27.3	1.2	23.3	11.0	14.5	
学歴	中学校 (N=71)	26.8	46.5	36.6	5.6	22.5	2.8	18.3	11.3	11.3	
	高等学校 (N=246)	41.9	52.8	68.7	17.1	19.5	0.8	17.5	10.6	4.5	
	短大・高専 (N=159)	41.5	50.9	73.6	27.7	20.8	3.1	8.8	5.0	2.5	
	大学・大学院 (N=238)	38.7	54.2	84.0	29.8	20.6	2.9	5.0	2.9	1.3	
暮らし向き	良い (N=206)	40.8	51.9	79.1	33.5	24.8	1.0	10.2	7.3	2.9	
	ふつう (N=411)	39.7	50.1	68.6	18.5	19.0	2.4	11.4	7.5	4.9	
	悪い (N=123)	33.3	54.5	64.2	15.4	20.3	4.1	13.0	6.5	5.7	

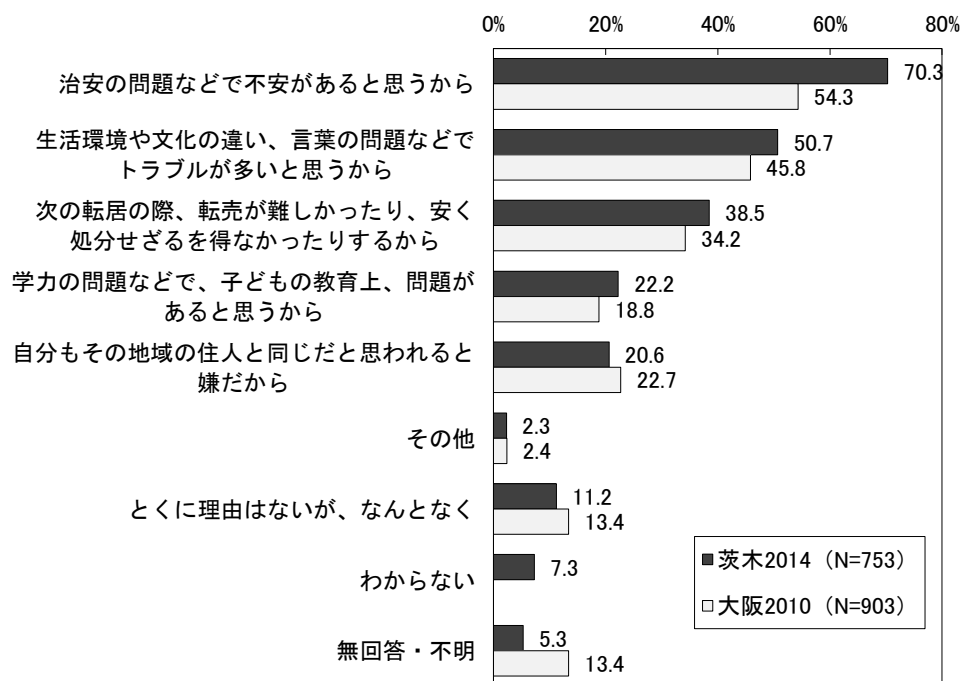
(3) 大阪府調査・前回調査との比較

大阪府調査との比較では、「近隣に低所得者や生活困難者が多く住んでいる」については、避けるという回答が特に多くなっており、同和地区についても、わずかに多くなっています。大阪府調査では障がい種別で質問を分けず、「近くに精神科病院や障がい者施設がある」のみを尋ねていますが、本調査の「精神障がい者の施設や病院」と比べると、避けるという回答が多くなっています。

前回調査は質問形式が異なるため、単純に比較できませんが、同和地区の物件は避けるという回答の合計は48.9%であり、ここでも本調査では避けるという回答が増加しています。



避ける理由を大阪府調査と比較すると、全体的に本調査の方で回答率が高くなっていますが、これは大阪府調査の方が「無回答」が多いことが理由の一つと考えられます。とはいえ、「治安の問題などで不安がある」は大阪府より大幅に回答率が高く、本市においては、治安の問題を不安視する人が多いことがうかがえます。



(4) 避けると思う地域別にみた避ける理由

「避けると思う」という回答が100件を超えたものについて、「避けると思う」と回答した人の避ける理由についての回答状況を次表に示しています。ただし、避ける理由については、どの地域についての理由なのかを特定して尋ねているものではないため、「避けると思う」と回答された地域と、避ける理由の関連を明確にできるものではありません。

傾向として、「近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる」地域を「避けると思う」と回答した人は、やや「学力の問題などで、子どもの教育上、問題があると思うから」を回答する率が高く、「近隣に外国籍の住民が多く住んでいる」又は「近くに韓国・朝鮮学校がある」地域を「避けると思う」と回答した人は、やや「生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから」を回答する率が高くなっています。とはいえ、全体として、地域別の避ける理由に大きな差は見られず、どの地域・施設について「避けると思う」と回答していたとしても、避ける理由についての回答状況にはさほど違いはないことがうかがえます。

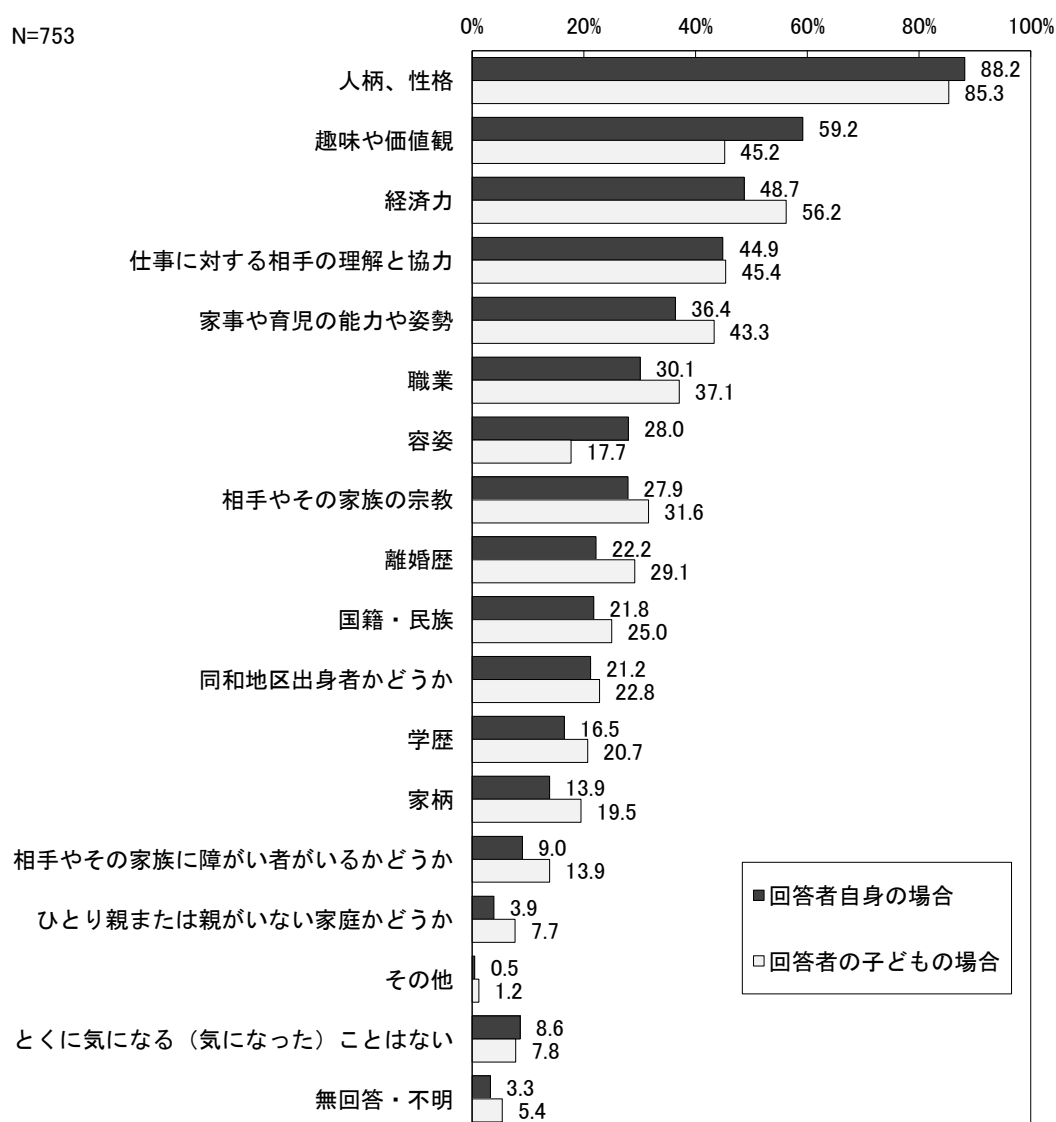
■特定の地域・施設を「避けると思う」と回答した人の「避ける理由」の回答状況

	次の転居の際、転売が難しかったり、安く処分せざるを得なかったりするから	多いと思うから	生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから	治安の問題などで不安があると思うから	学力的問題などで、子どもの教育上、問題があると思うから	自分もその地域の住人と同じだと思われると嫌だから	その他	とくに理由はないが、なんとなく	わからない	無回答・不明
同和地区の地域内である (N=206)	44.7	65.5	82.0	35.4	31.1	4.4	5.8	1.9	3.9	
小学校区が同和地区と同じ区域になる (N=143)	47.6	65.0	86.0	41.3	32.9	4.9	7.0	2.8	1.4	
近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる (N=112)	50.0	67.0	83.9	50.9	33.9	5.4	4.5	3.6	1.8	
近隣に外国籍の住民が多く住んでいる (N=104)	48.1	72.1	85.6	44.2	33.7	6.7	6.7	2.9	2.9	
近くに精神障がい者の施設や病院がある (N=105)	48.6	69.5	88.6	40.0	33.3	7.6	5.7	3.8	3.8	
近くに韓国・朝鮮学校がある (N=126)	46.8	76.2	84.9	43.7	30.2	7.9	9.5	4.8	4.0	
近くに少年院がある (N=197)	44.7	62.4	85.8	34.0	25.4	5.6	4.6	2.5	2.5	
近くに入国者収容所がある (N=165)	47.9	65.5	85.5	36.4	28.5	4.8	6.1	4.2	2.4	

2 結婚相手を考える際に気になること（気になったこと）

（1）質問と回答の状況

問6 結婚相手を考える際に、気になること（なったこと）はどんなことですか。あなたご自身の結婚の場合と、お子さんの結婚の場合とに分け、気になる項目を選んでください。お子さんがいらっしゃらない方も、いると想定してお答えください。
（○はいくつでも）



結婚相手を考えるときに気になることとして、回答者自身の場合についてみると、「人柄、性格」、「趣味や価値観」が上位となっています。「国籍・民族」、「同和地区出身者かどうか」については、2割程度、「相手やその家族に障がい者がいるかどうか」については、1割程度の回答があります。

回答者の子どもの場合については、おおむね回答者自身の場合と同じような傾向ですが、「趣味や価値観」、「容姿」の回答が減り、「経済力」、「家事や育児の能力や姿勢」、「職業」、「離婚歴」、「家柄」がやや多くなっています。

（２）性別・年齢別集計

この設問の回答状況は、回答者の性・年齢による差が大きくなっています。

性別で見ると、回答者自身の結婚については、女性は「経済力」、「職業」、「学歴」、「離婚歴」の回答が男性よりかなり多く、男性は「容姿」、「家事や育児の能力や姿勢」がやや多くなっています。社会的な役割期待を反映したものと言えるでしょう。

年齢別で見ると、「趣味や価値観」、「仕事に対する理解と協力」、「家事や育児の能力や姿勢」、「離婚歴」については、若い世代ほど多く回答する傾向があります。

回答者の子どもの場合については、子どもの性別を示していないため、回答者自身の結婚の場合とは異なる回答状況になっています。

性別で見ると、「経済力」、「職業」については、男性のほうが多く回答しており、「国籍・民族」、「相手やその家族に障がい者がいるかどうか」、「宗教」、「同和地区出身者かどうか」については、女性の回答がやや多くなっています。

年齢別で見ると、30歳代以下では、「離婚歴」の回答が多くなっています。また、「同和地区出身者かどうか」については、自身の場合、子どもの場合のいずれも、30歳代以下の回答が少なくなっています。

問6 結婚相手を考える際に、気になること（なったこと）（あなたご自身の場合）

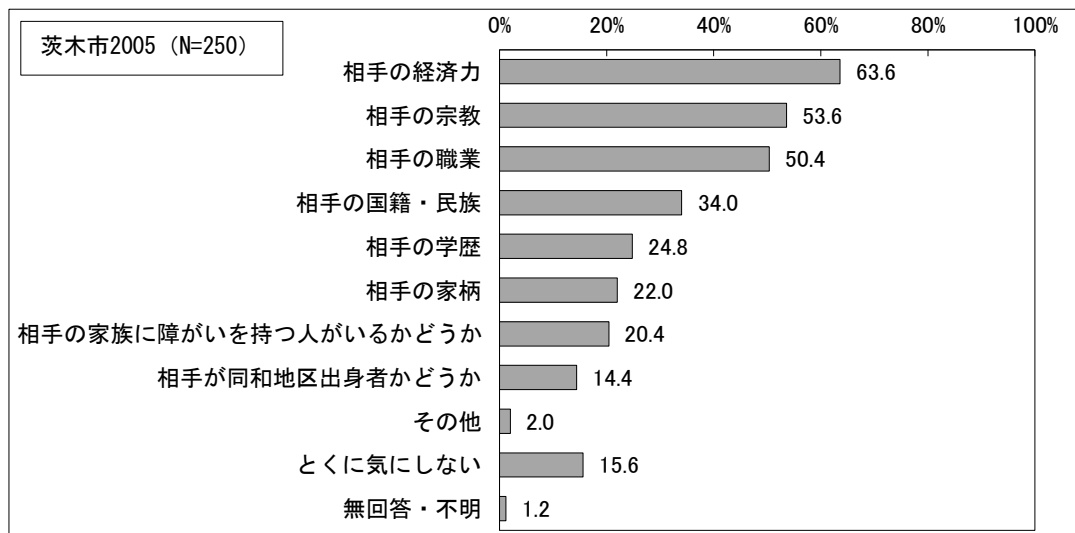
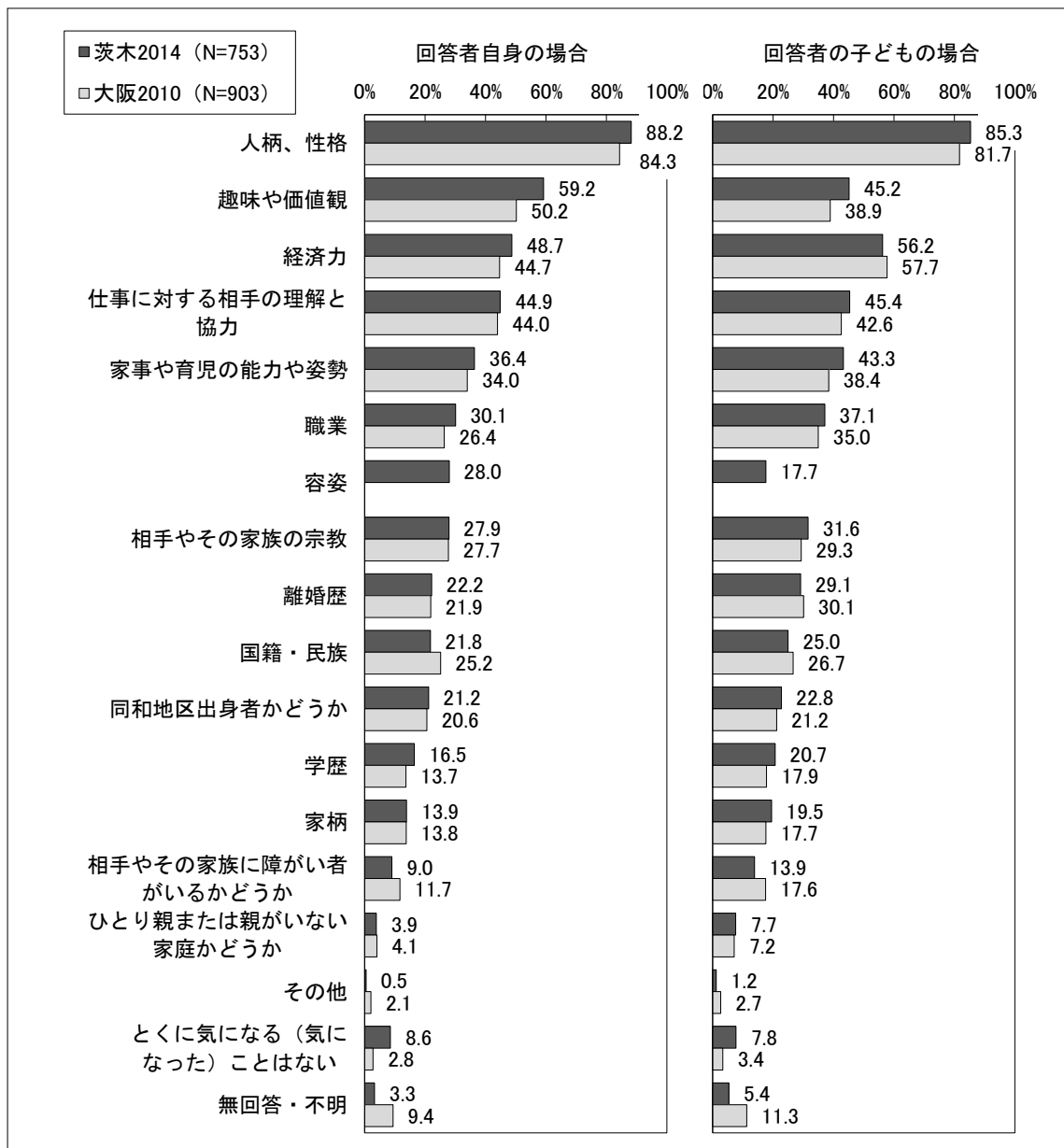
		人柄、性格	容姿	趣味や価値観	仕事に対する相手の理解と協力	家事や育児の能力や姿勢	経済力	学歴	職業	家柄	離婚歴
全体 (N=753)		88.2	28.0	59.2	44.9	36.4	48.7	16.5	30.1	13.9	22.2
性別	女性 (N=418)	90.0	24.2	62.7	42.1	33.0	68.7	20.6	42.3	16.5	26.6
	男性 (N=310)	88.1	33.9	55.2	49.4	41.9	22.6	11.0	14.2	10.6	15.8
年齢	20歳代 (N=48)	93.8	37.5	83.3	70.8	64.6	52.1	14.6	39.6	22.9	43.8
	30歳代 (N=107)	90.7	29.0	72.0	54.2	50.5	40.2	15.0	35.5	16.8	33.6
	40歳代 (N=135)	94.1	38.5	79.3	51.1	41.5	60.0	16.3	31.1	10.4	22.2
	50歳代 (N=127)	91.3	33.9	58.3	38.6	32.3	51.2	18.9	29.1	12.6	19.7
	60歳代 (N=153)	86.9	24.8	52.9	39.2	25.5	45.8	12.4	25.5	11.1	14.4
	70歳以上 (N=172)	82.6	15.7	37.8	37.8	29.7	48.3	20.3	29.7	16.9	18.6
		国籍・民族	相手やその家族に障がい者がいるかどうか	相手やその家族の宗教	親がいない家庭かどうか	ひとり親またはかどうか	同和地区出身者かどうか	その他	とくに気になる（気になった）ことはない	不明・無回答	
全体 (N=753)		21.8	9.0	27.9	3.9	21.2	0.5	8.6	3.3		
性別	女性 (N=418)	22.7	10.3	31.3	4.3	24.9	1.0	7.9	1.9		
	男性 (N=310)	20.6	7.7	24.2	3.5	17.1	-	10.0	3.5		
年齢	20歳代 (N=48)	31.3	10.4	39.6	2.1	12.5	-	2.1	-		
	30歳代 (N=107)	25.2	6.5	34.6	2.8	15.0	1.9	2.8	1.9		
	40歳代 (N=135)	16.3	8.9	28.9	3.7	23.7	0.7	3.0	0.7		
	50歳代 (N=127)	21.3	7.9	23.6	3.1	19.7	0.8	5.5	-		
	60歳代 (N=153)	20.9	9.2	26.8	2.0	23.5	-	12.4	2.0		
	70歳以上 (N=172)	23.8	11.6	25.6	7.6	26.2	-	17.4	7.6		

問6 結婚相手を考える際に、気になること（なったこと）（あなたのお子さんの場合）

		人柄、性格	容姿	趣味や価値観	仕事に対する相 手の理解と協力	家事や育児の能 力や姿勢	経済力	学歴	職業	家柄	離婚歴
全体 (N=753)		85.3	17.7	45.2	45.4	43.3	56.2	20.7	37.1	19.5	29.1
性別	女性 (N=418)	85.3	17.7	45.2	45.4	43.3	56.2	20.7	37.1	19.5	29.1
	男性 (N=310)	88.5	18.9	49.5	49.5	45.5	66.0	24.6	47.4	24.9	33.7
年齢	20歳代 (N=48)	85.4	14.6	47.9	56.3	64.6	64.6	18.8	50.0	29.2	52.1
	30歳代 (N=107)	86.9	16.8	50.5	54.2	54.2	55.1	19.6	43.9	27.1	42.1
	40歳代 (N=135)	91.1	23.0	62.2	48.9	53.3	65.2	21.5	44.4	17.8	33.3
	50歳代 (N=127)	89.0	16.5	48.8	49.6	47.2	55.1	16.5	30.7	15.7	26.8
	60歳代 (N=153)	84.3	19.0	36.6	37.3	30.7	51.6	17.6	31.4	16.3	22.2
	70歳以上 (N=172)	80.8	14.5	34.9	40.1	33.7	54.1	27.3	34.9	20.3	20.3
			国籍・民族	相手にその家族に障がい者がいるかどうか	相手の宗教	親がいない家庭かどうか	ひとり親または	同和地区出身者かどうか	その他	とくに気になる（気になった）ことはない	不明・無回答
全体 (N=753)		25.0	13.9	31.6	7.7	22.8	1.2	7.8	5.4		
性別	女性 (N=418)	27.5	17.2	36.6	9.6	27.0	1.4	6.7	4.1		
	男性 (N=310)	21.6	9.7	25.5	5.5	18.1	1.0	10.0	5.5		
年齢	20歳代 (N=48)	27.1	14.6	29.2	10.4	12.5	2.1	4.2	2.1		
	30歳代 (N=107)	30.8	15.9	44.9	16.8	15.0	1.9	4.7	5.6		
	40歳代 (N=135)	27.4	15.6	38.5	5.9	27.4	0.7	3.0	2.2		
	50歳代 (N=127)	26.0	11.0	26.0	2.4	26.8	2.4	6.3	0.8		
	60歳代 (N=153)	20.3	12.4	28.1	3.9	21.6	0.7	13.1	3.3		
	70歳以上 (N=172)	23.8	15.7	27.3	10.5	26.7	0.6	11.6	11.0		

（3）大阪府調査・前回調査との比較

大阪府調査との比較では、ほとんど同じ回答の傾向となっています。前回調査は未婚者のみに対する質問だったため、単純な比較はできませんが、仮に本調査の「回答者自身の場合」の30歳代以下の回答で比較すると、「宗教」、「学歴」、「障がいを持つ人がいるかどうか」がやや減少し、それ以外では大きな違いは見られません。



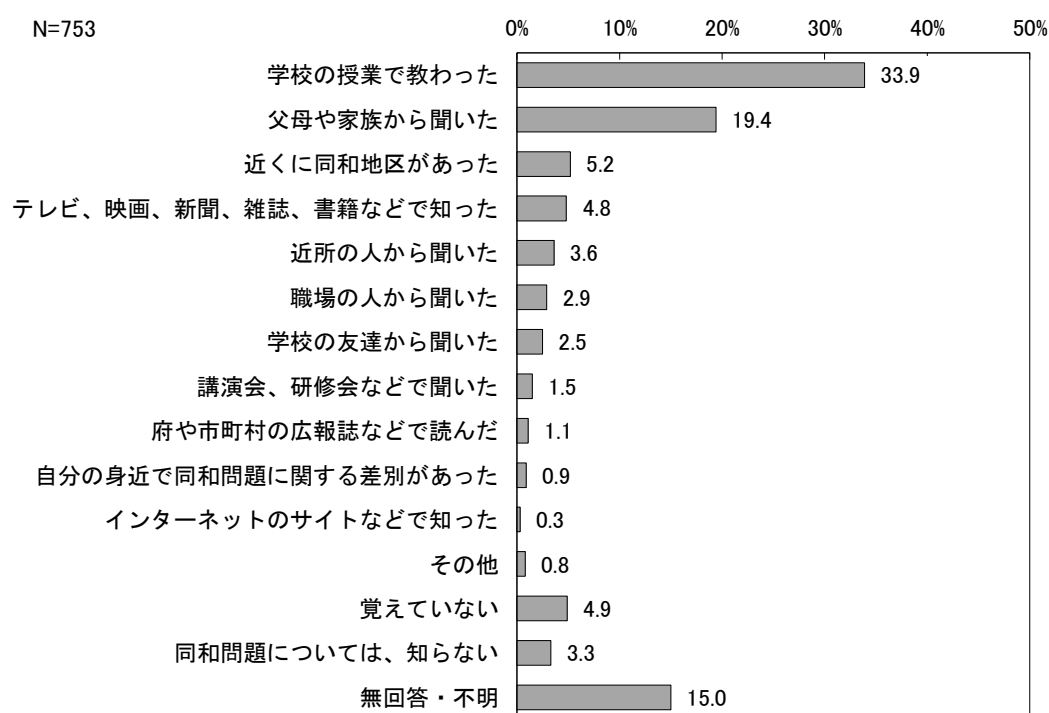
※茨木2005は未婚者のみに対して「結婚相手の気になること、気になると思うこと」を質問

第四章 同和問題の現状と今後の展望に関する意識

1 同和問題を知ったきっかけ

(1) 質問と回答の状況

問7 あなたが日本の社会において、同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることをはじめて知ったのは、ということがきっかけですか。(1つに○)



同和問題、部落問題を知ったきっかけとして最も多いのは「学校の授業で教わった」で、次いで「父母や家族から聞いた」となっています。

(2) 性別・年齢別集計

年齢別でみると、「学校の授業で教わった」は40歳代以下では6割前後、50歳代で4割程度ありますが、60歳以上では少なくなっています。逆に、「父母や家族から聞いた」は50歳代以上では2割台ですが、30歳代以下は1割未満となっています。また、全体的に回答率は低くなっていますが、「テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った」、「近くに同和地区があった」も若い世代ほど回答が少ない傾向があります。回答者数が少なく明確な傾向とはいえませんが、20歳代では「同和問題については、知らない」がやや多くなっています。

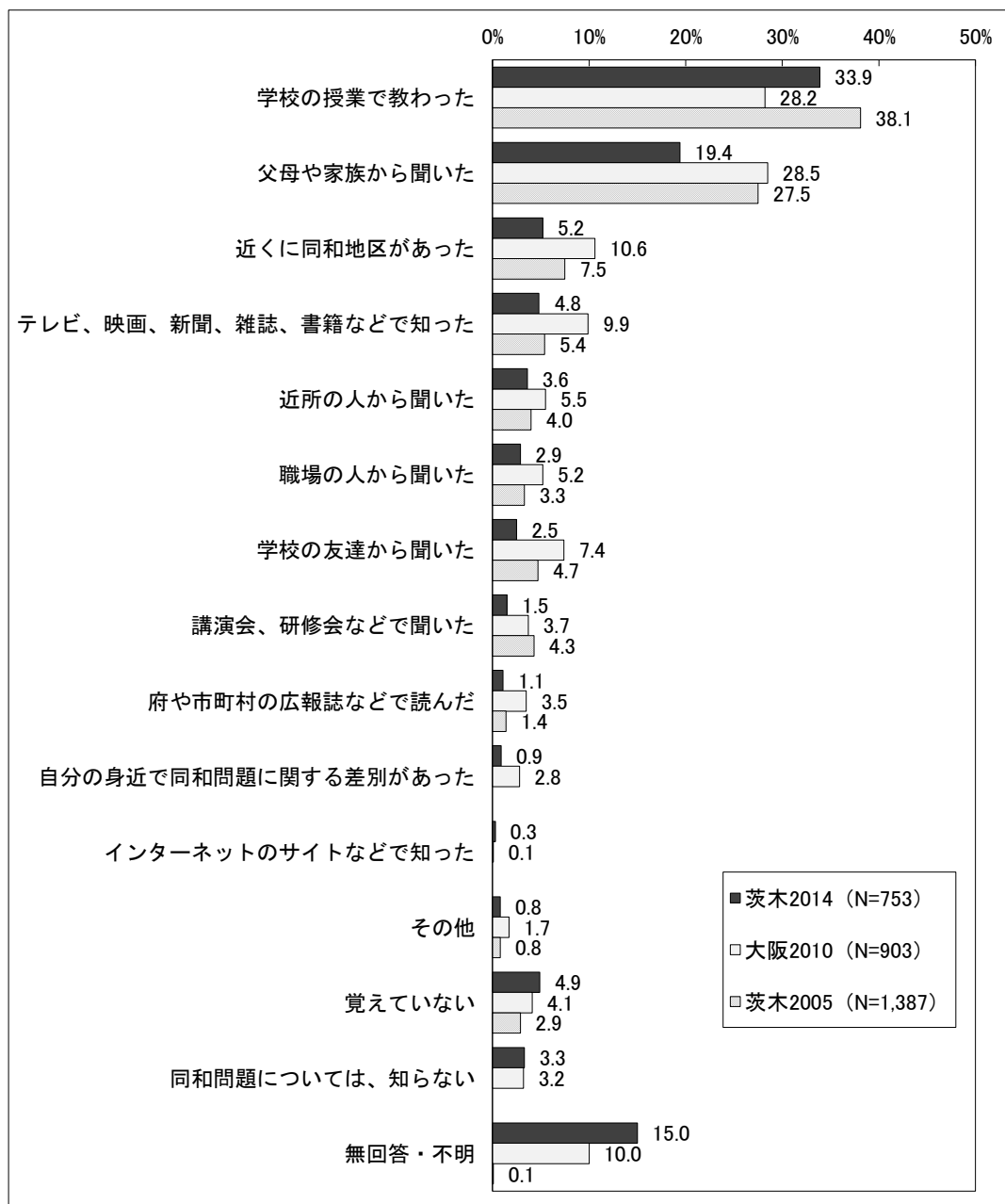
問7 あなたが日本の社会において、同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることをはじめて知ったのは、ということがきっかけですか。

		父母や家族から聞いた	近所の人から聞いた	学校の友達から聞いた	学校の授業で教わった	職場の人から聞いた	講演会、研修会などで聞いた	府や市町村の広報誌などで読んだ	テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った	インターネットのサイトなどで知った	近くに同和地区があった
全体 (N=753)		19.4	3.6	2.5	33.9	2.9	1.5	1.1	4.8	0.3	5.2
性別	女性 (N=418)	18.7	3.1	3.6	36.8	1.9	1.4	0.7	3.8	0.2	5.3
	男性 (N=310)	21.3	4.2	1.3	30.6	4.5	1.6	1.3	6.1	0.3	4.5
年齢	20歳代 (N=48)	6.3	2.1	2.1	56.3	-	-	-	2.1	2.1	-
	30歳代 (N=107)	9.3	0.9	0.9	64.5	0.9	0.9	-	1.9	-	2.8
	40歳代 (N=135)	14.1	-	1.5	59.3	-	-	-	3.7	-	2.2
	50歳代 (N=127)	22.8	1.6	3.9	42.5	3.1	-	0.8	4.7	-	4.7
	60歳代 (N=153)	27.5	3.9	2.0	10.5	7.2	3.9	3.3	5.2	-	8.5
	70歳以上 (N=172)	25.0	9.9	4.1	4.7	3.5	2.3	1.2	7.6	0.6	7.6
		自分の身近で同和問題に関する差別があった	その他	覚えていない	知らない 同和問題については、	無回答・不明					
全体 (N=753)		0.9	0.8	4.9	3.3	15.0					
性別	女性 (N=418)	0.7	0.5	5.0	2.9	15.3					
	男性 (N=310)	1.3	1.3	4.8	3.2	13.5					
年齢	20歳代 (N=48)	-	2.1	4.2	12.5	10.4					
	30歳代 (N=107)	1.9	-	3.7	2.8	9.3					
	40歳代 (N=135)	0.7	0.7	5.9	1.5	10.4					
	50歳代 (N=127)	-	-	3.9	0.8	11.0					
	60歳代 (N=153)	1.3	2.0	7.2	3.3	14.4					
	70歳以上 (N=172)	1.2	0.6	4.1	4.1	23.8					

(3) 大阪府調査・前回調査との比較

大阪府調査と比較すると、「学校の授業で教わった」が多く、それ以外の回答は全体的に少なくなっています。

前回調査と比較すると、「無回答・不明」が増加しており、その分全体的に回答率が下がっています。その中でも、「父母や家族から聞いた」は減少幅がやや大きくなっています。

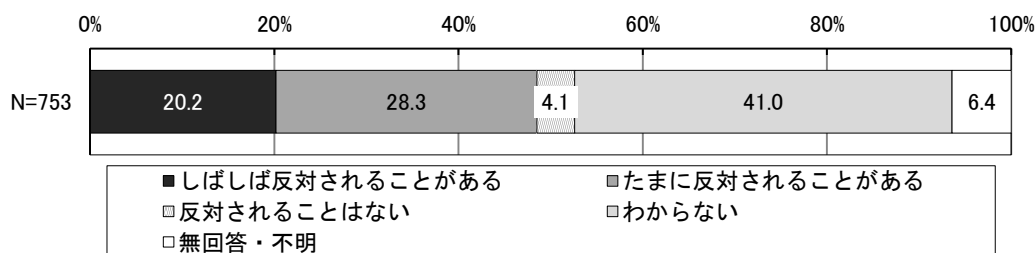


2 同和地区住民に対する結婚差別の現状認識と将来展望

(1) 質問と回答の状況

①結婚差別の現状認識

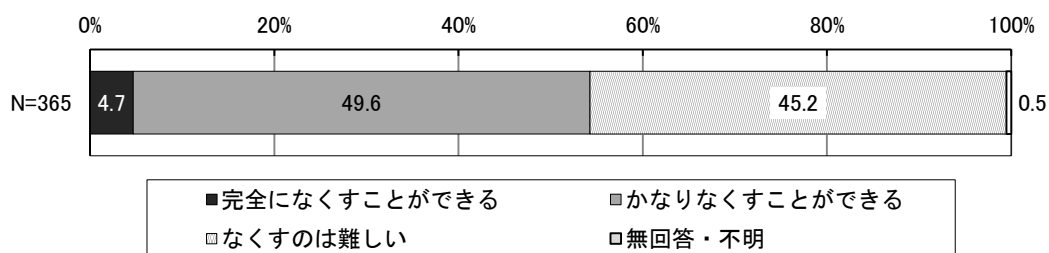
問8 現在、同和地区の人たちは、結婚する際に反対されることがあると思いますか。
(1つに○)



同和地区出身者が結婚に反対されることについては、全体の約半数が「しばしば」又は「たまに」反対されることがあると回答しており、約4割は「わからない」と回答しています。「反対されることがない」は4.1%にとどまっています。

②結婚差別の将来展望

問8-1 (反対されることがあると思う人のみ) それは、近い将来、なくすことができると
思いますか。(1つに○)



反対されることについて、近い将来それをなくすことができるかどうかについては、半数以上が「完全に」又は「かなり」なくすことができると回答している一方で、4割台半ばの人が「なくすのは難しい」と回答しています。

(2) 性別・年齢別集計

性別でみると、男性より女性の方が、「なくすのは難しい」が多くなっています。

年齢別でみると、「しばしば反対されることがある」は30歳代から50歳代で多くなっており、高齢世代よりも差別があるという認識が強まっていることがうかがえます。近い将来なくせるかどうかについては、「なくすのは難しい」という回答が60歳代以上より50歳代以下で多くなっており、30歳代では特に多くなっています。

問8 現在、同和地区の人たちは、結婚する際に反対されることがあると思いますか。

	しばしば反対されることがある	たまに反対されることがある	反対されることはない	わからない	無回答・不明
全体 (N=753)	20.2	28.3	4.1	41.0	6.4
性別					
女性 (N=418)	18.9	28.7	3.1	43.8	5.5
男性 (N=310)	21.9	29.4	5.5	37.4	5.8
年齢					
20歳代 (N=48)	14.6	29.2	8.3	45.8	2.1
30歳代 (N=107)	28.0	27.1	3.7	39.3	1.9
40歳代 (N=135)	28.9	27.4	4.4	38.5	0.7
50歳代 (N=127)	25.2	29.1	0.8	41.7	3.1
60歳代 (N=153)	14.4	35.9	5.9	39.2	4.6
70歳以上 (N=172)	12.2	23.8	4.1	45.3	14.5

問8-1（反対されることがあると思う人のみ）それは、近い将来、なくすことができますか。

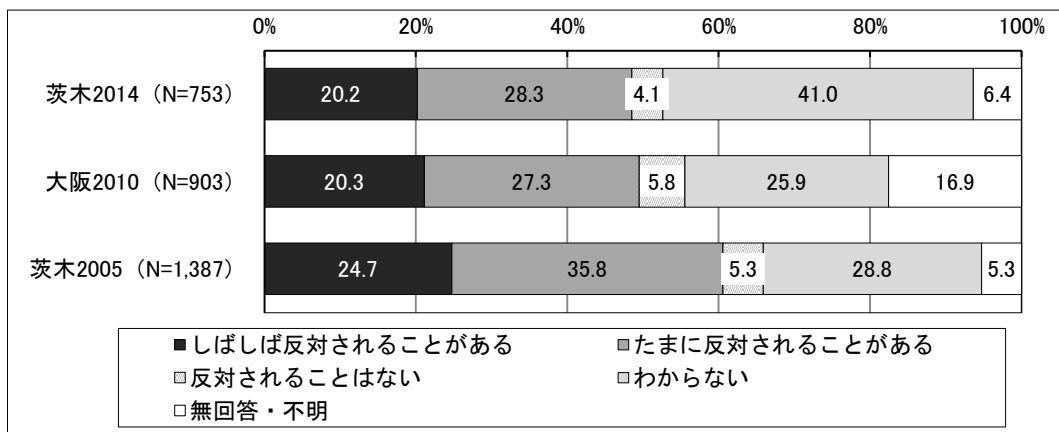
		きる 完全 になくす ことが で	きる かなり なくす ことが で	なくす のは 難しい	無 回 答 ・ 不 明
全体 (N=365)		4.7	49.6	45.2	0.5
性別	女性 (N=199)	3.5	47.2	48.7	0.5
	男性 (N=159)	5.7	54.1	39.6	0.6
年齢	20歳代 (N=21)	4.8	47.6	47.6	-
	30歳代 (N=59)	3.4	25.4	71.2	-
	40歳代 (N=76)	3.9	51.3	44.7	-
	50歳代 (N=69)	2.9	49.3	47.8	-
	60歳代 (N=77)	6.5	62.3	31.2	-
	70歳以上 (N=62)	6.5	56.5	33.9	3.2

（3）大阪府調査・前回調査との比較

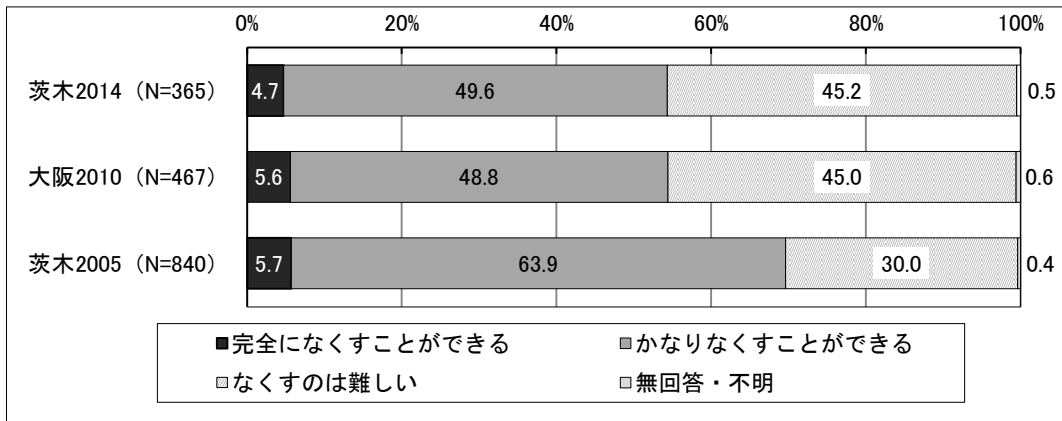
大阪府調査との比較においては、回答の傾向に大きな差は見られません。

前回調査との比較では、結婚に反対されることが「しばしば」、「たまに」あると思うという回答が、いずれも減少し、「わからない」が増加しています。反対されることを近い将来なくせかどうかについては、「かなりなくすことができる」が減少し、「なくすのは難しい」が増加しており、改善の展望に対する厳しい見方が増えています。

■結婚に反対されることがあると思うか



■結婚に反対されることを近い将来なくせるか

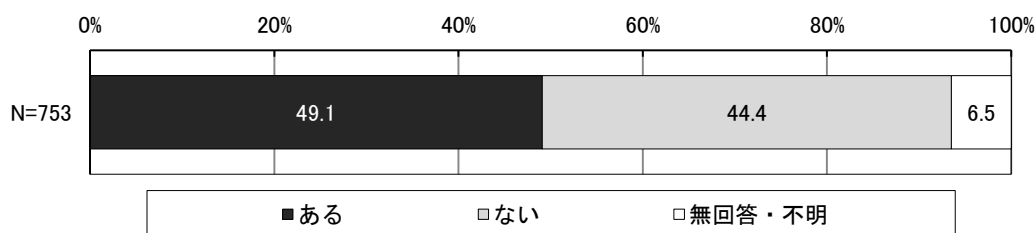


3 「同和地区の人は怖い」という話を聞くことについて

(1) 質問と回答の状況

①「同和地区の人は怖い」という話を聞いた経験

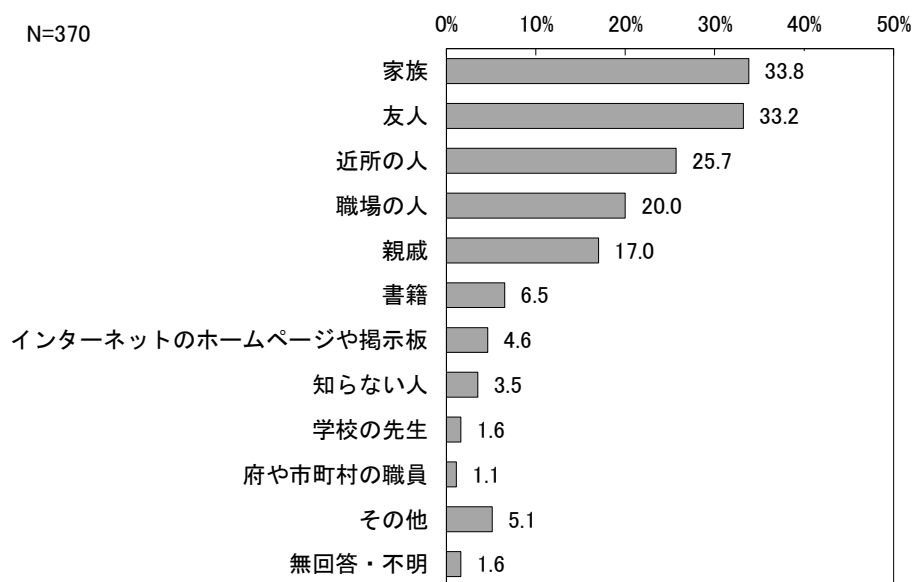
問9 あなたは「同和地区の人は怖い」というような話を聞いたことがありますか。



「ある」という回答と「ない」という回答が、ほぼ半数ずつとなっています。

②その話を誰から聞いたか

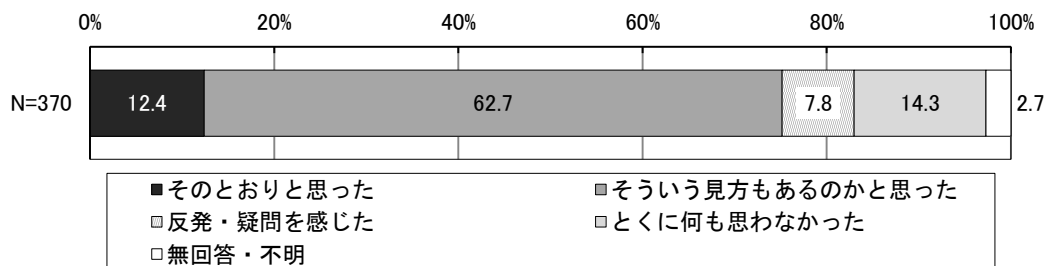
問9-1 問9で「1 ある」と回答された方にお聞きします。それは誰からですか。(〇はいくつでも)



話を聞いた相手については、「家族」と「友人」が3割台、「近所の人」、「職場の人」が2割台と、身近な人間関係にある人から聞いていることが多くなっています。

③その話を聞いてどう感じたか

問9-2 問9で「1 ある」と回答された方にお聞きします。その話を聞いたとき、どう感じましたか。



「そのような見方もあるのかと思った」または「とくに何も思わなかった」という回答が、約7割と多数を占めています。「反発・疑問を感じた」という回答が7.8%にとどまる一方で、「そのとおりと思った」が12.4%となっています。

(2) 性別・年齢別集計

「同和地区の人はこわい」という話を聞いたことが「ある」という回答は、40歳代から60歳代で半数を超えています。若い世代ほど少なくなる傾向があります。「近所の人」から聞いたという回答は、若い世代ほど少なくなっています。また、その話を聞いたとき「そのとおりと思った」という回答は、男性と30歳代でやや多くなっています。

問9 あなたは「同和地区の人はこわい」というような話を聞いたことがありますか。

		ある	ない	無回答・不明
全体 (N=753)		49.1	44.4	6.5
性別	女性 (N=418)	48.3	46.2	5.5
	男性 (N=310)	51.0	42.6	6.5
年齢	20歳代 (N=48)	31.3	66.7	2.1
	30歳代 (N=107)	42.1	57.0	0.9
	40歳代 (N=135)	54.1	43.7	2.2
	50歳代 (N=127)	62.2	35.4	2.4
	60歳代 (N=153)	56.9	34.6	8.5
	70歳以上 (N=172)	40.7	47.1	12.2

問9-2 問9で「1 ある」と回答された方にお聞きします。その話を聞いたとき、どう感じましたか。

		そのとおりに思った	かと思っただろうという見方もあるのか	反発・疑問を感じた	たどくに何も思わなかった	無回答・不明
全体 (N=370)		12.4	62.7	7.8	14.3	2.7
性別	女性 (N=202)	7.4	67.8	6.4	13.9	4.5
	男性 (N=158)	16.5	58.9	9.5	14.6	0.6
年齢	20歳代 (N=15)	13.3	40.0	6.7	40.0	-
	30歳代 (N=45)	22.2	51.1	11.1	11.1	4.4
	40歳代 (N=73)	5.5	67.1	8.2	16.4	2.7
	50歳代 (N=79)	11.4	65.8	3.8	17.7	1.3
	60歳代 (N=87)	13.8	66.7	11.5	5.7	2.3
	70歳以上 (N=70)	12.9	62.9	5.7	14.3	4.3

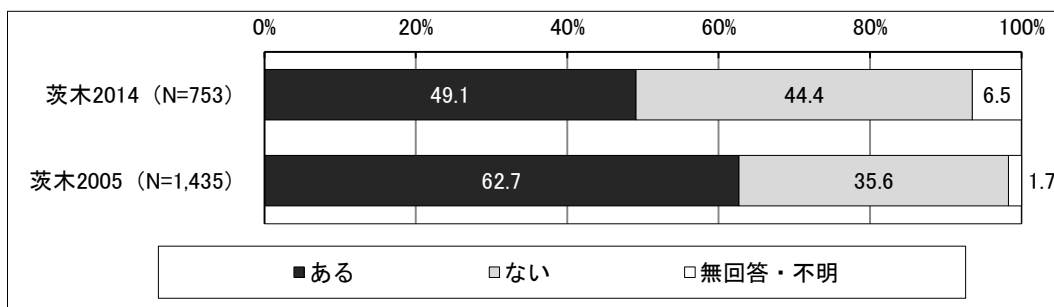
問9-1 問9で「1 ある」と回答された方にお聞きします。それは誰からですか。

		家族	親戚	近所の人	友人	職場の人	学校の先生	府や市町村の職員	知らない人	書籍	インターネットのホームページや掲示板	その他	無回答・不明
全体 (N=370)		33.8	17.0	25.7	33.2	20.0	1.6	1.1	3.5	6.5	4.6	5.1	1.6
性別	女性 (N=202)	36.6	19.3	28.2	29.7	15.3	1.5	1.0	4.5	4.5	4.0	4.5	1.0
	男性 (N=158)	31.0	14.6	22.8	37.3	27.2	1.3	1.3	1.9	9.5	5.7	5.7	1.9
年齢	20歳代 (N=15)	33.3	20.0	6.7	33.3	20.0	13.3	6.7	-	-	6.7	13.3	-
	30歳代 (N=45)	22.2	13.3	15.6	31.1	8.9	2.2	-	6.7	4.4	8.9	11.1	4.4
	40歳代 (N=73)	49.3	21.9	13.7	28.8	17.8	2.7	-	1.4	5.5	5.5	2.7	-
	50歳代 (N=79)	35.4	15.2	27.8	39.2	19.0	1.3	1.3	2.5	6.3	6.3	5.1	-
	60歳代 (N=87)	25.3	16.1	24.1	32.2	27.6	-	1.1	2.3	8.0	2.3	5.7	2.3
	70歳以上 (N=70)	34.3	17.1	48.6	32.9	21.4	-	1.4	7.1	8.6	1.4	1.4	2.9

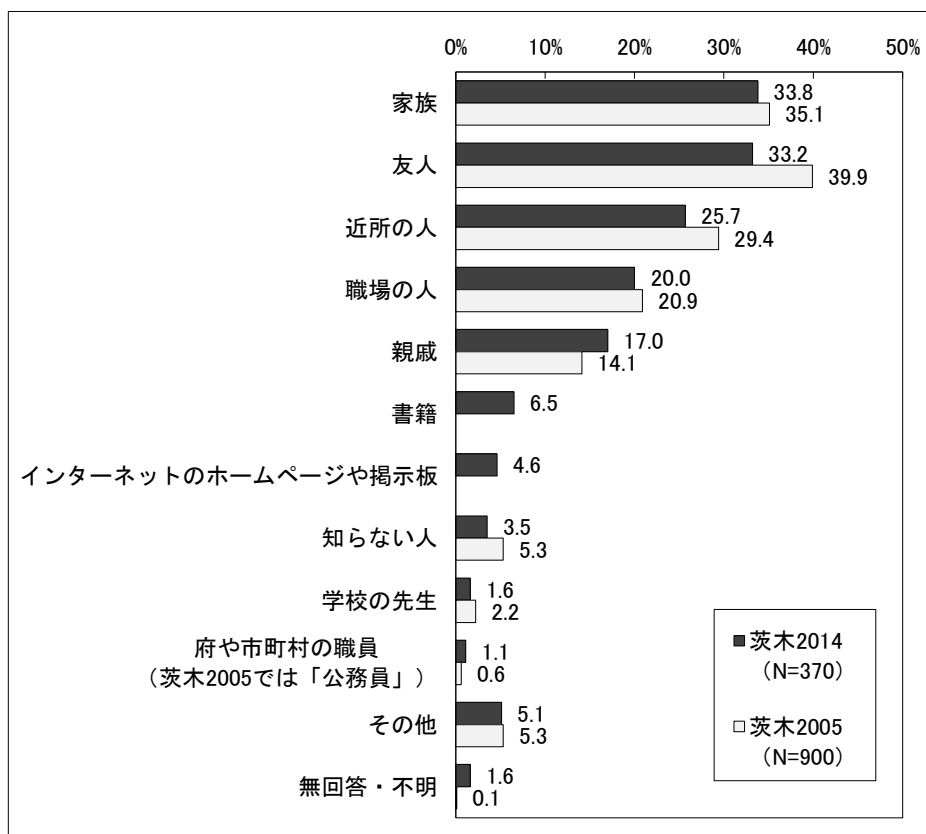
(3) 前回調査との比較

前回調査と比較すると、「同和地区の人はこわい」という話を聞いたことがあるという回答は減少しています。誰から聞いたかについては、それほど大きな変化は見られません。その話を聞いてどう感じたかについては、「反発・疑問を感じた」という回答が減少し、「とくに何も思わなかった」が増加しています。

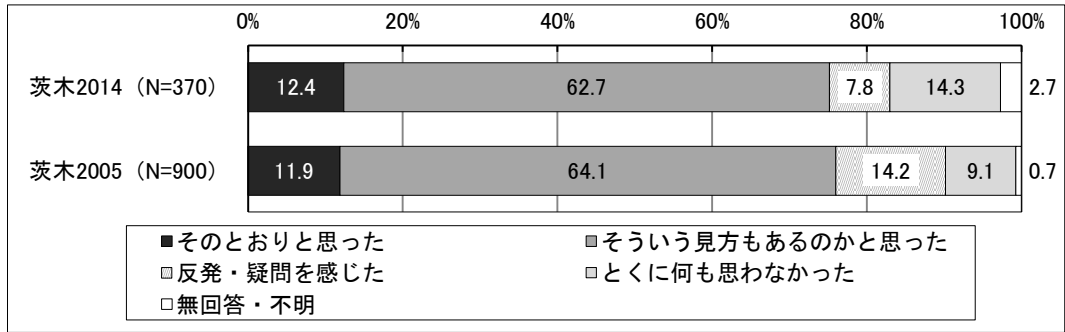
■ 「同和地区の人はこわい」という話を聞いた経験



■ その話を誰から聞いたか



■その話を聞いてどう感じたか

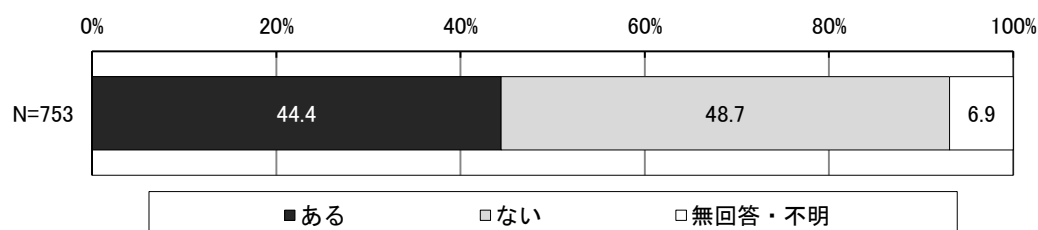


4 「同和対策はやりすぎ・不公平」という話を聞くことについて

(1) 質問と回答の状況

①「同和対策がやりすぎ・不公平」という話を聞いた経験

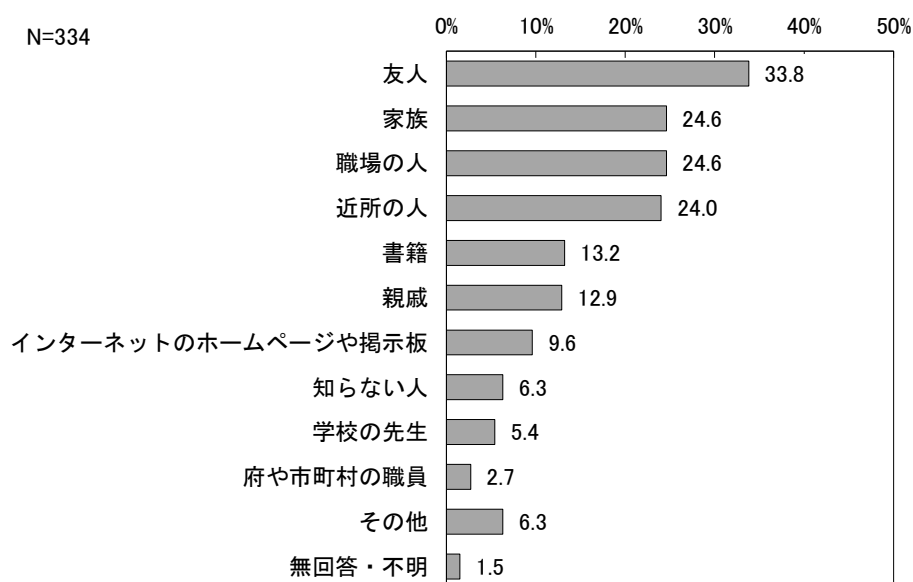
問10 あなたは、同和対策がやりすぎであったとか、不公平だ、というような話を聞いたことがありますか。



「ある」という回答と「ない」という回答が、ほぼ同数となっています。

②その話を誰から聞いたか

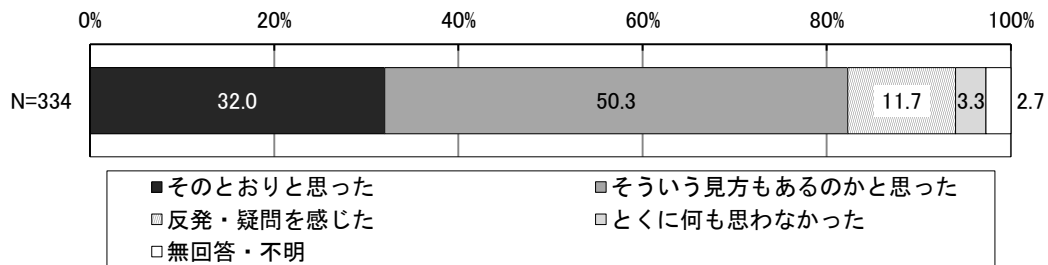
問10-1 問10で「1 ある」と回答された方にお聞きします。それは誰からですか。(〇はいくつでも)



「友人」が最も多く、次いで「家族」、「職場の人」、「近所の人」が2割台となっています。「同和地区の人はこわい」という話よりも、「書籍」や「インターネットのホームページや掲示板」という回答が多くなっています。

③その話を聞いてどう感じたか

問10-2 問10で「1 ある」と回答された方にお聞きします。その話を聞いたとき、どう感じましたか。（1つに○）



「そのとおりと思った」と受け止めた人は、「同和地区の人はこわい」という話の倍以上となっており、「やりすぎ・不公平」だと思った人が多かったことがうかがえます。「反発・疑問を感じた」という回答もやや多くなっています。

（2）性別・年齢別集計

「ある」という回答は50歳代、60歳代で半数を超えていますが、若い世代ほど少なくなっており、「同和地区の人はこわい」という話と同様の傾向があります。また、女性より男性がやや多くなっています。話を聞いた相手として、「近所の人」は50歳代以上、「職場の人」は60歳代以上で多く、30歳代では「インターネットのホームページや掲示板」が「友人」、「家族」に次いで多くなっています。話を聞いたとき「反発・疑問を感じた」は、対象者が少ない20歳代を除くと、60歳代以上でやや多くなっています。

問10 あなたは、同和対策がやりすぎであったとか、不公平だ、というような話を聞いたことがありますか。

		ある	ない	無回答・不明
全体 (N=753)		44.4	48.7	6.9
性別	女性 (N=418)	42.6	51.9	5.5
	男性 (N=310)	48.4	45.2	6.5
年齢	20歳代 (N=48)	10.4	85.4	4.2
	30歳代 (N=107)	29.0	69.2	1.9
	40歳代 (N=135)	47.4	50.4	2.2
	50歳代 (N=127)	56.7	41.7	1.6
	60歳代 (N=153)	53.6	40.5	5.9
	70歳以上 (N=172)	45.9	40.1	14.0

問10-2 問10で「1 ある」と回答された方にお聞きします。その話を聞いたとき、どう感じましたか

		そのとおりに思った	かと思っただろうという見方もあるのか	反発・疑問を感じた	た	とくに何も思わなかった	無回答・不明
全体 (N=334)		32.0	50.3	11.7	3.3	2.7	
性別	女性 (N=178)	29.2	52.8	11.2	4.5	2.2	
	男性 (N=150)	32.7	49.3	12.7	2.0	3.3	
年齢	20歳代 (N=5)	60.0	-	20.0	20.0	-	
	30歳代 (N=31)	38.7	51.6	3.2	6.5	-	
	40歳代 (N=64)	26.6	59.4	7.8	6.3	-	
	50歳代 (N=72)	37.5	52.8	9.7	-	-	
	60歳代 (N=82)	26.8	48.8	17.1	3.7	3.7	
	70歳以上 (N=79)	31.6	45.6	13.9	1.3	7.6	

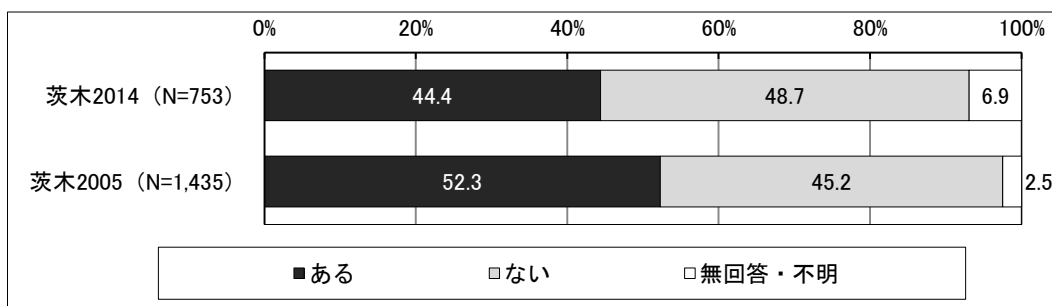
問10-1 問10で「1 ある」と回答された方にお聞きします。それは誰からですか。

		家族	親戚	近所の人	友人	職場の人	学校の先生	府や市町村の職員	知らない人	書籍	インターネットのホームページや掲示板	その他	無回答・不明
全体 (N=334)		24.6	12.9	24.0	33.8	24.6	5.4	2.7	6.3	13.2	9.6	6.3	1.5
性別	女性 (N=178)	27.5	15.2	24.2	32.0	15.7	8.4	1.7	4.5	9.6	7.9	5.1	1.7
	男性 (N=150)	22.0	10.0	24.0	36.7	36.0	2.0	3.3	7.3	18.0	12.0	7.3	0.7
年齢	20歳代 (N=5)	40.0	-	-	20.0	20.0	-	-	20.0	-	-	20.0	-
	30歳代 (N=31)	29.0	6.5	12.9	32.3	16.1	12.9	3.2	3.2	6.5	25.8	-	3.2
	40歳代 (N=64)	29.7	15.6	12.5	20.3	17.2	7.8	1.6	4.7	9.4	12.5	10.9	-
	50歳代 (N=72)	29.2	11.1	23.6	41.7	16.7	8.3	2.8	1.4	15.3	13.9	6.9	1.4
	60歳代 (N=82)	15.9	14.6	26.8	34.1	30.5	3.7	1.2	12.2	15.9	6.1	7.3	2.4
	70歳以上 (N=79)	22.8	13.9	36.7	39.2	35.4	-	3.8	6.3	15.2	1.3	2.5	1.3

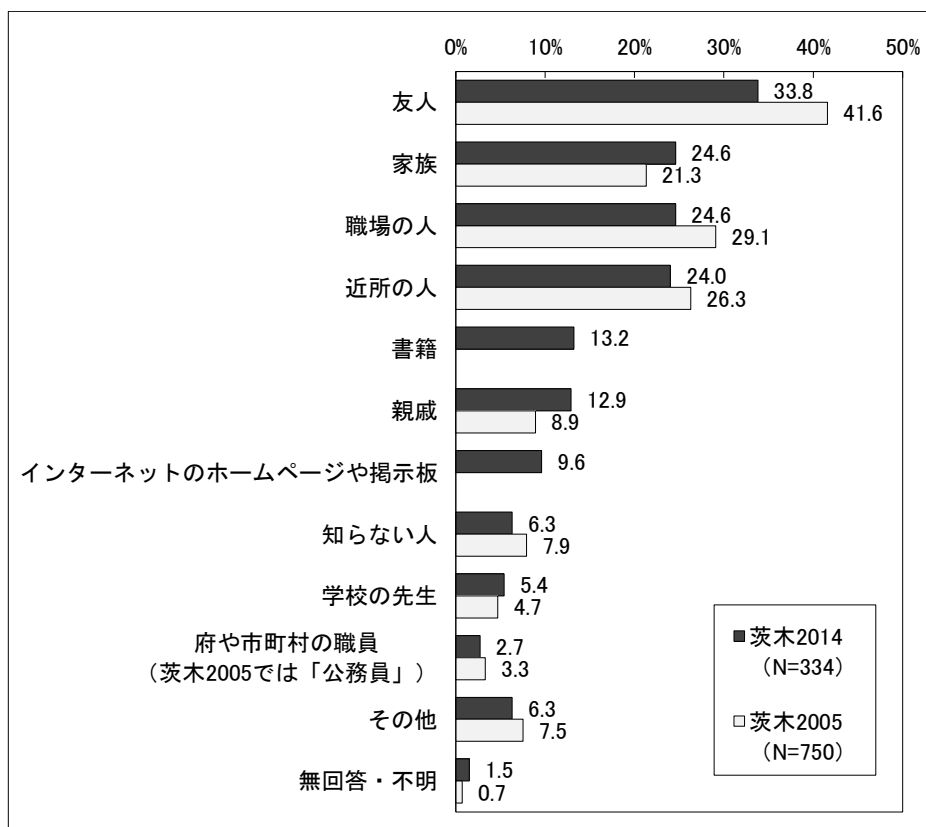
(3) 前回調査との比較

「やりすぎ・不公平」という話を聞いたことが「ある」という回答は、前回調査と比較するとやや少なくなっています。聞いた相手としては、「友人」、「職場の人」がやや減っています。話を聞いてどう感じたかについては、大きな違いは見られません。

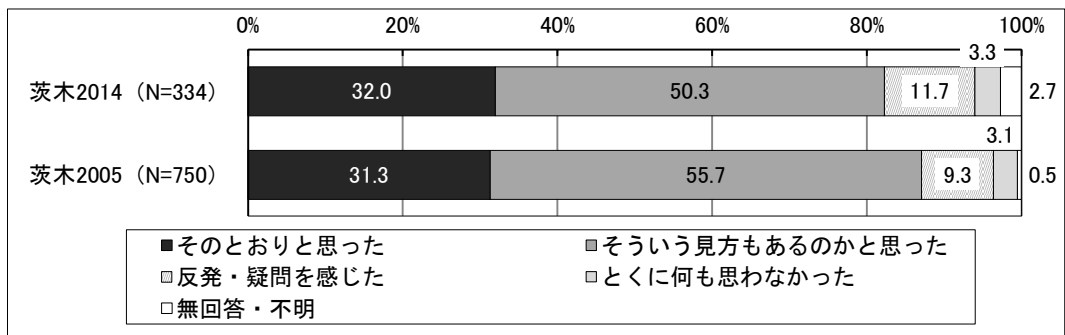
■「同和対策がやりすぎ・不公平」という話を聞いた経験



■その話を誰から聞いたか



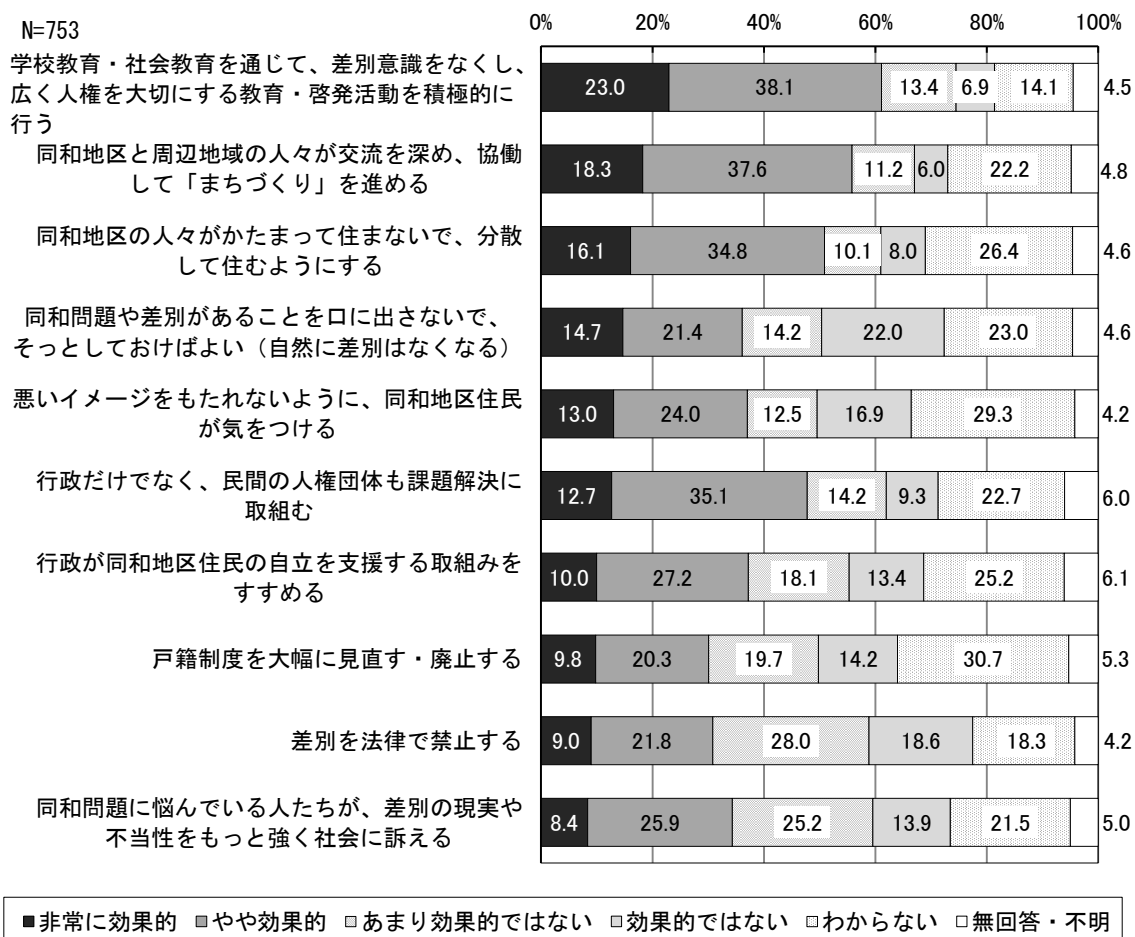
■その話を聞いてどう感じたか



5 同和問題解決のために効果的と思う施策や対応

(1) 質問と回答の状況

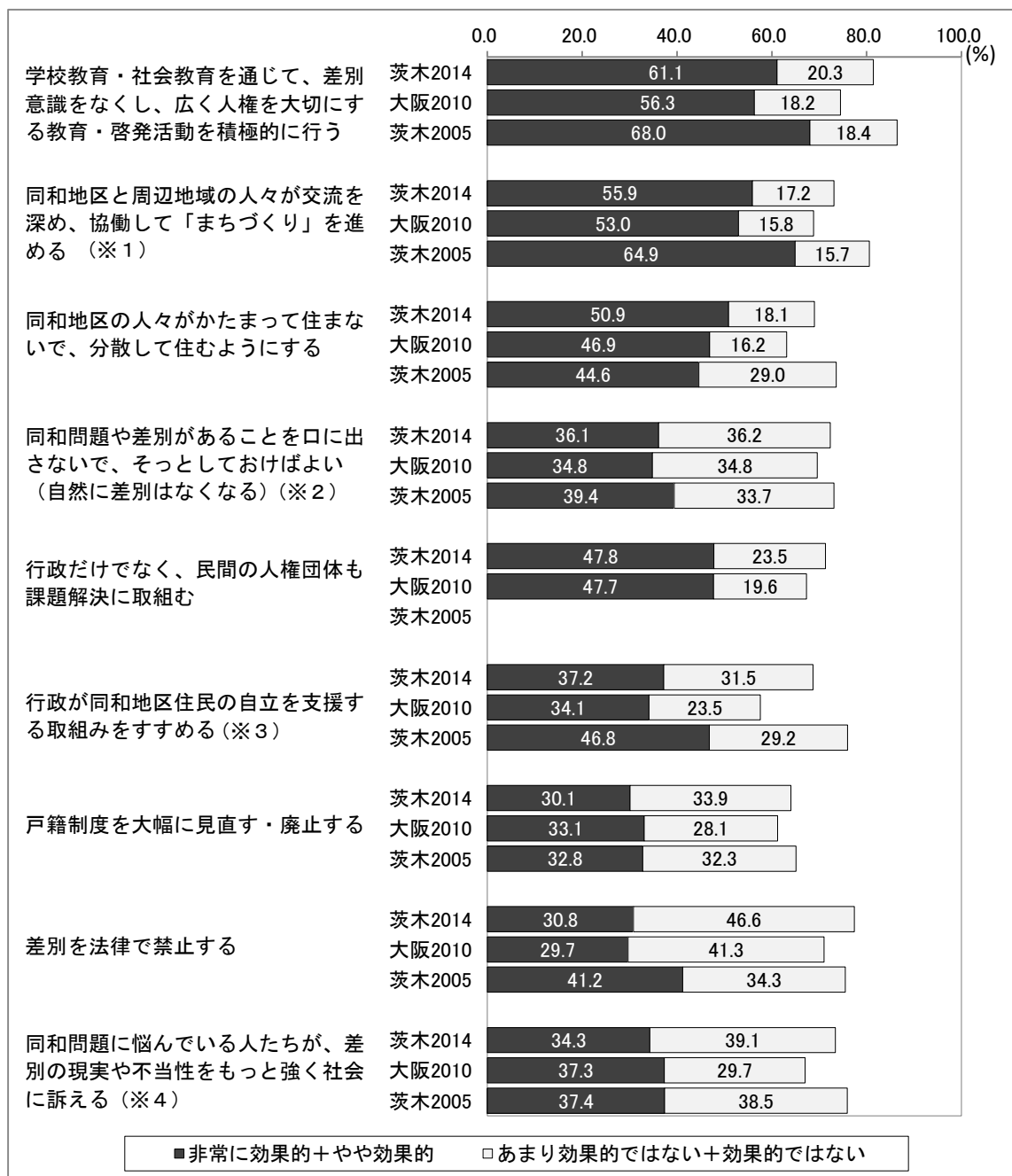
問11 同和問題を解決するために、次にあげる施策や対応は、どの程度効果的だと思いますか。(1)～(10)のすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)



効果的だと思う施策や対応については、「差別意識をなくし、広く人権を大切にする教育・啓発活動」が最も多くなっています。「同和問題に悩んでいる人たちが、差別の現実や不当性をもっと強く社会に訴える」、「差別を法律で禁止する」、「戸籍制度を見直す・廃止する」については、効果的ではないという回答が効果的という回答を上回っており、「口に出さなくてそっとしておけばよい」は効果的という回答と効果的ではないという回答がほぼ等しくなっています。また、「教育・啓発活動」と「法律で禁止する」以外の間では「わからない」が2～3割を占めています。

(2) 大阪府調査・前回調査との比較

大阪府調査と比較すると、「行政が同和地区住民の自立を支援する取組みをすすめる」と「差別の現実や不当性を訴える」で「効果的ではない」という回答が多くなっています。前回調査との比較では、「教育・啓発活動」、「協働してまちづくり」、「自立を支援する取組み」、「法律で禁止」で「効果的」が減少し、「分散して住むようにする」の「効果的ではない」が減少しています。



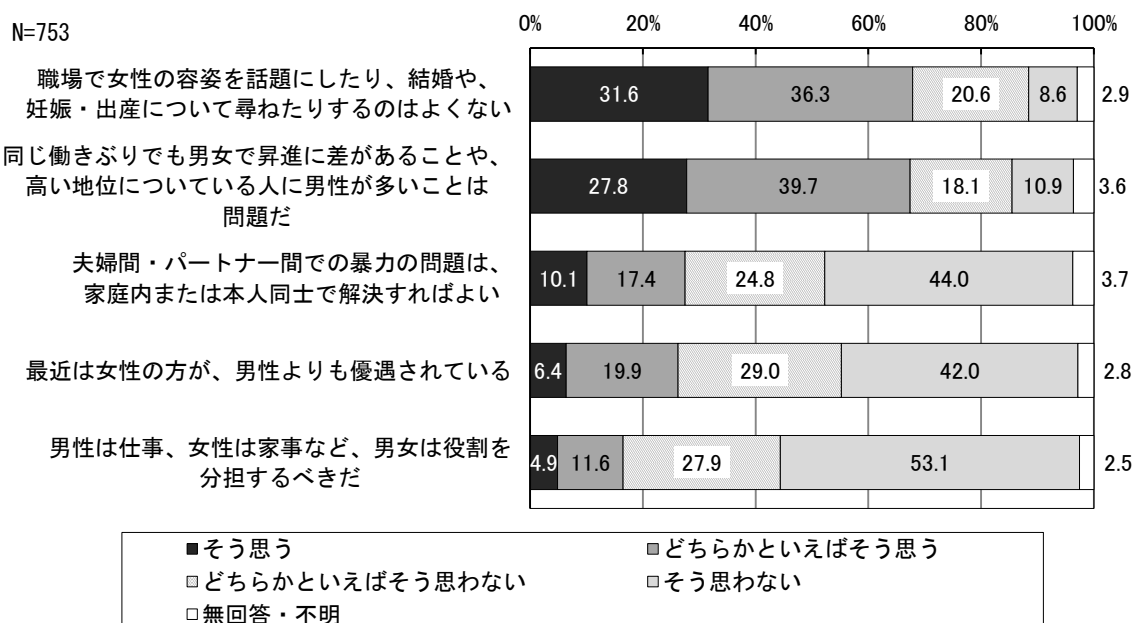
- ※1：茨木2005では「同和地区と周辺との交流を深め「まちづくり」を進める」
- ※2：茨木2005では「口に出さないでそっとしておけば自然に差別はなくなる」
- ※3：大阪2010では「同和地区住民の自立を支援する取組みを一般の対策ですすめる」、
茨木2005では「行政の一般施策で同和地区住民の自立を支援する」
- ※4：茨木2005では「同和地区住民が差別の現実や不当性を強く社会に訴える」

第五章 代表的な人権問題に関する意識

1 女性の人権

(1) 質問と回答の状況

問12 さまざまな人権問題に関して、次のような意見があります。(1)～(25)のすべてのことがらについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)



「職場で女性の容姿を話題にしたり、妊娠・出産について尋ねたりするのはよくない」、
「同じ働きぶりでも男女の昇進や地位に差があることは問題」については6割以上が賛成
（「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」）しており、「パートナー間での暴力の
問題は本人同士で解決すればよい」、「最近では女性の方が優遇されている」については7割
前後、「男女は役割分担すべき」は8割が反対（「そう思わない」又は「どちらかといえば
そう思わない」）となっています。反対が多い項目については、「そう思わない」という回
答が多く、比較的強く否定する意見が多くなっています。

(2) 性別・年齢別集計

性別で見ると、「女性の方が優遇されている」、「暴力の問題は本人同士で解決すればよ
い」については、女性の方に反対意見が多く、「男女で昇進や地位に差があることは問題」

については男性で反対意見が多くなっています。

年齢別では、「男女は役割分担すべき」については若い世代ほど「そう思わない」が多く、「暴力の問題は本人同士で解決すればよい」については、70歳以上のみ、賛成意見の方が多くなっています。

問12（１）男性は仕事、女性は家事など、男女は役割を分担するべきだ

（２）最近では女性の方が、男性よりも優遇されている

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答・不明	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答・不明
全体 (N=753)		4.9	11.6	27.9	53.1	2.5	6.4	19.9	29.0	42.0	2.8
性別	女性 (N=418)	5.5	10.5	27.5	54.8	1.7	4.8	16.0	30.4	46.7	2.2
	男性 (N=310)	3.5	13.9	29.7	51.3	1.6	8.7	24.8	28.4	36.5	1.6
年齢	20歳代 (N=48)	8.3	8.3	18.8	64.6	-	6.3	35.4	31.3	27.1	6.3
	30歳代 (N=107)	3.7	9.3	20.6	64.5	1.9	11.2	22.4	22.4	42.1	11.2
	40歳代 (N=135)	3.0	12.6	31.9	51.1	1.5	7.4	21.5	28.9	40.7	7.4
	50歳代 (N=127)	4.7	11.0	28.3	55.9	-	5.5	18.9	28.3	47.2	5.5
	60歳代 (N=153)	2.6	12.4	29.4	54.2	1.3	4.6	13.1	34.0	47.1	4.6
	70歳以上 (N=172)	8.7	13.4	32.0	42.4	3.5	5.2	20.9	29.1	40.1	5.2

（３）夫婦間・パートナー間での暴力の問題は、家庭内または本人同士で解決すればよい

（４）同じ働きぶりでも男女で昇進に差があることや、高い地位についている人に男性が多いことは問題だ

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答・不明	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答・不明
全体 (N=753)		10.1	17.4	24.8	44.0	3.7	27.8	39.7	18.1	10.9	3.6
性別	女性 (N=418)	8.9	14.1	24.4	49.8	2.9	31.6	41.1	14.8	9.3	3.1
	男性 (N=310)	11.6	22.9	26.5	36.1	2.9	23.2	38.7	23.2	12.6	2.3
年齢	20歳代 (N=48)	8.3	18.8	16.7	56.3	-	25.0	47.9	14.6	12.5	-
	30歳代 (N=107)	4.7	7.5	20.6	65.4	1.9	34.6	40.2	14.0	9.3	1.9
	40歳代 (N=135)	6.7	15.6	23.0	53.3	1.5	32.6	37.8	20.0	8.1	1.5
	50歳代 (N=127)	5.5	13.4	36.2	44.1	0.8	29.1	45.7	16.5	7.9	0.8
	60歳代 (N=153)	3.3	21.6	31.4	41.8	2.0	24.2	43.1	19.0	11.8	2.0
	70歳以上 (N=172)	26.2	25.0	18.6	22.7	7.6	24.4	33.1	20.3	15.1	7.0

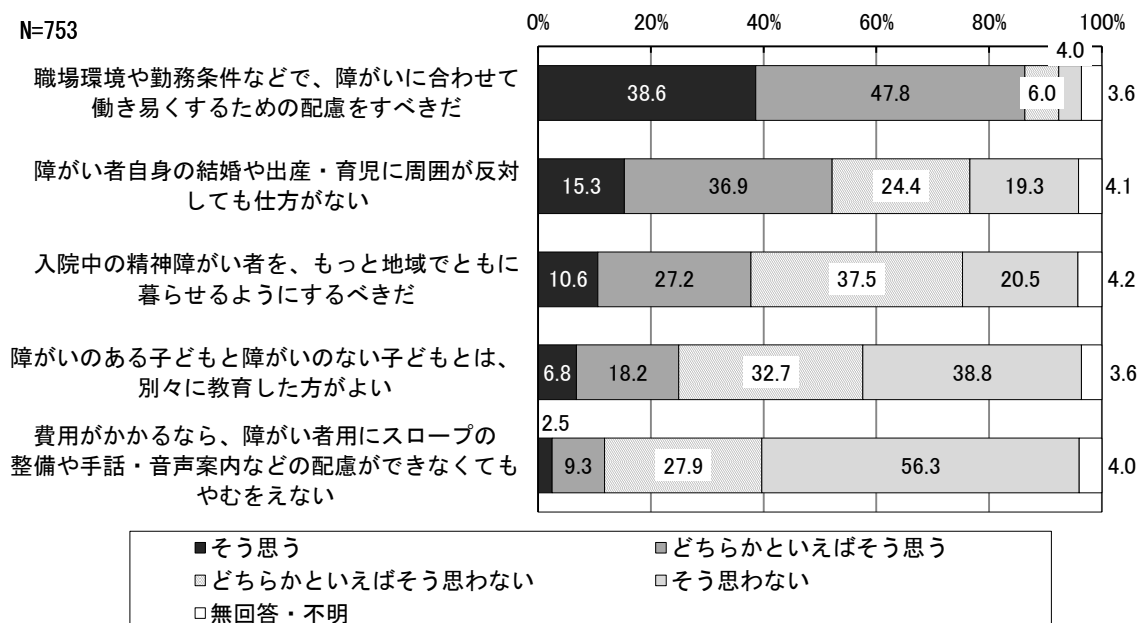
(5) 職場で女性の容姿を話題にしたり、
結婚や、妊娠・出産について尋ねたりする
のはよくない

	そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答 ・ 不 明	
全体 (N=753)	31.6	36.3	20.6	8.6	2.9	
性別	女性 (N=418)	32.1	38.8	19.9	7.2	2.2
	男性 (N=310)	31.6	33.2	22.6	10.6	1.9
年齢	20歳代 (N=48)	27.1	33.3	22.9	16.7	-
	30歳代 (N=107)	32.7	31.8	22.4	11.2	1.9
	40歳代 (N=135)	30.4	35.6	25.2	7.4	1.5
	50歳代 (N=127)	22.0	43.3	26.0	8.7	-
	60歳代 (N=153)	32.0	40.5	19.6	5.9	2.0
	70歳以上 (N=172)	40.7	33.1	12.8	8.7	4.7

2 障がい者の人権

(1) 質問と回答の状況

問12 さまざまな人権問題に関して、次のような意見があります。(1)～(25)のすべてのことがらについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)



「障がいに合わせて働き易くすべき」には8割以上が賛成しており、「障がいのある子どもとない子どもは別々に教育した方がよい」には7割以上、「費用がかかるなら、障がい者用にスロープの整備や手話・音声案内などの配慮ができなくてもやむをえない」には8割以上が反対となっています。「障がい者自身の結婚・出産・育児に周囲が反対しても仕方がない」については、賛成5割、反対4割と拮抗しています。「入院中の精神障がい者を地域でともに暮らせるようにすべき」については、反対の方が多くなっています。

(2) 性別・年齢別集計

「精神障がい者を地域でともに暮らせるようにすべき」については、男性のほうに賛成が多く、女性の方に反対が多くなっています。年齢による明確な差はほとんど見られません。

(6) 障がい者自身の結婚や出産・育児に
周囲が反対しても仕方がない

(7) 費用がかかるなら、障がい者用にス
ロープの整備や手話・音声案内などの配慮
ができなくてもやむをえない

		そう 思う	ば どちら かとい え	ど ちら かとい え	ど ちら かとい え	そ う 思 わ な い	無 回 答 ・ 不 明	そう 思う	ば どちら かとい え	ど ちら かとい え	ど ちら かとい え	そ う 思 わ な い	無 回 答 ・ 不 明
全体 (N=753)		15.3	36.9	24.4	19.3	4.1		2.5	9.3	27.9	56.3	4.0	
性別	女性 (N=418)	16.7	37.8	24.4	17.5	3.6		2.6	7.9	27.8	57.9	3.8	
	男性 (N=310)	13.5	36.8	25.2	21.9	2.6		2.3	11.3	29.4	54.8	2.3	
年齢	20歳代 (N=48)	10.4	41.7	29.2	18.8	-		-	12.5	29.2	58.3	-	
	30歳代 (N=107)	10.3	43.9	25.2	18.7	1.9		2.8	8.4	31.8	55.1	1.9	
	40歳代 (N=135)	11.1	49.6	20.7	16.3	2.2		3.7	11.1	23.7	60.0	1.5	
	50歳代 (N=127)	14.2	33.9	34.6	15.7	1.6		-	8.7	29.1	62.2	-	
	60歳代 (N=153)	15.7	34.0	24.8	23.5	2.0		2.0	7.8	31.4	56.2	2.6	
	70歳以上 (N=172)	23.8	27.9	19.2	21.5	7.6		4.7	9.9	25.6	51.2	8.7	

(8) 障がいのある子どもと障がいのない
子どもとは、別々に教育した方がよい

(9) 入院中の精神障がい者を、もっと地
域でともに暮らせるようにするべきだ

		そう 思う	ば どちら かとい え	ど ちら かとい え	ど ちら かとい え	そ う 思 わ な い	無 回 答 ・ 不 明	そう 思う	ば どちら かとい え	ど ちら かとい え	ど ちら かとい え	そ う 思 わ な い	無 回 答 ・ 不 明
全体 (N=753)		6.8	18.2	32.7	38.8	3.6		10.6	27.2	37.5	20.5	4.2	
性別	女性 (N=418)	6.5	16.3	33.7	40.7	2.9		8.4	24.6	38.5	24.4	4.1	
	男性 (N=310)	7.1	21.0	32.3	37.4	2.3		14.2	31.3	37.1	15.2	2.3	
年齢	20歳代 (N=48)	4.2	16.7	37.5	41.7	-		8.3	27.1	43.8	18.8	2.1	
	30歳代 (N=107)	7.5	21.5	26.2	43.0	1.9		10.3	29.9	35.5	22.4	1.9	
	40歳代 (N=135)	4.4	21.5	34.8	37.8	1.5		7.4	23.0	41.5	25.9	2.2	
	50歳代 (N=127)	6.3	18.1	36.2	38.6	0.8		3.9	39.4	37.8	17.3	1.6	
	60歳代 (N=153)	5.9	15.7	37.3	38.6	2.6		12.4	24.8	43.1	17.6	2.0	
	70歳以上 (N=172)	10.5	17.4	27.9	39.0	5.2		18.0	23.3	30.8	20.9	7.0	

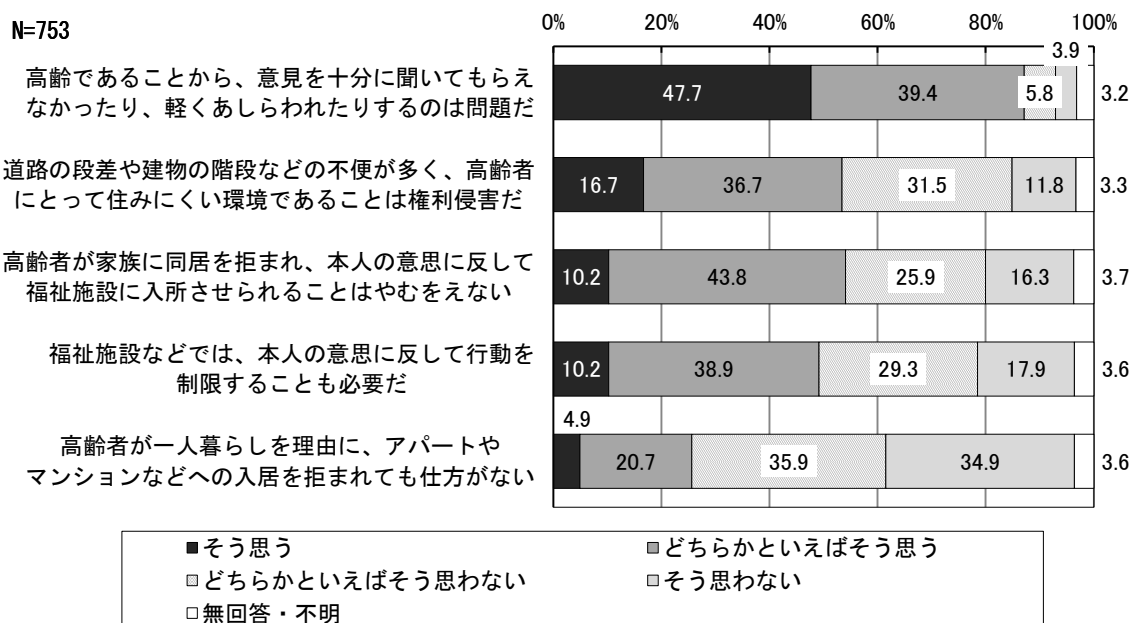
(10) 職場環境や勤務条件などで、障がいに合わせて働き易くするための配慮をすべきだ

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答・不明	
全体 (N=753)	38.6	47.8	6.0	4.0	3.6	
性別	女性 (N=418)	39.2	48.6	4.3	4.8	3.1
	男性 (N=310)	38.7	47.7	8.7	2.9	1.9
年齢	20歳代 (N=48)	37.5	47.9	8.3	6.3	-
	30歳代 (N=107)	43.0	41.1	7.5	6.5	1.9
	40歳代 (N=135)	34.8	54.1	6.7	3.0	1.5
	50歳代 (N=127)	34.6	59.1	3.9	2.4	-
	60歳代 (N=153)	38.6	51.0	2.6	4.6	3.3
	70歳以上 (N=172)	44.8	37.8	8.7	3.5	5.2

3 高齢者の人権

(1) 質問と回答の状況

問12 さまざまな人権問題に関して、次のような意見があります。(1)～(25)のすべてのことがらについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)



「意見を十分に聞いてもらえなかったり、軽くあしらわれたりするのは問題」には賛成が、「一人暮らしを理由に、アパートやマンションなどへの入居を拒まれても仕方がない」には反対が多くなっています。「高齢者にとって住みにくい環境であることは権利侵害」、「高齢者が本人の意思に反して福祉施設に入所させられるのはやむをえない」、「本人の意思に反して行動を制限することも必要」については、賛否が拮抗しています。

(2) 性別・年齢別集計

性別でみると、「一人暮らしを理由に入居を拒まれても仕方がない」と「意思に反して福祉施設に入所させられるのはやむをえない」については、女性の方が男性より賛成が多く、反対が少なくなっています。

年齢別でみると、「意思に反して行動制限することも必要」、「意思に反して福祉施設に入所させられるのはやむをえない」に対する反対と、「高齢者にとって住みにくい環境であることは権利侵害」への賛成は高齢世代の方が多くなっていますが、いずれも70歳以上より

も60歳代で高齢者の権利を守る方向への支持が多くなっています。高齢者の人権に関しては、高齢になるほど権利意識が強くなるとは言えないようです。

(11) 高齢者が一人暮らしを理由に、アパートやマンションなどへの入居を拒まれても仕方がない

(12) 福祉施設などでは、本人の意思に反して行動を制限することも必要だ

		そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	無回答・不明	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	無回答・不明
全体 (N=753)		4.9	20.7	35.9	34.9	3.6	10.2	38.9	29.3	17.9	3.6
性別	女性 (N=418)	5.0	24.2	35.6	31.6	3.6	9.8	38.3	31.8	17.0	3.1
	男性 (N=310)	4.8	16.8	37.1	39.7	1.6	11.3	40.6	26.8	19.0	2.3
年齢	20歳代 (N=48)	6.3	27.1	35.4	31.3	-	14.6	35.4	33.3	16.7	-
	30歳代 (N=107)	4.7	22.4	42.1	29.0	1.9	7.5	43.9	38.3	8.4	1.9
	40歳代 (N=135)	3.0	25.2	39.3	31.1	1.5	8.9	43.7	31.1	14.1	2.2
	50歳代 (N=127)	2.4	18.1	40.9	37.0	1.6	9.4	47.2	29.1	13.4	0.8
	60歳代 (N=153)	4.6	17.6	36.6	38.6	2.6	8.5	34.6	27.5	26.8	2.6
	70歳以上 (N=172)	8.7	20.3	27.3	37.8	5.8	14.5	33.1	25.0	22.1	5.2

(13) 高齢者が家族に同居を拒まれ、本人の意思に反して福祉施設に入所させられることはやむをえない

(14) 道路の段差や建物の階段などの不便が多く、高齢者にとって住みにくい環境であることは権利侵害だ

		そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	無回答・不明	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	無回答・不明
全体 (N=753)		10.2	43.8	25.9	16.3	3.7	16.7	36.7	31.5	11.8	3.3
性別	女性 (N=418)	11.7	47.6	25.8	12.0	2.9	16.7	39.5	31.3	9.6	2.9
	男性 (N=310)	8.4	40.3	26.1	22.6	2.6	17.7	34.2	31.6	14.5	1.9
年齢	20歳代 (N=48)	10.4	54.2	22.9	10.4	2.1	12.5	31.3	43.8	12.5	-
	30歳代 (N=107)	13.1	43.0	29.0	12.1	2.8	15.0	30.8	37.4	15.0	1.9
	40歳代 (N=135)	9.6	48.9	26.7	11.1	3.7	12.6	34.8	37.0	14.1	1.5
	50歳代 (N=127)	8.7	50.4	29.1	11.8	-	14.2	47.2	29.9	8.7	-
	60歳代 (N=153)	6.5	42.5	24.8	23.5	2.6	18.3	41.8	28.8	7.8	3.3
	70歳以上 (N=172)	14.0	36.0	24.4	22.1	3.5	23.8	32.6	25.0	14.0	4.7

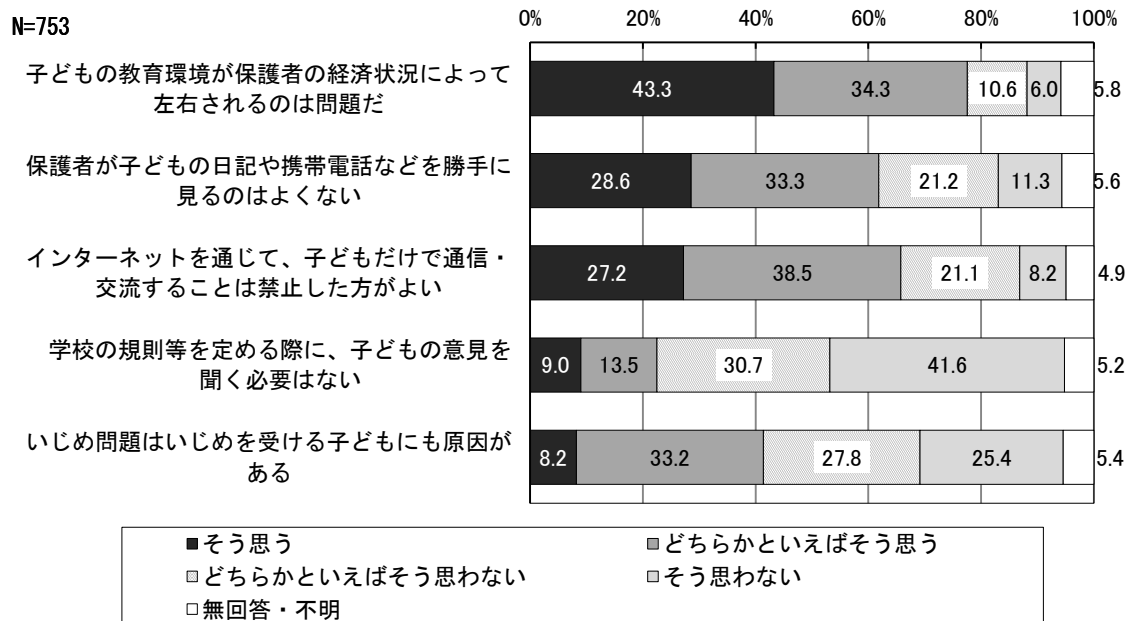
(15) 高齢であることから、意見を十分に聞いてもらえなかったり、軽くあしらわれたりするのとは問題だ

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答・不明
全体 (N=753)		47.7	39.4	5.8	3.9	3.2
性別	女性 (N=418)	51.7	38.3	5.3	2.6	2.2
	男性 (N=310)	43.5	42.3	7.1	4.5	2.6
年齢	20歳代 (N=48)	52.1	45.8	-	2.1	-
	30歳代 (N=107)	52.3	37.4	7.5	0.9	1.9
	40歳代 (N=135)	51.1	36.3	7.4	3.0	2.2
	50歳代 (N=127)	48.8	43.3	5.5	2.4	-
	60歳代 (N=153)	43.8	43.8	4.6	5.2	2.6
	70歳以上 (N=172)	45.9	37.2	7.0	5.8	4.1

4 子どもの人権

(1) 質問と回答の状況

問12 さまざまな人権問題に関して、次のような意見があります。(1)～(25)のすべてのことがらについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)



「いじめ問題はいじめを受ける子どもにも原因がある」については、反対が半数を超えています。賛成も4割を超えており、賛否が拮抗しています。「保護者が子どもの日記や携帯電話などを勝手に見るのはよくない」、「インターネットを通じて、子どもだけで通信・交流することは禁止した方がよい」については、賛成が6割を超えています。反対も3割前後あります。

(2) 性別・年齢別集計

性別では、「インターネットを通じて、子どもだけで通信・交流することは禁止した方がよい」については、女性の賛成が多くなっています。

年齢別では、一貫した傾向はあまりみられません。 「学校の規則等を定める際に、子どもの意見を聞く必要はない」、「インターネットを通じて、子どもだけで通信・交流することは禁止した方がよい」などでは、20歳代の反対がやや多くなっています。

(16) いじめ問題はいじめを受ける子どもにも原因がある

(17) 学校の規則等を定める際に、子どもの意見を聞く必要はない

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえ	そう思わない	無回答・不明	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえ	そう思わない	無回答・不明
全体 (N=753)		8.2	33.2	27.8	25.4	5.4	9.0	13.5	30.7	41.6	5.2
性別	女性 (N=418)	6.9	33.3	31.8	24.4	3.6	8.4	11.0	33.0	44.7	2.9
	男性 (N=310)	10.0	34.2	22.6	27.4	5.8	10.0	16.5	28.7	38.7	6.1
年齢	20歳代 (N=48)	8.3	37.5	31.3	22.9	-	4.2	8.3	33.3	54.2	-
	30歳代 (N=107)	7.5	32.7	31.8	26.2	1.9	12.1	9.3	20.6	57.0	0.9
	40歳代 (N=135)	10.4	31.9	28.9	23.7	5.2	8.1	17.8	35.6	34.8	3.7
	50歳代 (N=127)	3.1	37.8	35.4	22.0	1.6	8.7	11.8	37.8	40.2	1.6
	60歳代 (N=153)	7.8	31.4	27.5	29.4	3.9	12.4	13.1	32.0	39.2	3.3
	70歳以上 (N=172)	11.0	33.1	19.8	26.7	9.3	6.4	16.3	27.9	39.0	10.5

(18) インターネットを通じて、子どもだけで通信・交流することは禁止した方がよい

(19) 子どもの教育環境が保護者の経済状況によって左右されるのは問題だ

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえ	そう思わない	無回答・不明	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえ	そう思わない	無回答・不明
全体 (N=753)		27.2	38.5	21.1	8.2	4.9	43.3	34.3	10.6	6.0	5.8
性別	女性 (N=418)	28.9	42.6	19.1	6.7	2.6	45.5	35.9	10.3	4.3	4.1
	男性 (N=310)	24.5	33.9	24.8	11.0	5.8	41.6	34.2	10.6	7.4	6.1
年齢	20歳代 (N=48)	22.9	33.3	31.3	12.5	-	54.2	27.1	14.6	4.2	-
	30歳代 (N=107)	27.1	42.1	24.3	5.6	0.9	48.6	33.6	12.1	3.7	1.9
	40歳代 (N=135)	25.2	40.0	21.5	9.6	3.7	42.2	37.8	9.6	5.9	4.4
	50歳代 (N=127)	23.6	41.7	27.6	5.5	1.6	44.9	40.9	7.9	4.7	1.6
	60歳代 (N=153)	27.5	39.9	19.6	9.8	3.3	39.9	36.6	13.7	4.6	5.2
	70歳以上 (N=172)	33.1	34.9	14.0	8.7	9.3	42.4	28.5	8.7	9.9	10.5

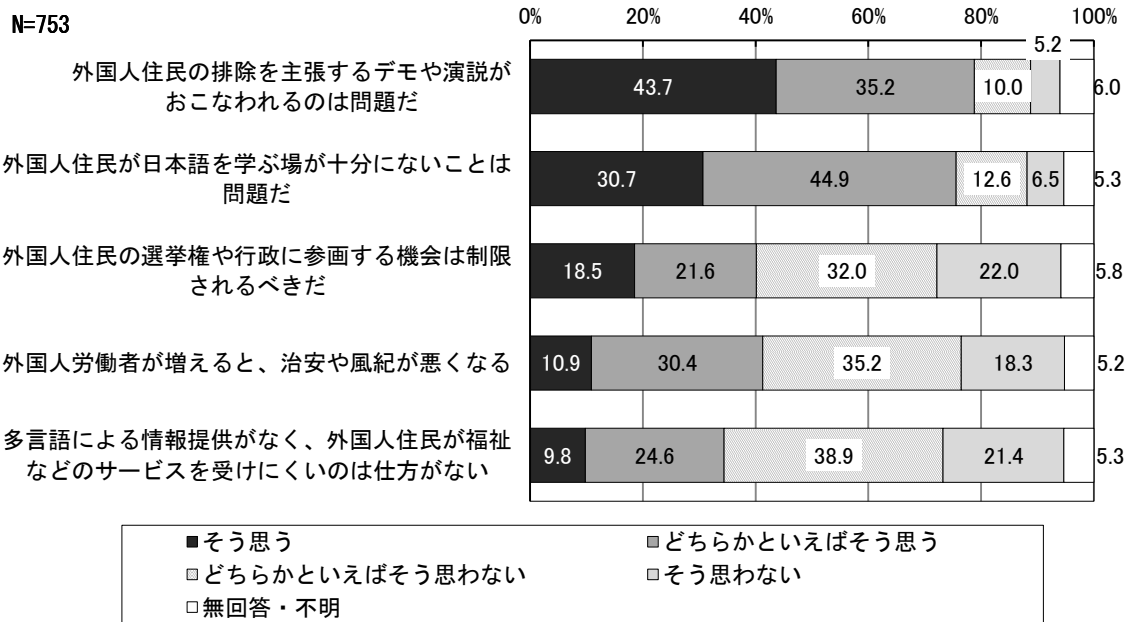
(20) 保護者が子どもの日記や携帯電話などを勝手に見るのはよくない

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	無回答・不明
全体 (N=753)		28.6	33.3	21.2	11.3	5.6
性別	女性 (N=418)	31.3	34.4	23.2	7.9	3.1
	男性 (N=310)	26.5	31.0	20.0	15.8	6.8
年齢	20歳代 (N=48)	29.2	37.5	22.9	10.4	-
	30歳代 (N=107)	35.5	30.8	16.8	15.0	1.9
	40歳代 (N=135)	31.9	28.1	23.0	12.6	4.4
	50歳代 (N=127)	29.9	41.7	19.7	7.1	1.6
	60歳代 (N=153)	19.6	39.9	25.5	10.5	4.6
	70歳以上 (N=172)	29.7	27.3	20.9	12.2	9.9

5 外国人の人権

(1) 質問と回答の状況

問12 さまざまな人権問題に関して、次のような意見があります。(1)～(25)のすべてのことがらについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)



「外国人住民の排除を主張するデモや演説がおこなわれるのは問題だ」、「外国人住民が日本語を学ぶ場が十分でないことは問題だ」については、賛成が7割を超えています。「外国人住民の選挙権や行政に参画する機会は制限されるべきだ」、「外国人労働者が増えると治安や風紀が悪くなる」については、反対が5割を超えていますが、賛成も4割あり、賛否が拮抗しています。

(2) 性別・年齢別集計

性別で見ると、「選挙権や行政に参画する機会は制限されるべきだ」については、女性は反対が過半数であるのに対し、男性は賛成がやや上回っています。その他の設問をみても、わずかですが男性は外国人の権利に対して厳しい見方をしている傾向があります。

年齢別では、「外国人住民の選挙権や行政に参画する機会は制限されるべきだ」、「多言語による情報提供がなく、外国人住民が福祉などのサービスを受けにくいのは仕方がない」については、70歳以上でやや賛成意見が多くなっています。また、20歳代では、「選挙権や

行政に参画する機会は制限されるべきだ」、「治安や風紀が悪くなる」、「多言語による情報提供がなく、福祉などのサービスを受けにくいのは仕方がない」について、他の世代よりも反対が多くなっています。

(21) 外国人住民の選挙権や行政に参画する機会は制限されるべきだ

(22) 外国人労働者が増えると、治安や風紀が悪くなる

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえ	どちらかといえ	そう思わない	無回答・不明	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえ	どちらかといえ	そう思わない	無回答・不明
全体 (N=753)		18.5	21.6	32.0	22.0	5.8		10.9	30.4	35.2	18.3	5.2	
性別	女性 (N=418)	15.1	18.7	37.3	24.6	4.3		10.5	29.4	37.3	19.4	3.3	
	男性 (N=310)	22.9	26.1	25.5	19.7	5.8		11.6	32.9	32.9	17.1	5.5	
年齢	20歳代 (N=48)	10.4	8.3	54.2	27.1	-		8.3	12.5	50.0	29.2	-	
	30歳代 (N=107)	17.8	15.0	39.3	27.1	0.9		14.0	26.2	38.3	20.6	0.9	
	40歳代 (N=135)	17.0	26.7	30.4	20.0	5.9		10.4	34.8	37.0	14.1	3.7	
	50歳代 (N=127)	13.4	26.8	38.6	19.7	1.6		7.9	33.1	38.6	18.9	1.6	
	60歳代 (N=153)	17.0	22.2	32.7	23.5	4.6		8.5	34.0	37.9	15.0	4.6	
	70歳以上 (N=172)	26.7	22.7	19.2	20.9	10.5		15.1	30.2	25.0	20.3	9.3	

(23) 多言語による情報提供がなく、外国人住民が福祉などのサービスを受けにくいのは仕方がない

(24) 外国人住民が日本語を学ぶ場が十分でないことは問題だ

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえ	どちらかといえ	そう思わない	無回答・不明	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえ	どちらかといえ	そう思わない	無回答・不明
全体 (N=753)		9.8	24.6	38.9	21.4	5.3		30.7	44.9	12.6	6.5	5.3	
性別	女性 (N=418)	8.9	25.6	40.7	21.8	3.1		32.1	47.4	12.0	5.5	3.1	
	男性 (N=310)	11.3	24.2	37.1	21.3	6.1		30.3	41.9	13.5	8.1	6.1	
年齢	20歳代 (N=48)	6.3	18.8	50.0	25.0	-		33.3	41.7	16.7	8.3	-	
	30歳代 (N=107)	9.3	23.4	38.3	28.0	0.9		41.1	41.1	13.1	3.7	0.9	
	40歳代 (N=135)	9.6	26.7	45.9	14.1	3.7		24.4	46.7	17.8	7.4	3.7	
	50歳代 (N=127)	7.9	19.7	45.7	25.2	1.6		26.8	55.9	9.4	5.5	2.4	
	60歳代 (N=153)	7.8	26.1	37.9	23.5	4.6		28.1	49.0	12.4	5.9	4.6	
	70歳以上 (N=172)	15.1	29.1	29.1	17.4	9.3		34.9	37.2	10.5	8.7	8.7	

(25) 外国人住民の排除を主張するデモや演説がおこなわれるのは問題だ

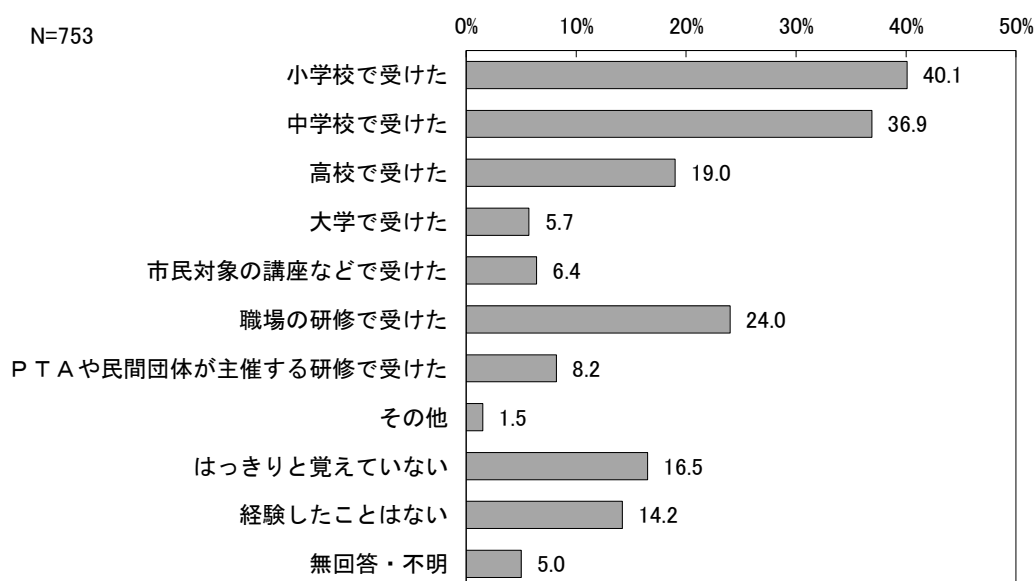
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	無回答・不明
全体 (N=753)		43.7	35.2	10.0	5.2	6.0
性別	女性 (N=418)	42.8	38.0	11.0	4.1	4.1
	男性 (N=310)	46.8	31.6	8.7	6.5	6.5
年齢	20歳代 (N=48)	39.6	41.7	14.6	4.2	-
	30歳代 (N=107)	42.1	37.4	13.1	6.5	0.9
	40歳代 (N=135)	45.2	38.5	8.1	4.4	3.7
	50歳代 (N=127)	49.6	36.2	9.4	2.4	2.4
	60歳代 (N=153)	45.1	34.6	9.8	5.9	4.6
	70歳以上 (N=172)	41.3	30.8	9.3	7.0	11.6

第六章 人権問題についての学習経験とその感想

1 人権問題についての学習経験

(1) 質問と回答の状況

問14 あなたは、学校、職場及び地域で、人権問題についての学習を経験したことがありますか。（〇はいくつでも）



人権問題についての学習経験については、「小学校で受けた」、「中学校で受けた」が多く、次いで「職場の研修で受けた」が多くなっています。「経験したことはない」は14.2%となっています。

(2) 性別・年齢別集計

性別で見ると、男性の方で「職場の研修で受けた」が多く、「PTAや民間団体が主催する研修で受けた」は女性の方で多くなっています。

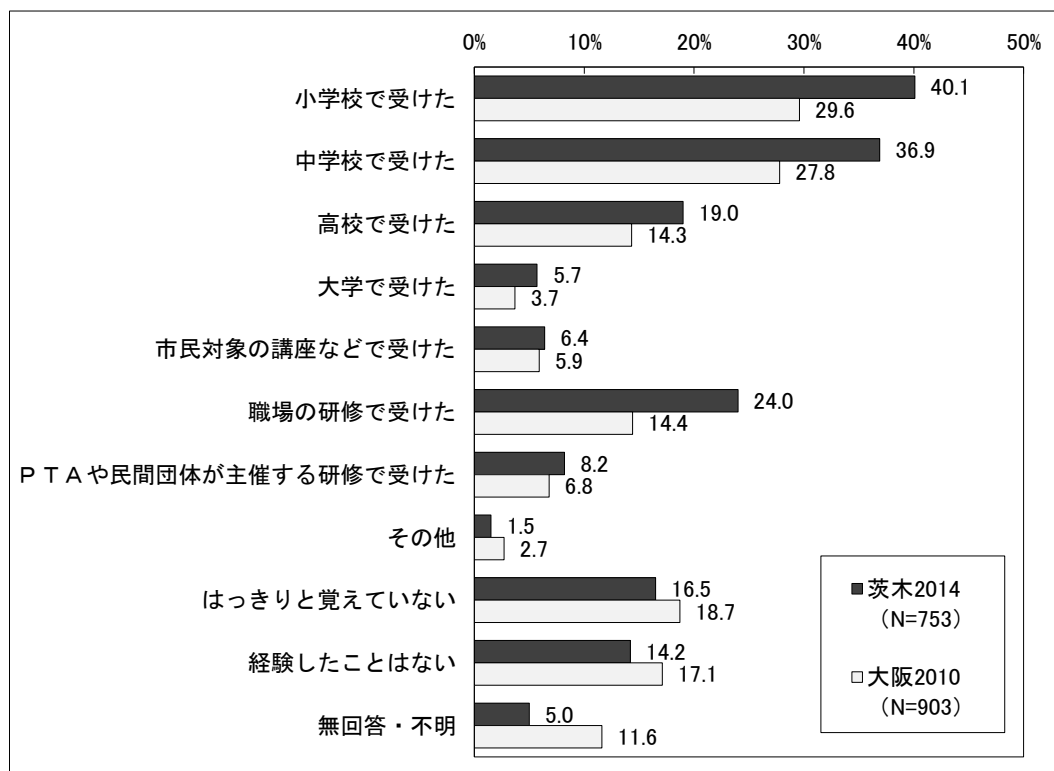
年齢別で見ると、40歳代以下では「小学校で受けた」が7割以上、「中学校で受けた」が6割前後と多くなっています。一方60歳以上では、学校よりも「職場の研修で受けた」の方が多く、「経験したことはない」も若い世代より多くなっています。

問14 あなたは、学校、職場及び地域で、人権問題についての学習を経験したことがありますか。

		小学校で受けた	中学校で受けた	高校で受けた	大学で受けた	市民対象の講座などで受けた	職場の研修で受けた	P T Aや民間団体が主催する研修で受けた	その他	はっきりと覚えていない	経験したことはない	無回答・不明
全体 (N=753)		40.1	36.9	19.0	5.7	6.4	24.0	8.2	1.5	16.5	14.2	5.0
性別	女性 (N=418)	43.1	39.5	21.8	6.9	6.9	19.1	12.0	1.2	18.2	13.2	3.3
	男性 (N=310)	36.8	34.2	16.1	4.2	5.8	31.6	3.9	1.9	14.5	15.8	4.8
年齢	20歳代 (N=48)	79.2	68.8	41.7	14.6	2.1	22.9	2.1	-	12.5	2.1	-
	30歳代 (N=107)	73.8	60.7	28.0	11.2	1.9	18.7	0.9	0.9	15.0	1.9	0.9
	40歳代 (N=135)	71.9	57.8	28.9	8.9	3.7	25.9	6.7	0.7	10.4	4.4	3.7
	50歳代 (N=127)	44.9	44.1	19.7	5.5	6.3	30.7	11.8	1.6	13.4	7.9	2.4
	60歳代 (N=153)	12.4	19.0	9.8	2.0	9.2	26.8	11.8	2.6	23.5	19.0	2.0
	70歳以上 (N=172)	7.0	9.3	8.1	1.2	10.5	19.8	10.5	1.7	19.8	34.3	9.9

(3) 大阪府調査との比較

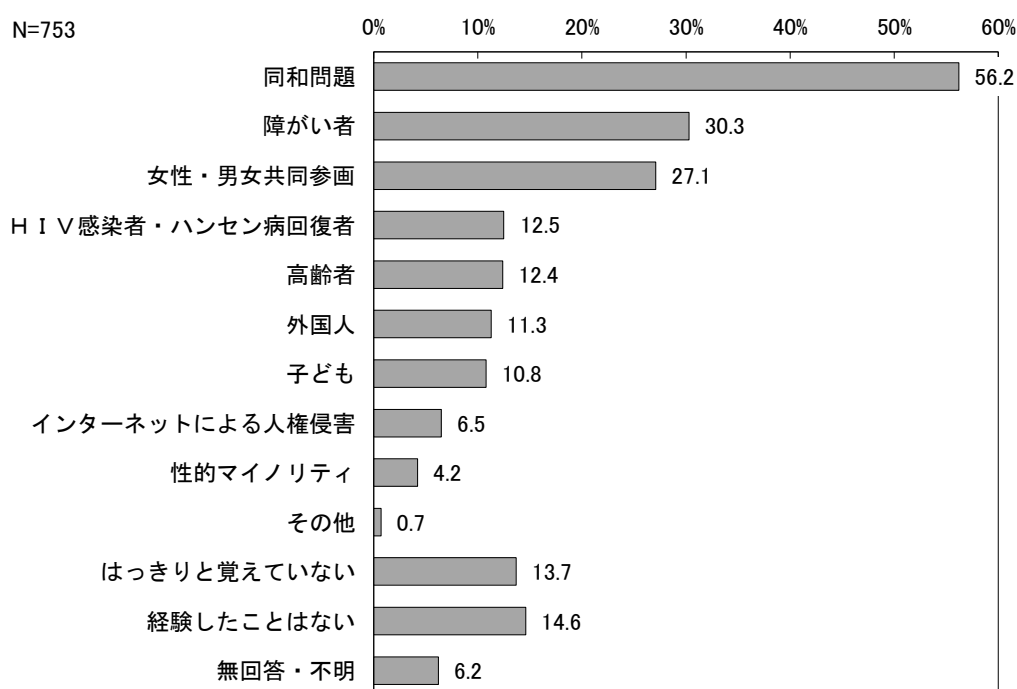
大阪府調査と比較すると、小学校、中学校、職場で受けたという回答が、それぞれ10%程度多くなっています。



2 学習したことのある人権問題の分野

(1) 質問と回答の状況

問15 これまでにあなたが、学校、職場及び地域で、経験したことのある人権問題についての学習は、どのような分野についてのものでしたか。(〇はいくつでも)



これまでに経験したことのある人権学習の分野については、「同和問題」が5割を超えて特に多く、「インターネットによる人権侵害」、「性的マイノリティ」は少なくなっています。

(2) 性別・年齢別集計

性別による差はあまり見られませんでした。

年齢別でみると、「女性・男女共同参画」、「障がい者」、「HIV感染者・ハンセン病回復者」については若い世代ほど多くなっています。特に20歳代では、「同和問題」以外の学習経験はすべて他の世代より多く、特に「女性・男女共同参画」の回答は7割を超えています。「同和問題」については、30歳代以上ではいずれの年代でも最も多く回答されていますが、40歳代で最も多く、前後の世代ではやや少なくなっています。

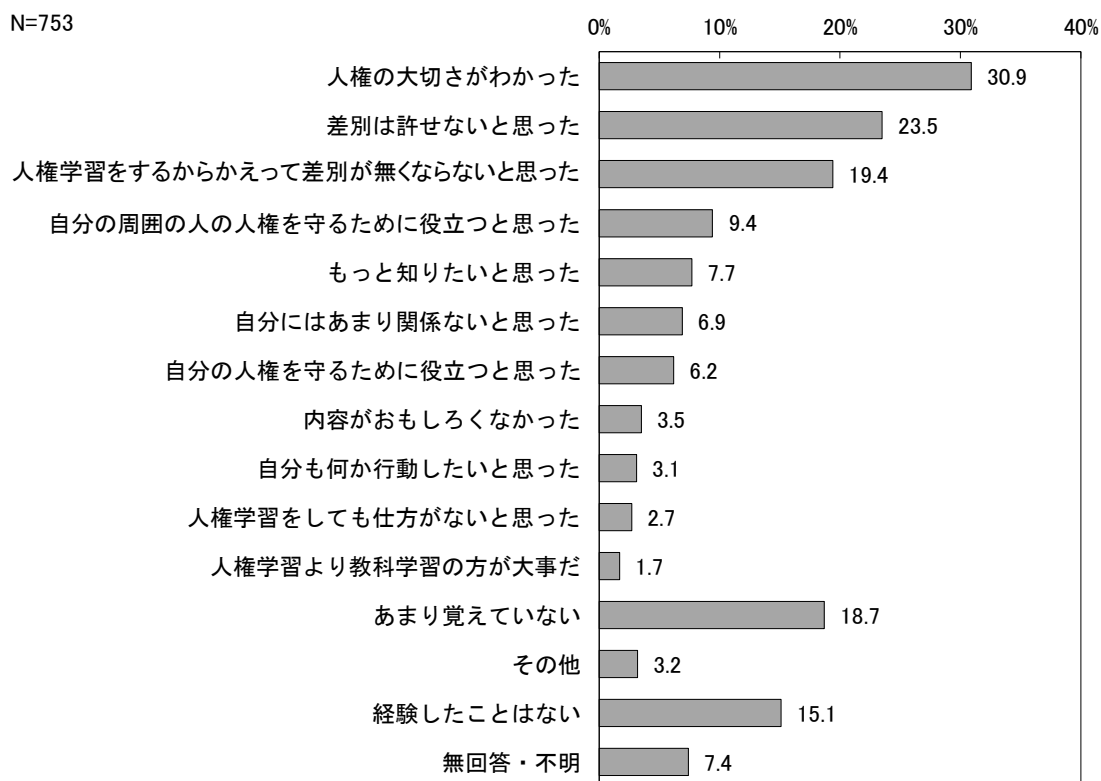
問15 これまでにあなたが、学校、職場及び地域で、経験したことがある人権問題についての学習は、どのような分野についてのものでしたか。

		女性・男女共同参画	子ども	高齢者	障がい者	同和問題	外国人	HIV感染者・ハンセン病回復者	性的マイノリティ	人権侵害	インターネットによる	その他	はっきりと覚えていない	経験したことはない	無回答・不明
全体 (N=753)		27.1	10.8	12.4	30.3	56.2	11.3	12.5	4.2	6.5	0.7	13.7	14.6	6.2	
性別	女性 (N=418)	27.0	12.7	13.2	33.0	57.2	11.2	14.8	4.8	6.0	0.7	14.4	14.1	5.0	
	男性 (N=310)	27.7	9.0	12.3	27.4	56.1	11.3	9.7	3.9	7.7	0.6	12.9	15.5	5.5	
年齢	20歳代 (N=48)	70.8	25.0	27.1	66.7	47.9	22.9	39.6	14.6	16.7	2.1	8.3	6.3	-	
	30歳代 (N=107)	36.4	10.3	8.4	54.2	64.5	15.0	22.4	4.7	8.4	0.9	14.0	2.8	2.8	
	40歳代 (N=135)	27.4	18.5	11.1	40.0	74.1	15.6	11.1	5.9	8.9	1.5	9.6	6.7	4.4	
	50歳代 (N=127)	29.9	11.8	13.4	26.0	66.9	13.4	13.4	3.9	7.9	-	11.8	9.4	2.4	
	60歳代 (N=153)	21.6	7.2	11.8	19.0	52.9	5.9	6.5	3.3	3.3	0.7	20.3	18.3	3.9	
	70歳以上 (N=172)	13.4	4.1	12.2	12.8	37.8	6.4	5.2	1.2	2.9	-	14.0	32.0	11.0	

3 学校の人権学習の感想

(1) 質問と回答の状況

問16 あなたは、学校で経験した人権学習について、どのような感想を持ちましたか。(〇はいくつでも)



学校で経験した人権学習の感想については、「人権の大切さがわかった」、「差別は許せないと思った」という肯定的な回答に次いで、「人権学習をするからかえって差別が無くならないと思った」が多くなっています。

(2) 性別・年齢別集計

性別による差はあまりみられませんでした。

年齢別でみると、「人権の大切さがわかった」は若い世代ほど多く、「人権学習をするからかえって差別が無くならないと思った」についても、20歳代を除くと若い世代ほど多く回答されています。「自分にはあまり関係ないと思った」は40歳代、50歳代でやや多くなっています。

問16 あなたは、学校で経験した人権学習について、どのような感想を持ちましたか。

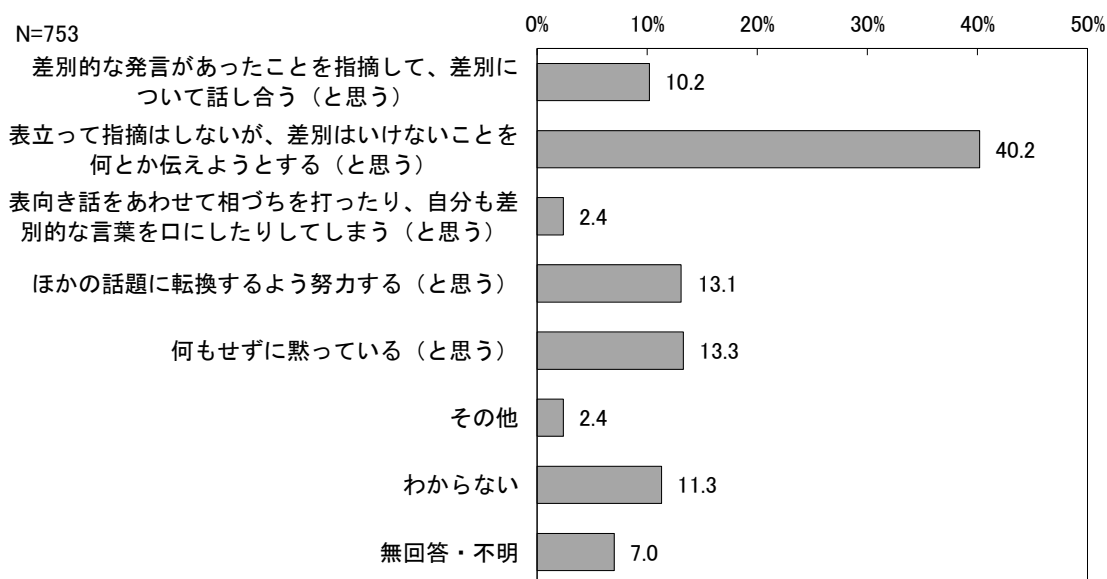
		人権の大切さがわかった	もっと知りたいと思った	差別は許せないと思った	自分にはあまり関係ないと思った	人権学習より教科学習の方が大事だ	人権学習をしても仕方がないと思った	人権学習をするからかえって差別が無くならないと思った	自分の人権を守るために役立つと思った	自分の周囲の人の人権を守るために役立つと思った	自分も何か行動したいと思った
全体 (N=753)		30.9	7.7	23.5	6.9	1.7	2.7	19.4	6.2	9.4	3.1
性別	女性 (N=418)	31.8	6.7	23.7	7.2	1.7	2.9	19.4	5.3	7.7	2.6
	男性 (N=310)	29.7	9.7	23.9	7.1	1.9	1.9	20.0	8.1	12.6	3.9
年齢	20歳代 (N=48)	52.1	10.4	22.9	4.2	2.1	4.2	16.7	6.3	12.5	6.3
	30歳代 (N=107)	42.1	11.2	33.6	0.9	1.9	1.9	29.0	4.7	8.4	2.8
	40歳代 (N=135)	32.6	8.9	20.0	13.3	1.5	3.7	22.2	5.9	10.4	1.5
	50歳代 (N=127)	35.4	6.3	26.0	10.2	2.4	3.1	23.6	7.1	7.9	3.1
	60歳代 (N=153)	21.6	7.8	20.3	5.9	1.3	2.0	15.7	3.9	7.8	3.3
	70歳以上 (N=172)	23.8	5.2	22.7	5.2	1.7	2.3	13.4	9.3	11.6	3.5
		かった内容がおもしろくない	あまり覚えていない	その他	経験したことはない	無回答・不明					
全体 (N=753)		3.5	18.7	3.2	15.1	7.4					
性別	女性 (N=418)	2.9	20.8	4.3	14.1	5.0					
	男性 (N=310)	4.5	16.1	1.9	17.1	8.1					
年齢	20歳代 (N=48)	-	20.8	6.3	-	-					
	30歳代 (N=107)	3.7	22.4	6.5	0.9	2.8					
	40歳代 (N=135)	6.7	17.8	4.4	4.4	5.9					
	50歳代 (N=127)	5.5	18.9	3.1	9.4	3.1					
	60歳代 (N=153)	2.0	22.9	0.7	24.8	5.9					
	70歳以上 (N=172)	1.7	13.4	1.7	32.6	12.8					

第七章 人権・差別問題に対する態度・行動

1 差別的な発言に対する態度

(1) 質問と回答の状況

問13 学校や職場、日常生活の中で、誰かが差別的な発言をしたとき、あなたはこういった態度をとりますか。(1つに○)



「表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする (と思う)」が4割で特に多くなっています。

(2) 性別・年齢別集計

性別でみると、「差別的な発言があったことを指摘して、差別について話し合う (と思う)」は男性でやや多く、「ほかの話題に転換するよう努力する (と思う)」は女性の方がやや多くなっています。

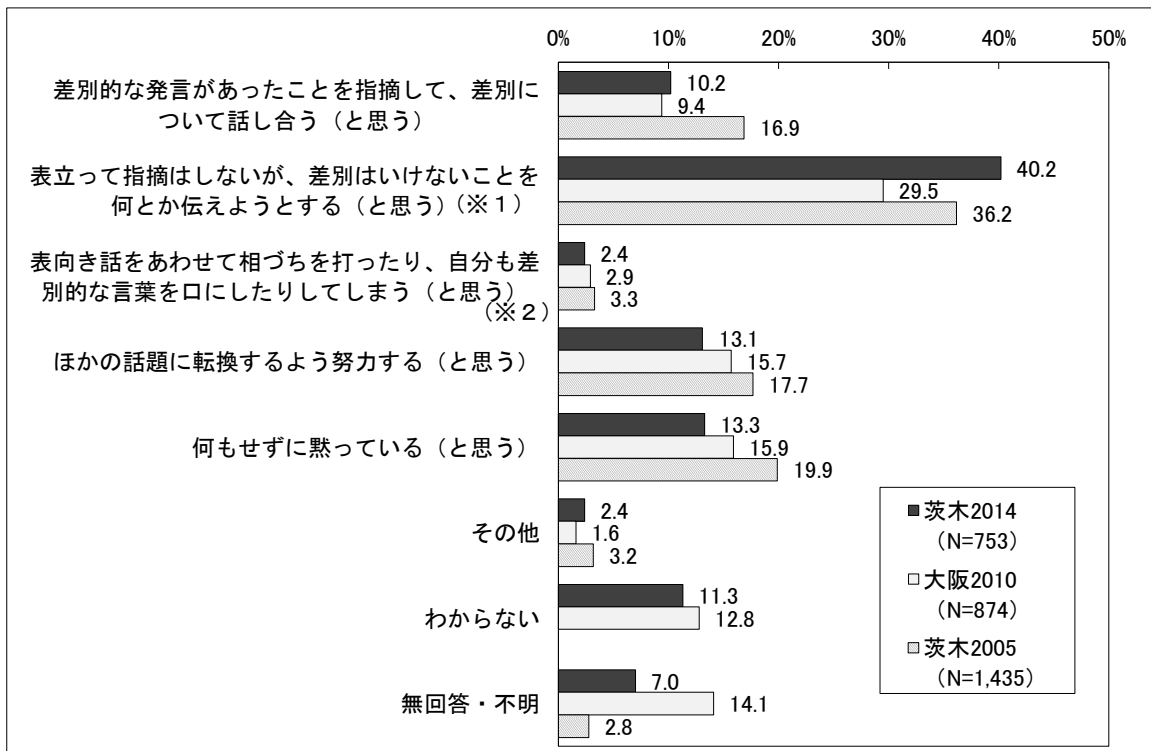
年齢別の一貫した傾向は特にみられませんでした。

問13 学校や職場、日常生活の中で、誰かが差別的な発言をしたとき、あなたはこういった態度をとりますか。

		差別的な発言があったことを指摘して、差別について話し合う（と思う）	表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする（と思う）	表向き話をあわせて相づちを打ったり、自分も差別的な言葉を口にしたりしてしまふ（と思う）	ほかの話題に転換するよう努力する（と思う）	何もせずに黙っている（と思う）	その他	わからない	無回答・不明
全体 (N=753)		10.2	40.2	2.4	13.1	13.3	2.4	11.3	7.0
性別	女性 (N=418)	6.9	39.0	2.9	15.8	14.1	2.9	13.9	4.5
	男性 (N=310)	15.5	42.9	1.9	9.7	11.9	1.9	8.1	8.1
年齢	20歳代 (N=48)	2.1	41.7	4.2	20.8	14.6	4.2	12.5	-
	30歳代 (N=107)	10.3	43.9	3.7	18.7	16.8	1.9	2.8	1.9
	40歳代 (N=135)	9.6	40.0	4.4	14.1	15.6	2.2	10.4	3.7
	50歳代 (N=127)	15.0	41.7	1.6	8.7	12.6	3.9	12.6	3.9
	60歳代 (N=153)	9.2	39.9	0.7	15.0	12.4	2.6	13.1	7.2
	70歳以上 (N=172)	11.0	39.0	1.7	9.3	11.0	1.2	15.1	11.6

（3）大阪府調査・前回調査との比較

大阪府調査と比較すると、「表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする（と思う）」が大幅に多くなっています。前回調査と比較すると、「差別的な発言があったことを指摘して、差別について話し合う（と思う）」が減少し、「ほかの話題に転換するよう努力する（と思う）」、「何もせずに黙っている（と思う）」も、やや減少しています。前回調査では「わからない」という選択肢がなかった分、それ以外の回答率が高くなることを考慮すると、「表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする（と思う）」が増加しているとも考えられます。



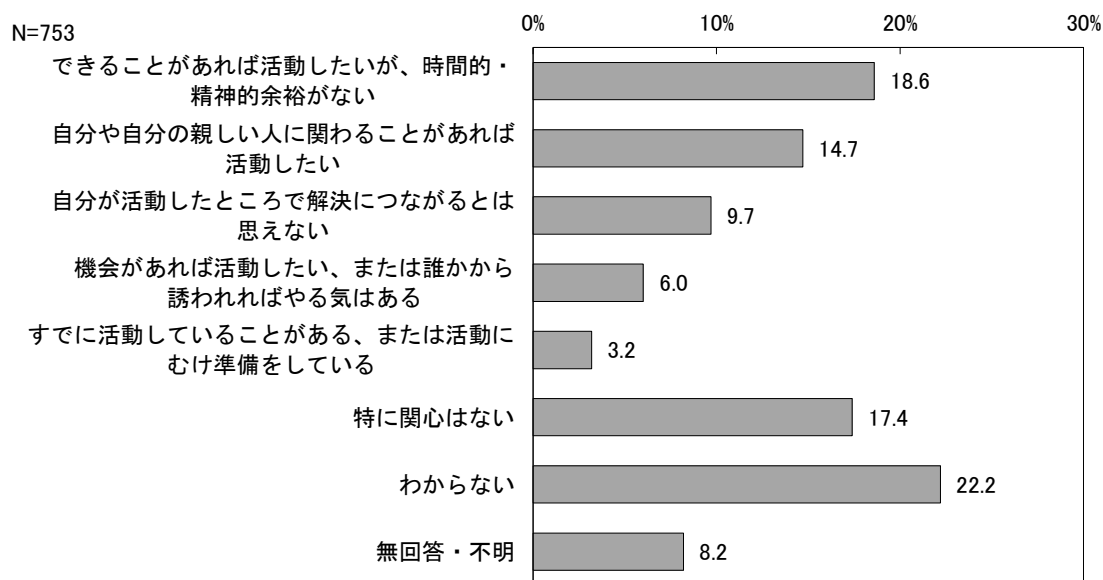
※1：茨木2005では「おもて向きは話を合わせるが差別はいけないことを伝える（と思う）」

※2：茨木2005では「おもて向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」

2 人権問題の解決に向けた活動意欲

(1) 質問と回答の状況

問17 あなたは、関心のある人権問題の解決に向けて、なにか具体的な活動をしてみたいと考えていますか。あなたの考えに最も近いもの1つに○をしてください。



活動することに肯定的な意見としては、「できることがあれば活動したいが、時間的・精神的余裕がない」が最も多く、次いで「自分や自分の親しい人に関わることがあれば活動したい」が多くなっています。「自分が活動したところで解決につながると思えない」、「特に関心はない」という消極的な回答と「わからない」を合計すると、約5割となります。

(2) 性別・年齢別集計

性別による差はあまりみられませんでした。

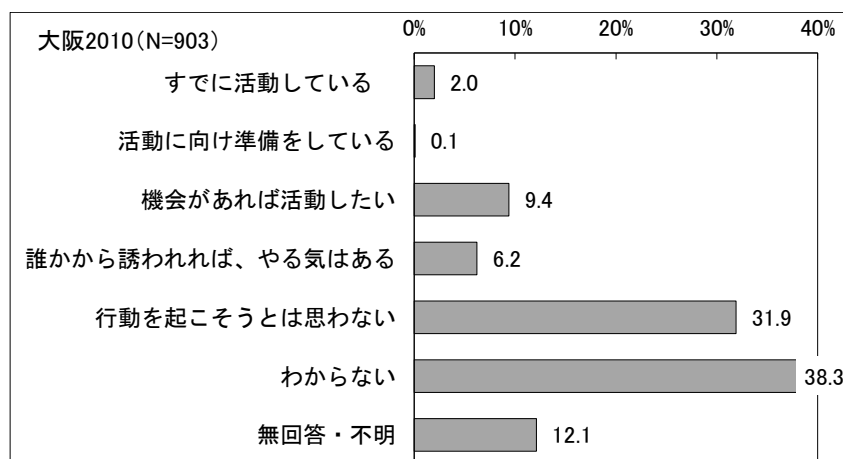
年齢別で見ると、50歳代以上では「わからない」が多く、70歳以上では「特に関心はない」もやや多くなっています。

問17 あなたは、関心のある人権問題の解決に向けて、なにか具体的な活動をしてみたいと考えていますか。あなたの考えに最も近いもの1つに○をしてください。

	すでに活動していることがある、または活動にむけ準備をしている	機会があれば活動したい、または誰かから誘われればやる気はある	自分や自分の親しい人に関わることがあれば活動したい	できることがあれば活動したいが、時間的・精神的余裕がない	自分が活動したところで解決につながるとは思えない	特に関心はない	わからない	無回答・不明	
全体 (N=753)	3.2	6.0	14.7	18.6	9.7	17.4	22.2	8.2	
性別	女性 (N=418)	2.9	6.9	12.2	18.7	10.0	18.2	24.4	6.7
	男性 (N=310)	3.9	5.2	18.1	19.7	9.0	17.4	19.0	7.7
年齢	20歳代 (N=48)	6.3	8.3	18.8	22.9	18.8	10.4	10.4	4.2
	30歳代 (N=107)	4.7	8.4	22.4	21.5	14.0	15.9	11.2	1.9
	40歳代 (N=135)	1.5	6.7	17.8	22.2	12.6	17.8	17.0	4.4
	50歳代 (N=127)	2.4	4.7	16.5	26.0	4.7	16.5	25.2	3.9
	60歳代 (N=153)	2.6	7.2	15.0	15.7	10.5	15.7	27.5	5.9
	70歳以上 (N=172)	4.1	3.5	5.8	11.0	5.8	23.3	30.2	16.3

(3) 大阪府調査との比較

大阪府調査については、選択肢の構成が異なるため単純に比較できませんが、「すでに活動している」と「活動にむけ準備している」の合計は2.1%で、本調査の「すでに活動していることがある、または活動に向け準備をしている」の方がやや多くなっています。同様に、「機会があれば活動したい、または誰かから誘われればやる気はある」については、大阪府の15.6%に対して本調査では6.0%と少なくなっていますが、「自分や自分の親しい人に関わることがあれば活動したい」の14.7%を加算すると、大阪府よりも積極的な回答が多いとみることもできます。



3 現在関心を持っている人権問題

問24 あなたが現在、もっとも関心を持っている人権問題はどのようなことですか。ご意見があればご自由にお書きください。

自由回答	件数
ある事件の加害者はプライバシー保護といわれるが、被害者はそうでもないように思われる事。被害者にもプライバシーはある。	1
職場でのパワーハラスメントについて、依然として労働者側が不利な環境である事。	1
性的マイノリティ。身近にいないのでわからない。少数派なので、データが少ない為、わからない。	1
このアンケート上にある「人権問題」に関しては、正直なところ私自身あまり関心があるほうではないと思います。しかし、人=個人の「意識・無意識」については、ふと考えさせられる時もございます。そして市政としては、これらの諸問題は看過できないものでしょう。でもなんでもかんでも規制や条例でケリをつけられるのであれば、言葉はとても悪いですが、それは市政の怠慢であり、この国の理念に反するのではないかと私は考えます。もちろんアンケートの諸問題はデリケートで難しいものであり、ひとつ、ひとつ解決していってほしい諸問題であると認識しております。	1
高齢者問題	1
同和問題	1
障がい者対策	1
身体障害者に対する雇用条件	1

調 查 票

人権問題に関する市民意識調査

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市ではこのたび、平成16年3月に策定した「茨木市人権施策推進基本方針」を見直し、新たな方針の策定を進めております。その一環として、本市にお住まいの皆様の人権問題に関するご意見・お考えをお尋ねするアンケート調査を行い、方針策定の基礎資料として活用したいと考えております。

回答は無記名で行い、結果は統計的に処理しますので、個人の回答内容が外部に漏れたり、回答いただいた方にご迷惑をおかけしたり、また、調査の目的以外に使用することは一切ありません。

お忙しい中、大変恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成26年9月

茨木市

記入に際してのお願い

- 1 調査票は、封筒のあて名のご本人がお答えください。
- 2 ご回答にあたっては、ボールペンや鉛筆などで、あてはまるものの番号に○をつけてください。「いくつでも」と書いてある質問はあてはまる番号すべてに○をつけてください。
- 3 この調査についてのご質問などは、下記の間合せ先までお願いいたします。

調査票記入後は、同封の返信用封筒に入れて、9月21日（日）までに投函してください。

間合せ先 茨木市 市民文化部 人権・男女共生課
TEL：072-620-1640 FAX：072-620-1725

人権問題や差別についてのお考えをお聞きします

問1 あなたは、次の(1)～(15)について、人権上どの程度問題があると思いますか。すべてのことごとについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)

	1 問題あり	2 問題あり どちらかといえ ば	3 問題なし どちらかといえ ば	4 問題なし
(1) 親の世話や介護は、女性の役割だと考えること	1	2	3	4
(2) 保護者が子どものしつけのために、ときには体罰を加えることも必要だと考えること	1	2	3	4
(3) プライベートな写真や情報をインターネット上で誰でも見ることができる状態になってしまうこと	1	2	3	4
(4) ホテルや旅館がハンセン病(※1)回復者などの宿泊を断ること	1	2	3	4
(5) 結婚する際に、興信所や探偵業者などを使って相手の身元調査を行うこと	1	2	3	4
(6) 外国人であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否すること	1	2	3	4
(7) 障がい者であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否すること	1	2	3	4
(8) ニート(※2)やひきこもりの状態になるのは、本人の責任が大きいと考えること	1	2	3	4
(9) 犯罪被害者やその家族の氏名や住所を、本人の了解なしに報道すること	1	2	3	4
(10) 景気の悪化などを理由に、まず外国人労働者から解雇すること	1	2	3	4
(11) 地域住民が特別養護老人ホームや障がい者施設などの福祉施設の建設に反対すること	1	2	3	4
(12) 野宿生活者(ホームレス)が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること	1	2	3	4
(13) 教師が子どもの指導のために、ときには体罰を加えることも必要だと考えること	1	2	3	4
(14) 男性同士、女性同士の結婚が制度上認められないこと	1	2	3	4
(15) インターネット上に、個人や団体に対する誹謗中傷や偏った考えによる意見が書き込まれること	1	2	3	4

※1 ハンセン病：「らい菌」によって引き起こされる感染症。現在は後遺症を残さず治る病気

※2 ニート：就職や通学・家事をしておらず、就職活動もしていない15～34歳の若者を指す言葉

問2 一般的に「差別」というものについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。

(1)～(12)のすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)

	1	2	3	4	5
	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
(1) 差別は、人間として恥すべき行為の一つだ	1	2	3	4	5
(2) 差別は世の中に必要なこともある	1	2	3	4	5
(3) あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある	1	2	3	4	5
(4) 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ	1	2	3	4	5
(5) 差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要だ	1	2	3	4	5
(6) 差別に対して抗議や反対をすることによって、より問題が解決しにくくなることが多い	1	2	3	4	5
(7) 差別は法律で禁止する必要がある	1	2	3	4	5
(8) どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ	1	2	3	4	5
(9) 差別される人の話をきちんと聴く必要がある	1	2	3	4	5
(10) 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない	1	2	3	4	5
(11) 差別問題に関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である	1	2	3	4	5
(12) 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い	1	2	3	4	5

問3 あなたは、次の項目に関する行政の取組み状況について、この5年間に、改善されたと思いますか、悪化したと思いますか。(1)～(14)のすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)

	1	2	3	4
	改善されたと思う	変わらない	悪化したと思う	わからない
(1) 非正規雇用など不安定な就労状態にある人の自立を支援するための取組みの状況	1	2	3	4
(2) 人権侵害があった場合、それを救済するための制度と取組みの状況	1	2	3	4
(3) いじめ問題や児童虐待を防止するための対応策など、子どもの人権を守るために必要な取組みの状況	1	2	3	4
(4) ドメスティック・バイオレンス(DV)やセクシュアル・ハラスメント(※3)などの問題に対する取組みの状況	1	2	3	4
(5) 障がい者の生活に必要な自立支援や雇用の促進などの取組みの状況	1	2	3	4
(6) 老後を安心して暮らせるよう、高齢者の生活を支援するための取組みの状況	1	2	3	4
(7) HIV感染者(※4)やハンセン病回復者などの人権問題や、そうした人々の生活を支援するための取組みの状況	1	2	3	4
(8) 同和問題の解決に向けた取組みの状況	1	2	3	4
(9) 地域で生活する外国人住民が、安心して暮らせる環境を整えるための取組みの状況	1	2	3	4
(10) 性別を理由に不平等な扱いを受けたり、役割を強制されたりしないようにするための取組みの状況	1	2	3	4
(11) 同性愛、両性愛、性別違和(性同一性障害)などの性的マイノリティ(※5)が自分らしく生きられる社会をつくるための取組みの状況	1	2	3	4
(12) インターネット上の(インターネットを通じた)権利侵害を防ぐための取組みの状況	1	2	3	4
(13) 個人情報の保護に関して必要な取組みの状況	1	2	3	4
(14) 犯罪被害者とその家族の支援に関する取組みの状況	1	2	3	4

※3 ドメスティック・バイオレンス(DV)：家族や恋人など親密な関係にあるパートナー間における暴力
セクシュアル・ハラスメント：相手の意に反した性的言動による直接的・間接的嫌がらせ

※4 HIV：ヒト免疫不全ウイルス。エイズ(後天性免疫不全症候群)の原因となるウイルス

※5 性的マイノリティ：生まれ持っている、好きになる相手の性別(性的指向)や自分の性に対する感じ方(性自認)が一般的とされるあり方とは異なる人

問4 あなたは、家を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望にあっても、次のような条件の物件の場合、避けることがありますか。
すべての場合についてお答えください。(それぞれ1つに○)

	1	2	3	4	5
	避けると思う	避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない
(1) 同和地区(※6)の地域内である	1	2	3	4	5
(2) 小学校区が同和地区と同じ区域になる	1	2	3	4	5
(3) 近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる	1	2	3	4	5
(4) 近隣に外国籍の住民が多く住んでいる	1	2	3	4	5
(5) 近くに身体障がい者の施設や作業所がある	1	2	3	4	5
(6) 近くに知的障がい者の施設や作業所がある	1	2	3	4	5
(7) 近くに精神障がい者の施設や病院がある	1	2	3	4	5
(8) 近くに韓国・朝鮮学校がある	1	2	3	4	5
(9) 近くに特別養護老人ホームがある	1	2	3	4	5
(10) 近くにひきこもりや不登校の若者を支援する施設がある	1	2	3	4	5
(11) 近くに少年院がある	1	2	3	4	5
(12) 近くに入国者収容所(※7)がある	1	2	3	4	5

※6 同和地区：我が国では同和問題の解決に向け、平成14(2002)年3月に「地域改善対策特定事業にかかる国の財政上の特別措置に関する法律」が失効するまでの間、同和地区の環境改善や同和教育・人権啓発などの取組みが積極的に進められてきました。その際、取組みを進める対象地域として、法に基づき一定の地域が指定されており、この調査の中で「同和地区」という用語を使う場合、この法律によって指定されていた対象地域を示しています。

※7 入国者収容所：主に、出入国管理及び難民認定法(入管法)または関連する法律に違反し、退去強制の手続の対象となった入国者を収容する施設

問5 問4のような場合に、住宅の購入や入居を避ける人がいるのはなぜだと思いますか。

あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 次の転居の際、転売が難しかったり、安く処分せざるを得なかったりするから |
| 2 生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから |
| 3 治安の問題などで不安があると思うから |
| 4 学力の問題などで、子どもの教育上、問題があると思うから |
| 5 自分もその地域の住人と同じだと思われると嫌だから |
| 6 その他(具体的に: _____) |
| 7 とくに理由はないが、なんとなく |
| 8 わからない |

問6 結婚相手を考える際に、気になること(なったこと)はどんなことですか。

あなたご自身の結婚の場合と、お子さんの結婚の場合とに分け、気になる項目を選んでください。

お子さんがいらっしゃらない方も、いと想定してお答えください。(〇はいくつでも)

■あなたご自身の結婚の場合

- | |
|------------------------|
| 1 人柄、性格 |
| 2 容姿 |
| 3 趣味や価値観 |
| 4 仕事に対する相手の理解と協力 |
| 5 家事や育児の能力や姿勢 |
| 6 経済力 |
| 7 学歴 |
| 8 職業 |
| 9 家柄 |
| 10 離婚歴 |
| 11 国籍・民族 |
| 12 相手やその家族に障がい者がいるかどうか |
| 13 相手やその家族の宗教 |
| 14 ひとり親または親がいない家庭かどうか |
| 15 同和地区出身者かどうか |
| 16 その他(具体的に: _____) |
| 17 とくに気になる(気になった)ことはない |

■あなたのお子さんの結婚の場合

- | |
|------------------------|
| 1 人柄、性格 |
| 2 容姿 |
| 3 趣味や価値観 |
| 4 仕事に対する相手の理解と協力 |
| 5 家事や育児の能力や姿勢 |
| 6 経済力 |
| 7 学歴 |
| 8 職業 |
| 9 家柄 |
| 10 離婚歴 |
| 11 国籍・民族 |
| 12 相手やその家族に障がい者がいるかどうか |
| 13 相手やその家族の宗教 |
| 14 ひとり親または親がいない家庭かどうか |
| 15 同和地区出身者かどうか |
| 16 その他(具体的に: _____) |
| 17 とくに気になる(気になった)ことはない |

同和問題についてお聞きします

問7 あなたが日本の社会において、同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることをはじめて知ったのは、ということがきっかけですか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1 父母や家族から聞いた | 8 テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った |
| 2 近所の人から聞いた | 9 インターネットのサイトなどで知った |
| 3 学校の友達から聞いた | 10 近くに同和地区があった |
| 4 学校の授業で教わった | 11 自分の身近で同和問題に関する差別があった |
| 5 職場の人から聞いた | 12 その他(具体的に: _____) |
| 6 講演会、研修会などで聞いた | 13 覚えていない |
| 7 府や市町村の広報誌などで読んだ | 14 同和問題については、知らない |

問8 現在、同和地区の人たちは、結婚する際に反対されることがあると思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 しばしば反対されることがある | 3 反対されることはない |
| 2 たまに反対されることがある | 4 わからない |

問8-1 (反対されることがあると思う人のみ) それは、近い将来、なくすことができると思いますか。(1つに○)

- | | | |
|----------------|----------------|------------|
| 1 完全になくすことができる | 2 かなりなくすことができる | 3 なくすのは難しい |
|----------------|----------------|------------|

問9 あなたは「同和地区の人はこわい」というような話を聞いたことがありますか。

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問9-1 問9で「1 ある」と回答された方にお聞きします。それは誰からですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------|-----------------------|
| 1 家族 | 7 府や市町村の職員 |
| 2 親戚 | 8 知らない人 |
| 3 近所の人 | 9 書籍 |
| 4 友人 | 10 インターネットのホームページや掲示板 |
| 5 職場の人 | 11 その他(具体的に: _____) |
| 6 学校の先生 | |

問9-2 問9で「1 ある」と回答された方にお聞きします。その話を聞いたとき、どう感じましたか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 そのとおりと思った | 3 反発・疑問を感じた |
| 2 そういう見方もあるのかと思った | 4 とくに何も思わなかった |

問10 あなたは、同和対策がやりすぎであったとか、不公平だ、というような話を聞いたことがありますか。

1 ある	2 ない
------	------

問10-1 問10で「1 ある」と回答された方にお聞きします。それは誰からですか。(〇はいくつでも)

1 家族	7 府や市町村の職員
2 親戚	8 知らない人
3 近所の人	9 書籍
4 友人	10 インターネットのホームページや掲示板
5 職場の人	11 その他（具体的に： _____）
6 学校の先生	

問10-2 問10で「1 ある」と回答された方にお聞きします。その話を聞いたとき、どう感じましたか。(1つに〇)

1 そのとおりと思った	3 反発・疑問を感じた
2 そういう見方もあるのかと思った	4 とくに何も思わなかった

問11 同和問題を解決するために、次にあげる施策や対応は、どの程度効果的だと思いますか。

(1)～(10)のすべてについてお答えください。(それぞれ1つに〇)

	1	2	3	4	5	
	非常に効果的	やや効果的	ではない	あまり効果的 ない	効果的ではない	わからない
(1) 差別を法律で禁止する	1	2	3	4	5	
(2) 戸籍制度を大幅に見直す・廃止する	1	2	3	4	5	
(3) 行政が同和地区住民の自立を支援する取組みをすすめる	1	2	3	4	5	
(4) 学校教育・社会教育を通じて、差別意識をなくし、広く人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う	1	2	3	4	5	
(5) 同和問題に悩んでいる人たちが、差別の現実や不当性をもっと強く社会に訴える	1	2	3	4	5	
(6) 行政だけでなく、民間の人権団体も課題解決に取り組む	1	2	3	4	5	
(7) 同和地区と周辺地域の人々が交流を深め、協働して「まちづくり」を進める	1	2	3	4	5	
(8) 同和問題や差別があることを口に出さなくて、そっとしておけばよい（自然に差別はなくなる）	1	2	3	4	5	
(9) 同和地区の人々がかたまって住まないで、分散して住むようにする	1	2	3	4	5	
(10) 悪いイメージをもたれないように、同和地区住民が気をつける	1	2	3	4	5	

さまざまな人権問題についてお聞きします

問12 さまざまな人権問題に関して、次のような意見があります。(1)～(25)のすべてのことについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)

		1	2	3	4
		そう思う	そう思う どちらかといえば	そう思わない どちらかといえば	そう思わない
女性の人権	(1) 男性は仕事、女性は家事など、男女は役割を分担すべきだ	1	2	3	4
	(2) 最近は女性の方が、男性よりも優遇されている	1	2	3	4
	(3) 夫婦間・パートナー間での暴力の問題は、家庭内または本人同士で解決すればよい	1	2	3	4
	(4) 同じ働きぶりでも男女で昇進に差があることや、高い地位についている人に男性が多いことは問題だ	1	2	3	4
	(5) 職場で女性の容姿を話題にしたり、結婚や、妊娠・出産について尋ねたりするのはよくない	1	2	3	4
障がい者の人権	(6) 障がい者自身の結婚や出産・育児に周囲が反対しても仕方がない	1	2	3	4
	(7) 費用がかかるなら、障がい者用にスロープの整備や手話・音声案内などの配慮ができなくてもやむをえない	1	2	3	4
	(8) 障がいのある子どもと障がいのない子どもとは、別々に教育した方がよい	1	2	3	4
	(9) 入院中の精神障がい者を、もっと地域でともに暮らせるようにすべきだ	1	2	3	4
	(10) 職場環境や勤務条件などで、障がいに合わせて働きやすくするための配慮をすべきだ	1	2	3	4
高齢者の人権	(11) 高齢者が一人暮らしを理由に、アパートやマンションなどへの入居を拒まれても仕方がない	1	2	3	4
	(12) 福祉施設などでは、本人の意思に反して行動を制限することも必要だ	1	2	3	4
	(13) 高齢者が家族に同居を拒まれ、本人の意思に反して福祉施設に入所させられることはやむをえない	1	2	3	4
	(14) 道路の段差や建物の階段などの不便が多く、高齢者にとって住みにくい環境であることは権利侵害だ	1	2	3	4
	(15) 高齢であることから、意見を十分に聞いてもらえなかったり、軽くあしらわれたりするものは問題だ	1	2	3	4

問 12 (つづき) あなたの考えにもっとも近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)

		1	2	3	4
		1 そう思う	2 どちらかといえば そう思う	3 どちらかといえば そう思わない	4 そう思わない
子どもの人権	(16) いじめ問題はいじめを受ける子どもにも原因がある	1	2	3	4
	(17) 学校の規則等を定める際に、子どもの意見を聞く必要はない	1	2	3	4
	(18) インターネットを通じて、子どもだけで通信・交流することは禁止した方がよい	1	2	3	4
	(19) 子どもの教育環境が保護者の経済状況によって左右されるのは問題だ	1	2	3	4
	(20) 保護者が子どもの日記や携帯電話などを勝手に見るのはよくない	1	2	3	4
外国人住民の人権	(21) 外国人住民の選挙権や行政に参画する機会は制限されるべきだ	1	2	3	4
	(22) 外国人労働者が増えると、治安や風紀が悪くなる	1	2	3	4
	(23) 多言語による情報提供がなく、外国人住民が福祉などのサービスを受けにくいのは仕方がない	1	2	3	4
	(24) 外国人住民が日本語を学ぶ場が十分でないことは問題だ	1	2	3	4
	(25) 外国人住民の排除を主張するデモや演説がおこなわれるのは問題だ	1	2	3	4

問13 学校や職場、日常生活の中で、誰かが差別的な発言をしたとき、あなたはこういった態度をとりますか。(1つに○)

- | |
|--|
| <p>1 差別的な発言があったことを指摘して、差別について話し合う (と思う)</p> <p>2 表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする (と思う)</p> <p>3 表向き話をあわせて相づちを打ったり、自分も差別的な言葉を口にしたりしてしまう (と思う)</p> <p>4 ほかの話題に転換するよう努力する (と思う)</p> <p>5 何もせずに黙っている (と思う)</p> <p>6 その他 (具体的に： _____)</p> <p>7 わからない</p> |
|--|

人権問題についての学習経験や活動についてお聞きします

問14 あなたは、**学校、職場及び地域**で、人権問題についての学習を経験したことがありますか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1 小学校で受けた | 6 職場の研修で受けた |
| 2 中学校で受けた | 7 P T Aや民間団体が主催する研修で受けた |
| 3 高校で受けた | 8 その他（具体的に：_____） |
| 4 大学で受けた | 9 はっきりと覚えていない |
| 5 市民対象の講座などで受けた | 10 経験したことはない |

問15 これまでにあなたが、**学校、職場及び地域**で、経験したことのある人権問題についての学習は、どのような分野についてのものでしたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1 女性・男女共同参画 | 7 H I V感染者・ハンセン病回復者 |
| 2 子ども | 8 性的マイノリティ |
| 3 高齢者 | 9 インターネットによる人権侵害 |
| 4 障がい者 | 10 その他（具体的に：_____） |
| 5 同和問題 | 11 はっきりと覚えていない |
| 6 外国人 | 12 経験したことはない |

問16 あなたは、**学校**で経験した人権学習について、どのような感想を持ちましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1 人権の大切さがわかった | 8 自分の人権を守るために役立つと思った |
| 2 もっと知りたいと思った | 9 自分の周囲の人の人権を守るために役立つと思った |
| 3 差別は許せないと思った | 10 自分も何か行動したいと思った |
| 4 自分にはあまり関係ないと思った | 11 内容がおもしろくなかった |
| 5 人権学習より教科学習の方が大事だ | 12 あまり覚えていない |
| 6 人権学習をしても仕方がないと思った | 13 その他（具体的に：_____） |
| 7 人権学習をするからかえって差別が無
くならないと思った | 14 経験したことはない |

問17 あなたは、関心のある人権問題の解決に向けて、なにか具体的な活動をしてみたいと考えていますか。
あなたの考えに最も近いもの1つに〇をしてください。

- | |
|----------------------------------|
| 1 すでに活動していることがある、または活動にむけ準備をしている |
| 2 機会があれば活動したい、または誰かから誘われればやる気はある |
| 3 自分や自分の親しい人に関わることがあれば活動したい |
| 4 できることがあれば活動したいが、時間的・精神的余裕がない |
| 5 自分が活動したところで解決につながるとは思えない |
| 6 特に関心はない |
| 7 わからない |

最後にあなたご自身についてお聞きします

問18 あなたの性別は。

- 1 女性 2 男性 3 女性・男性と答えることに抵抗を感じる

問19 あなたの年齢は。平成26年9月1日現在の満年齢でお答えください。

- 1 20 歳代 2 30 歳代 3 40 歳代 4 50 歳代 5 60 歳代 6 70 歳以上

問20 あなたが最後に卒業された学校は。（在学中の方は在学している学校をお答えください。）

- 1 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校
2 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校
3 短大・高等専門学校、高卒が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高校、専門学校
4 大学、大学院
5 その他（ _____ ） <例：高等学校中退>

問21 あなたの仕事は次の中のどれですか。いちばん近いものをお答えください。（○は1つ）

- 1 自営業（農林業、商工サービス業、建設業、自由業などの事業主及び家族従事者）
2 公務員、教員
3 民間企業・団体の正社員・正職員
4 派遣社員、契約社員、非常勤職員、臨時雇（アルバイト）、パート勤め
5 その他の有業者（具体的に： _____ ）
6 家事専業 7 学生 8 無職

問22 あなたの現在の暮らし向きは、次の中のどれにあてはまりますか。（○は一つ）

- 1 良い 2 やや良い 3 ふつう 4 やや悪い 5 悪い

問23 あなたは、茨木市内にどのくらいの期間お住まいですか。通算の年数でお答えください。

- 1 0～4年 4 20～29年
2 5～9年 5 30～39年
3 10～19年 6 40年以上

問24 あなたが現在、もっとも関心を持っている人権問題はどのようなことですか。ご意見があればご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。ご記入もれがないか、今一度お確かめください。記入した調査票を切り離すことなく、同封した返信用封筒に切手を貼らずに9月21日(日)までに投函してください。

人権問題に関する市民意識調査報告書

平成27年（2015年）2月

編集・発行：茨木市市民文化部人権・男女共生課

〒567-8505 大阪府茨木市駅前三丁目8番13号

TEL 072-620-1640 FAX 072-620-1725